

極
秘

上海再編成案

昭和十七年十二月

配布番號
第235號

上海市政研究會



* 0008384000 *

0008384-000

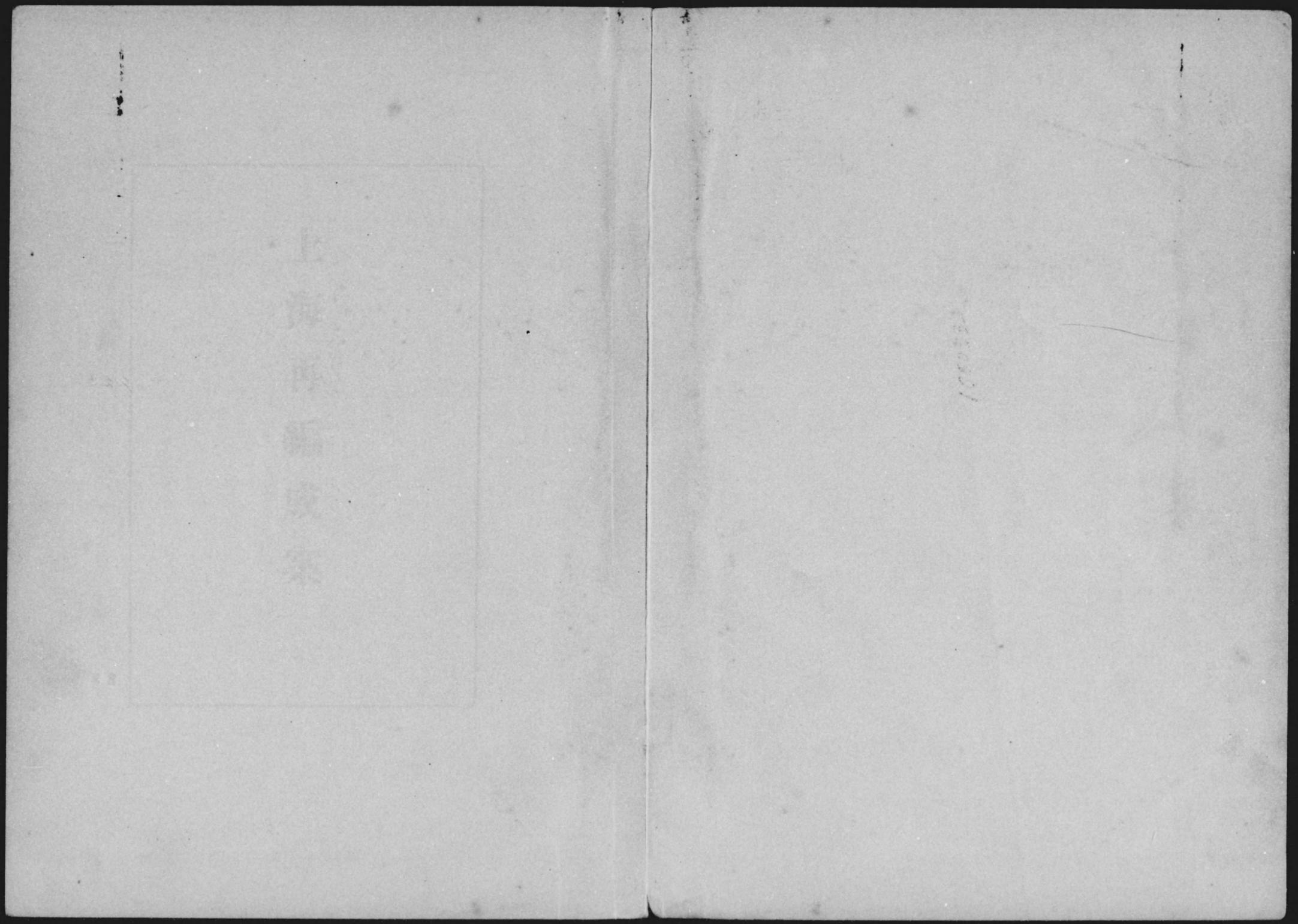
A Z - 6 4 1 - 8

上海再編成案

上海市政研究會

1942

ABH



上海再編成案

0000001

A3
641
8



1000332

例　　言

- 一、本書ハ大東亞戰爭勃發後約一箇年ニ亘リ上海市政研究會ガ大東亞戰爭完遂並ニ大東亞共榮圈確立ノ見地ヨリ上海再編成ニ關スル方針及ビ措置要領ニ就キテ調査起案シ關係當局ニ施策ノ參考資料トシテ提出シタルモノヲ輯錄シタリ。右起案ニ當リ討議ノ基礎トナリタル諸論稿及ビ諸資料ノ中若干ハ方針及ビ措置案ノ理解ニ便センガ爲夫レ夫レノ款項下ニ之ヲ併セ收メタリ。
- 二、本書中上海再編成ニ關スル基本方針ハ總務委員會、通貨・金融・物價ニ關スルモノハ第三委員會、物資交流ニ關スルモノハ第四委員會、運輸ニ關スルモノハ第五委員會、公共事業ニ關スルモノハ第六委員會、敵產處理ニ關スルモノハ第九(特別)委員會、文化ニ關スルモノハ第八委員會夫レ夫レ分擔シ之ガ調査起案ニ當レリ。
- 三、本書ハ首メニ上海再編成ニ關スル基本方針案ヲ掲ゲ、次ニ第一款ヨリ第五款マデ金融・物資及物價・運輸・企業・文化ノ五款ニ分チテ措置案及ビ其ノ参考資料ヲ採録シ讀者ノ見易キヲ期シタルモ、各案ハ夫レ夫レ作成ノ時期ヲ異ニスルタメ編成替ノ現實ノ進展ニ照應シテ其ノ間自

ラ不同アリ。仍テ各案ニハ提出ノ時日ヲ明記シ其ノ次第ヲ暎カニシタリ。

四、本書收錄ノ方針及ビ措置要領案ニ就テハ既ニ經メテ「上海再編成ニ關スル方針及措置要領（案）」上下二卷トシ之ヲ關係當局ニ提出シタルガ其後軍官人事ノ異動アリ新タニ本會事務局ニ之ヲ需ムルトコロ尠カラザルヲ以テ茲ニ稍々體裁ヲ整ヘ再編輯シ印刷ヲ以テ謄寫ニ代ヘ其ノ要請ニ應ヘントスルモノナリ。

五、本書編纂ノ主旨ハ關係當局者施策ノ参考ニ供センガ爲ニシテ固ヨリ公表ノ意ナシ。本書ニ收錄セラレタル施策ノ對象ハ既ニ歴史的事實ニ入レルモノ尠カラザルモ、尙本書ノ取扱ニ關シテハ十分ノ注意アランコトヲ乞フモノナリ。

昭和十七年十二月八日

編 者 識

目 次

例 言

上海再編成ニ關スル基本方針(案)

- 一、上海再編成ニ關スル基本方針 (一)
- 二、說 明 (三)
- (一)軍需物資ノ調達並軍自治ニ對スル役割 (四)
- (二)占據地經營ヲ通ジテノ對重慶攻勢ニ對スル役割 (六)
- (三)對日滿北支並ニ對南洋民需物資供給地トシテノ役割 (九)
- (四)大東亞共榮圈物資集散地トシテノ役割 (二)
- (五)戰後ニ於ケル我ガ世界政策遂行ノ據點トシテノ役割 (三)

第一款 金 融

- 第一項 通貨ニ對スル措置要領(案) (七)
- 一、通貨ニ對スル措置要領 (七)

二、説明

- (一)中支通貨改革ノ根本的観角 (三)
- (二)中支通貨ノ急速ナル統一ノ必要及可能性 (三)
- (三)等價兌換回収及流通許容力切下引換回収及流通禁止力 (三)
- (四)本案ノ具体的の説明 (五)
- (五)通貨ノ處理ト金融機構ノ再編成 (六)

参考資料

- 中支通貨ニ關スル措置(別案) (三)

第二項 金融ニ關スル措置要領(案)

- 一、金融ニ關スル措置要領** (九)
- 二、説明** (九)
 - (一)東亞興業銀行ノ創設 (九)
 - (二)在支事業法ノ制定 (九)
 - (三)上海證券取引所ノ改組再開 (九)
 - (四)法制ノ整備 (九)

参考資料

- 在支事業法案要綱 (空)

第一款 物資及物價**第一項 物資交流ニ關スル措置(案)**

- 一、物資交流ニ關スル措置** (九)
 - 二、説明** (九)
 - (一)大東亜戦争ニヨル上海對外貿易ノ變化 (金)
 - (二)ストック物資ノ處理 (金)
 - (三)對奥地物資交流ノ促進 (九)

参考資料

- 揚子江下流軍占據地域物資移動取締暫行規定 (三)

第二項 物價ニ關スル措置要領(案)

- 一、物價ニ關スル措置要領** (九)
 - 二、説明** (九)
- 参考資料**
 - 中支物價統制要綱試論 (空)
 - 中支物價問題試論 (空)
 - 工部局價格統制概要 (空)

第三款 運輸**第一項 上海港港務行政機構再編成措置(案)**

一、上海港港務行政機構再編成措置要領—第一案— (三一)

二、説明 (三四)

(一)上海港々務行政機構ノ現狀 (三四)

(二)上海港々務行政機構再編成理念並方針 (三二)

三、上海港々務行政機構再編成措置要領—第二案— (三三)

第二項 ジャンク動員ニ關スル措置要領(案) (三七)

一、ジャンク動員ニ關スル措置要領 (三七)

二、説明 (三七)

(一)外洋ジャンクノ動員 (三)

(二)内河民船ノ動員 (三)

(三)輸送力擴充強化ニ關スル其ノ他ノ措置 (三)

(四)ジャンク動員ニヨル輸送力增强ノ限界性 (三)

第四款 企 業

第一項 新敵產處理ニ關スル方針及措置要領(案) (三九)

一、新敵產處理ニ關スル方針及措置要領 (四七)

二、説明 (五)

(一)新敵產ノ合理的取得 (五)

(二)新敵產ノ統一的運營 (五)

(三)新敵產經營ノ具體的方法 (三九)

(四)關係アル二、三ノ問題 (三九)

参考資料

新敵產ニ關スル諸資料 (三九)

一、陸海軍最高指揮官布告(三月二十日) (三九)

二、軍管理企業監督規定(案) (三九)

三、軍直接管理十五工場ノ民間委託 (三九)

四、委任軍管理工場事業場處理區分表 (三九)

五、委任軍管理工場事業場處理區分表(第二次之部) (三九)

六、委任軍管理工場事業場處理區分表(第三次之部) (三九)

七、委任軍管理工場事業場處理區分表(第四次之部) (三九)

八、碼頭及倉庫 (三九)

九、銀行 (三九)

十、保險會社 (三九)

十一、敵產事務所用建物管理規定 (三九)

第二項 敵國永租權ノ處理ニ關スル措置要領(案) (三九)

一、敵國永租權ノ處理ニ關スル措置要領 (三九)

二、説明 (三九)

参考資料

上海ニ於ケル土地永租權

(三七)

(三七)

(三七)

六

第三項 公共事業ニ關スル措置要領(案)

公共事業ニ關スル措置要領

(一)方針

(二)措置要領(全般的)

(三)措置要領(業種別)

(四)要領

(五)要領

(六)要領

(三七)

第五款 文化

第一項 上海文化問題ニ對スル意見書

序

(一)日本文化機關進出ノ必要

(二)上海ニ於ケル日本文化界ノ強化

(三)日本側文化關係當局ノ問題

(四)中國側知識階級ノ獲得

(五)中國側教育機關ノ問題

(六)既存研究機關並ニ資料ノ保存

第二項 上海ニ於ケル放送事業ノ再編成措置(案)

一、放送現態ノ検討

(一)現地放送事業ノ意義

(三七)

(二)放送事業ノ現況

(三七)

(三)大東亞戰前トノ比較

(三七)

(四)英語放送ノ存在理由

(三七)

(五)餘論

(三七)

二、放送事業ノ再編成試案

(三七)

上海再編成ニ關スル基本方針

上海再編成ニ關スル基本方針(案)

(昭和十七年二月二十七日提出)

一、上海再編成ニ關スル基本方針

大東亞戰爭ノ完遂及大東亞共榮圈ノ確立ノ爲我ガ方ガ上海ヲ利用スルニ當リテハ、上海ノ自然的立地條件ノ優越性、其ノ豊富ナル經濟的遺産並ニ其ノ特異ナル行政機構等ヲ考慮ニ入レ、上海ヲシテ

- (一)軍需物資ノ調達並ニ軍自活ニ對スル役割
 - (二)占據地經營ヲ通ジテ對重慶攻勢ニ對スル役割
 - (三)對日滿北支並ニ對南洋民需物資供給地トシテノ役割
 - (四)大東亞共榮圈內物資集散中心地トシテノ役割
 - (五)戰後ニ於ケル我ガ世界政策遂行ノ據點トシテノ役割
- 等ヲ演ゼシムルコトトシ右目的ノ爲必要ナル上海ノ再編成ヲ行フモノトス。

一一、說明

茲ニ帝國ガシンガボールノ陥落ヲ以テ大東亞戰爭ノ第一期ヲ勝利的ニ完結シ更ニ光榮アル第二期ニ突入セントスルニ當リ、上海ニ於テハ皇軍ノ平和的租界進駐ヲ發端トシテ諸般ノ緊急措置ヲ成功裡ニ結了シ更ニ本格的施策ノ推進ニ移行スルノ時期ニ際會セリ。仍テ全般的事態ノ推移並ニ將來ノ展望トノ關聯ニ於テ上海再編成ノ問題ヲ提起シ以テ、當路ノ施政ノ参考ニ供セントス。

惟フニ大東亞戰爭ノ完遂並ニ大東亞共榮圈ノ確立ノ道程ニ於テ上海ノ演ズベキ役割ヲ檢討スルニ際シテハ考慮ヲ要スペキ點三アリ。即チ

(一) 上海ノ自然的立地條件

(二) 上海ノ經濟的遺產

(三) 上海ノ特異ナル行政機構

之ナリ。

一、上海ノ自然的立地條件

上海ガ長江ノ門口ヲ扼シ其ノ本支流並ニクリーク網ヲ通ジテ豐穰ナル生産ト厖大ナル消費トヲ併有スル背後ト緊密ナル連繫ヲ有スルト共ニ沿海航路及び遠洋航路ヲ以テ東亞及ビ世界ノ各港ト連絡シ對外交通ノ要衝ヲ爲シ、以

時上海ノ此ノ立地條件ノ優越性ハ新タル脚光ノ下ニ我々ノ眼前ニ表ハレ來レリ。

二、上海ノ經濟的遺產

上海ガ歐米資本ノ百年ニ亘ル對支活動ノ策源地タリシ必然的結果トシテ碼頭、倉庫、公共事業設備、工場等ノ物的施設並ニ金融商業機構等ノ厖大ナル經濟的遺產ヲ提供セルハ敍説スル迄モナシ。而シテ斯カル遺產ハ長年月ノ蓄積ノ所產ニシテ事情ガ一變シタリト雖モ遽カニ東亞ノ他ノ地點ニ代替物ヲ求メ得ベキモノニアラズ。勿論之ヲ單ナルスクラツブトシテ利用スルコトモ場合ニ依リテハ已ムヲ得ザレドモ、施策宜シキヲ得テ之ヲ再編成シ東亞ノ經濟的復興ノ有力ナル足場トスルコトモ亦可能ナリ。

三、上海ノ特異ナル行政機構

所謂共同租界並ニ佛租界ノ特異ナル行政區域ヲ溫床トシテ列國資本ト民族資本トノ渾一體ガ上海ニ生成發展シ、以テ中國經濟ノ中樞ヲ形成スルニ至リタルハ何人モ之ヲ認ムル所ナリ。尤モ、租界行政ノ主導權ガ從來英米ニ掌握セラレ居タル結果、支那事變ノ勃發後ハ該區域ハ英米ノ援蔣行爲ノ基地ト化シ、所謂敵性租界トシテ我ガ事變完遂ノ障礙物トナリ居タルハ周知ノ如シ。今ヤ十二月八日ノ皇軍進駐ヲ劃期トシテ斯クノ如キ敵性ハ芟除セラルニ至リ、却ツテ列國協働及日支提携ヲ建前トシツツ其ノ間帝國ノ指導意志ヲ貫徹スルニ便宜ナル機構ニ化シツツアリ。

以上ノ諸點ヲ考慮ニ入レ大東亞戰爭ノ完遂及大東亞共榮圈ノ確立ノ爲我ガ方ガ上海ヲシテ演ゼシムベキ役割ヲ検討スルニ概ネ次ノ諸項ニ要約シ得ベシ。即チ

- (一) 軍需物資ノ調達竝ニ軍自活ニ對スル役割
- (二) 占據地經營ヲ通ジテノ對重慶攻勢ニ對スル役割
- (三) 封日滿北支竝ニ對南洋物資供給地トシテノ役割
- (四) 大東亞共榮圈内物資集散中心地トシテノ役割
- (五) 戰後ニ於ケル我ガ世界政策遂行ノ一據點トシテノ役割

之ナリ。以下各項ニ付キ檢討スベシ。

(一) 軍需物資ノ調達竝ニ軍自活ニ對スル役割

對米英戰爭ノ開始ト共ニ支那事變ノ完遂、大陸經營ノ推進ハ益々其ノ重要性ヲ加ヘ來レリ。惟フニ事變ノ根本的解決ガ世界的規模ニ於テノミ可能ナルコトハ夙ニ指摘セラレ來リタルガ、今次戰爭ノ開始ニ依リテ此ノ待望セラレタル世界的規模ニ於ケル事變ノ根本的解決ハ遂ニ着手セラレタルモノト言フベク、開戰ト共ニ軍事行動ハ支那大陸ヨリ南洋及び太平洋ニ迄擴大セラレタルモ解決ヲ要スル問題ノ基幹ハ依然トシテ大陸ニアリ。支那事變ノ完遂、大陸經營ノ推進ハ大東亞戰爭遂行ノ不可分的ナル一環トシテ更ニ一段ノ努力ヲ傾注スペキモノトス。

斯クテ支那ニ於ケル皇軍ノ作戰目的完遂ノタメ其ノ支配下ノ凡テノ經濟基地ヲ軍需物資ノ調達竝ニ軍自活ノ手段

トシテ勤員スペキガ第一ノ要諦タルハ固ヨリ疑フベカラズ。特ニ大東亞戰爭ノ戰線ハ未曾有ニ廣汎ニシテ軍需物資ノ必要量ハ巨額ニ達シ且之ガ輸送ニ困難ヲ感ズル際ニ當リ、大陸ニ於ケル現地軍ガ可及的ニ其ノ所要物資ヲ現地ニ於テ調達シ、能フ限り軍自活ノ方途ヲ講ゼザルベカラザルハ當然ナリ。茲ニ於テ新タニ我ガ支配下ニ入りタル上海共同、佛租界モ亦其ノ保有シタル物資ノ徵發ニ依リ、或ハ現存生産設備ノ運營ニ依リ、更ニ或ハ其ノ特異ナル物資輸移入力ノ利用ニ依リ斯種目的ノ達成ニ役立テシムルハ肝要ナリ。

然レ共大東亞戰爭ハ長期戰ノ覺悟ヲ必要トシ、其ノ一環トシテノ支那事變ノ根本的解決モ亦政戰兩様ノ長期拮据經營ヲ要スルハ瞭カナリ。茲ニ於テ軍需物資ハ現地調達竝ニ軍自活モ亦既往ハ蓄積ノ徵用ハミヲ以テ足レリトセズ、寧ロ今ニ於テ其ノ長期ニ亘ル繼續的供給ヲ企劃シ其ノ源泉ハ培養ヲ志向セザルベカラズ。而シテ上海ハ其ノ背後地ハ固ヨリ全支竝ニ海外諸邦トノ關聯ニ於テ物資ノ大量集散ノ機能ヲ有スルノミナラズ都市トシテハ支那最大ノ生産力ヲ備フルモノナルヲ以テ、施策宜シキヲ得テ之ガ復興活用ヲ計ルニ於テハ斯種供給力モ亦從ツテ倍化スル可能性ナシトセズ。今次戰爭ノ真相ニ徹シ上海ニ對スル我ガ方恒久措置ヲ企劃スルニ當リテハ此ノ點先づ着意スルノ必要アリ。

(二) 占據地經營ヲ通ジテノ對重慶攻勢ニ對スル役割

支那事變ガ抗日蔣政權ニ對スル武力膺懲戰タルト共ニ其ノ半面占據地域ノ長期建設戰タルベキハ屢々宣明セラレタル所ニシテ、對重慶攻勢ハ軍事的ノミナラズ、政治的、經濟的或ハ文化的ニモ展開セラレ來レリ。今ヤ大東亞

戰爭ノ勃發ガ大陸處理ノ意義ヲ益々重大ナラシメツツアルニ當リ、對重慶攻勢ノ一樁杆トシテノ占據地經營ノ前進モ亦益々重要性ヲ加ヘツツアリ。其ノ點ニ於テモ亦上海ノ役割ハ極メテ重大ナリ。

即チ、上海ヲ據點トシテ中支占據區域、進ンデハ全支占據區域ノ統一的且強力ナル經營ノ爲ニ邦人資本ノ總動員ヲ計畫化シ、英米等敵國資本並ニ敵性華人資本ノ牽動ヲ封鎖スルト共ニ、從來抗日蔣政權存續ノ物質的支柱ヲ形成シ來リタル上海華人資本ノ轉向ヲ促進シ、彼等ヲシテ英米資本ト結合シタリシ場合ノ如キ單ナル利益私益ノ立場ヲ放擲シ大東亞建設ノ共同責任者トシテ忍ブベキハ忍ブノ態度ニ改悛セシメ、以テ對重慶經濟攻勢ヲ強化スルハ必要ナリ。其ノ際既成ノ支那財閥ニ秋波ヲ送ルハ罷メ寧ロ我ガ方獨力ニテ事業ヲ經營スルノ覺悟ヲ第一トシ、必要上日華合辦ヲ行フニ當リテモ一層合作精神ノ高揚ヲ志向シ以テ我ガ方ノ援助ニ依リテ新興財閥ヲ勃興セシムルガ如ク着意スルノ要アルベシ。

而シテ上海ノ經濟ヲ把握スルハ啻ニ大東亞戰爭遂行中ニ於ケル對重慶攻勢ノ一手段トシテ重要ナルノミナラズ、實ニ我帝國ノ東亞乃至世界ニ於ケル立國ノ條件トシテ一層ノ重要性ヲ有スルモノナリ。蓋シ帝國ガ東亞永遠ノ和平確保ノ中心的勢力トシテ恒久的ニ歐米諸勢力ニ對峙センガ爲ニハ、東亞ノ諸民族就中最大ノ人的資源ト根強キ文化トヲ保有セル支那民族ノ制御進ンデハ其ノ協働ヲ贏チ得ルコトヲ絶對必要トシ、之ガ爲ニハ武力的竝政治的手段ト共ニ其ノ國民性及國家機構ニ照シ經濟的把握ヲ最モ有效ナル手段トス。今上海ガ從來共支那經濟ノ中樞ニシテ今後我ガ方ノ施策ニシテ宜シキヲ得レバ其ノ全支經濟ニ對スル關係ノ一層重要味ヲ加フベキニ想到スレバ上海經濟ノ把握ガ我ガ大陸經營ノ要訣タルヲ知ルベシ。

翻ツテ我ガ占據地經營ノ躍進ヲ通ジテノ對重慶攻勢ノ展開ハ經濟部面ヲ中核トスト雖モ單ニ同部面ニノミ限ルモノニアラズ、政治的或ハ廣ク文化的攻勢モ之ヲ併セ行ハザルベカラズ。此ノ點ニ關シテモ上海ノ特異ナル行政機構、或ハ其ノ豐潤ナル文化的遺產ハ取リテ以テ我ガ方獨自ノ立場ヨリ再編成シ之ヲ抗日政權打倒ノ武器ニ利用スルト共ニ、進ンデハ右ヲ通ジテ上海ヲ大東亞ノ政治的文化的據點ノ一ニ迄育成スルハ必ズシモ不可能ニアラザルベシ。

(三) 對日滿北支並ニ對南洋民需物資供給地トシテノ役割

支那事變ノ大東亞戰爭ヘノ轉回ト共ニ日本並ニ滿州北支ハ益々其ノ主力ヲ軍需物資ノ生産ニ傾注シ、又其レニ必要トル基幹產業ノ擴充ニ力メツツアリ、一般民需製造部門ハ勢ヒ第二義的トナレリ。固ヨリ中支モ亦重工業原料品ノ對日供給ノ爲相當ノ寄與ヲ爲シ來リ且今後益々之ヲ增大スペキモノナレドモ、東亞共榮圈ノ經濟運營ノ大局ヨリ見レバ中南支經濟ノ特性ヲ利用シテ一般民需品ノ對日滿北支並ニ對南洋供給ニ就キテモ考慮ヲ加ヘザルベカラズ。支那農村ノ供給原料ヲ睨ミ合セツツ紡績、製粉、卵製品其他雜貨ノ製造業ニ就キテハ、之ヲ單ニ支那内部ノ自給自足ニ役立テシムルノミナラズ、更ニ進ミテ東亞共榮圈ニ對スル供給ノ方途ヲ考案スペキモノトス。

從來邦商ノ上海進出ハ概ネ日本製品ノ對支賣込ヲ目的トシタルモノニシテ、在華紡其他ノ工業移駐モ亦其ノ轉形ニ過ギズ。支那土產ノ加工對日供給ノ如キハ支那事變ノ開始後漸ク問題化サレ初メタル狀態ナリ、固ヨリ其ノ原因ノ一半ハ日本產業ノ構成ニ支那土產ノ種類ニ據リタルモノナレドモ、日本產業ノ構成ハ急速ニ變化シツツ

アリ支那土産ノ種類ヲ制約シタル歐米商人ノ對支活動亦停止シタル今日、東亞共榮閣就中對日滿北支輸移出ヲ阻害シタル他ノ諸條件ヲ調整シテ物資交流ノ計劃的促進ヲ計ルニ於テハ其ノ前途必ズシモ望ミナキニアラズ。上海ハ斯カル物資供給ノ主動地トシテノ役割ヲ果サザルベカラズ。言フ迄モナクスカル施策ノ成果ハ之ヲ性急ニ期待スルヲ得ザルモ、他面大東亞戰爭ノ展望ハ長期ニシテ其ノ日本經濟ニ與フベキ影響ノ深度ハ固ヨリ之ヲ覺悟セザベカラズ。茲ニ於テ物資供給ハ對日期待ニ終始シタル上海及中支ハ一轉シテ其ノ對日供給ハ方途ヲ講ズルヲ要スルモノニシテ、其レガ爲今次租界進駐後我ガ方ニ接收シタル生産設備ヲ利用スルハ勿論、内地遊休設備ノ上海移駐運營ヲ考慮シ、之ト背後地原料供給ノ増進ヲ併セ計劃化シテ、銳後充實ノ一助トスルハ正ニ焦眉ノ急務ナリ。

次ニ南方諸邦ハ從來英米竝ニ日本内地及上海等ニ其ノ生活必需品、主トシテ輕工業品ノ供給ヲ依存シ且之等ニ對シ其ノ重要原料ヲ輸出し來リタルモ、今後ハ主トシテ日本内地上海ニ其ノ供給ヲ俟タザルヲ得ズ。本邦亦新タニ南洋諸邦ヨリハ厖大ナル軍需物資輸入ニ對スル決済手段トシテ同方面ヘハ民需物資供給ヲ必然的に要求スルニ至ルベシ。固ヨリ通貨工作面ニ於テモ各地發券銀行及金融機關等ヲシテ本邦輸入代金ノ決済ヲ援助セシムベキモ、永キニ彌リテハ通貨工作ノミヲ以テシテハ足ラザルコト瞭カナルヲ以テ、結局ハ物資ノ供給ヲ以テ決済セザルヲ得ズ。然レ共最近ノ我國對佛印泰貿易ヲ見ルモ明瞭ナル如ク日本内地ノ民需品輸出ニハ限度アリ、斯カル場合土地ト労力ノ豊富ニシテ運輸ノ便多キ上海ノ物資供給地トシテノ役割ハ極メテ大トナルベシ。更ニ南洋諸邦ノ經濟中ニハ華僑ノ力強ク、之等ハ主トシテ華僑送金竝ニ上海及兩支諸港トノ貿易ニ依リテ支那經濟ニ結バレアリルベシ。

(四) 大東亞共榮閣内物資集散中心地トシテノ役割

惟フニ上記ノ如キ軍需物資ノ調達竝ニ軍自活ニ對スル役割モ、占據地經營ヲ通ジテノ對重慶攻勢ニ對スル役割モ、或ハ對日滿北支竝ニ對南洋物資供給地トシテノ役割モ、共ニ上海ヲ大東亞共榮閣内ノ中心的物資集散地トシテ發展セシムルコトニ依リ愈々十全ニ遂行セラルモノナリ。蓋シ、上海ノ優越性ハ其ノ立地條件ヨリシテ、其ノ設備ノ蓄積ヨリシテ、其ノ金融商業機構ノ集中ヨリシテ、内外物資ノ厖大ナル吞吐力ヲ有スル點ニアリ。豫定セラル大東亞共榮閣ノ地域ハ廣大ナリト雖モ人口四億五千萬ヲ擁スル支那ノ生產力消費力ニ匹敵スルモノハ他ニナク、而シテ上海ハ此ノ最大ノ消費地ニ通ズル最適ノ供給路タルト同時ニ豐富ナル奥地物產ノ搬出路タル長江ノ門口ニ位スルモノニシテ、且東亞ノ地勢上略々中央ニ居ラ占メ物資集散市場トシテ實ニ恰當ナル立場ニアリ。之ヲ活用シテ大陸ニ或ハ南海ニ作戰スル皇軍ノ所要物資調辨ニ資セシムルト共ニ、更ニ大東亞共榮閣經濟確立ノ撫條タラシメザルベカラズ。

大東亞共榮閣經濟ノ具體的構想ハ未ダ其ノ詳細ニ接セザルモ、諸般ノ措置ノ累積ハ勢ノ赴クトコロ東京ヲ爲替、

金融ノ中心トシ、上海ヲ物資集散ノ中心地トシテ之ヲ編成スルニ至ルガ如シ。雄大ナル構想、逞マシキ意欲ハ今ヤ帝國ノ内外ニ醸酵シツツアリ、上海亦目前ノ困難ニ壓倒セラルコトナク從來ノ物資搬出入統制等ニ再調整ヲ行ヒ以テ其ノ使命ノ達成ニ邁進スルヲ要ス。此ノ意味ニ於テ上海ノ演ズベキ役割ハ單ニ中支的或ハ全支的ナルノミニアラズ、洵ニ大東亞的ナリ。

既ニ上海ハ大東亞的役割ヲ課セラル。今ヤ事變勃發ヨリ十二月八日ノ前夜ニ至ル四箇年半ノ經略施策ハ言ハバ大東亞戰爭前段期ノ其レトシテ歴史的使命ヲ完了シタルモノト言フベク、其ノ豊富ナル經驗ト潤澤ナル教訓トヲ承繼シテ而モ新タナル構想ノ下ニ新タナル役割ノ遂行ニ移行スルハ目今ノ急務ナリ。斯クシテ例ヘバ上海ノ分立錯綜セル都市行政ニ對スル措置、其ノ周邊地域トノ間ノ物資交流狀況ニ關スル再檢討、產業計劃及勞務對策ノ樹立、通貨金融問題ノ解決、或ハ文化的諸問題ノ處理等々ノ如キ何レモ上海ノ大東亞的役割ノ視角ヨリ取上グル必要アルニ至レリ。

(五) 戰後ニ於ケル我ガ世界政策遂行ノ據點トシテノ役割

大東亞戰爭ハ今ヤ漸ク其ノ第一期ヲ完結シタルニ止リ、其ノ前途ノ展望ハ疑モナク長期戰ナリ。然レドモ我々ハ帝國ハ徹底的勝利ハ後ニ何時ノ日カ平和ハ克復スルヲ豫期シ、戰爭遂行中ニ於ケル諸施設モ亦常ニ我が廣汎ナル戰後經略トハ連關ニ於テ之ヲ措置スルヲ要ス。特ニ上海ハ過去ニ於テ列國ノ對支活動ノ基地タリシモノニテ、戰後ハ其ノ形態ヲ異ニスルモ平和的通商其他ノ理由ニ基キ再び歐米勢力ノ波來ヲ見ルベキハ豫メ想像スルニ難力ナリ。

ラズ。米英蘭白等ノ條約上ノ諸特權ハ廢棄セラルトモ、上海ハ東西兩洋ノ諸邦ノ國際的商業地トシテ新タナル繁榮ノ相貌ヲ呈スルニ至ルベシ。斯クシテ帝國ガ上海ニ負ハシムベキ役割ハ戰後ニ於ケル我ガ世界政策遂行ノ一據點トシテノ役割ナリ。戰爭遂行中ニ於ケル上海ノ大東亞的役割ハ戰後ニ於ケル其ノ世界的役割ト不可分ノ連鎖ナリ。

上海ヲシテ再ビ歐米諸國ノ帝國主義的對支侵略ノ策源地タラシムルコトナク、而モ彼等ニ對シテモ東亞ニ於ケル平和的商業活動ヲ營ム限リニ於テハ上海ノ利用ヲ許容スペキハ帝國ノ方針ノ骨子トナルベシ。支那モ亦其ノ所要物資ノ輸入ノタメ同時ニ土產ノ輸出ノ爲單ニ東亞ノ諸邦ノミナラズ、歐米ノ諸國トノ通商ヲ再開スルニ至ルハ必然ニシテ、上海ハ其ノ貿易港トシテ之ヲ再興セザルヲ得ズ。問題ハ其ノ日ノタメニ確乎搖キナキ對策ヲ今ヨリ準備シ置クニアリ。惟フニ歐米ノ平和的通商ト帝國主義的侵略トハ實ニ紙一重ニシテ、之ガ排除ヲ保證スルモノハ我ガ方經濟實力ノ確立扶植ヲ措キテ他ニナシ。而シテ我ガ方對策ハ斯カル防衛的施策ニ止マルコトナク、進ンデ歐米トノ交流ヲ利用シテ世界ニ於ケル帝國指導權ノ確立ニ邁進セザルベカラズ。列國協効竝ニ日支提携ヲ建前トシツツ其ノ間帝國ノ指導意志ヲ貫徹スル爲ニ上海ヲ最大限ニ活用スルハ戰時戰後ヲ通ジテ我ガ方施策ノ基本タルベク、斯クシテ上海ハ我ガ世界政策遂行ノ一據點トナラントス。

右第一ヨリ第五ニ至ル役割ノ遂行ヲ上海ヲシテ果サシメンガ爲ニハ、日本的視角ヨリスル上海ノ全キ再編成ヲ必要トルハ論ナシ。而シテ其ノ役割ノ重大且廣汎ナルニ照應シ再編成モ亦行政、財政ハ固ヨリ金融、貿易、運輸、公共事業、產業及勞働或ハ文化的諸方面ニ亘リ廣汎且綜合的ナルヲ要ス。加之、斯カル再編成ヲ通ジテ上海

ノ主觀的體勢ヲ一應整備シタル後ニ於テハ、更メテ其ノ周邊地區へ固ヨリ廣ク全東亞トノ關聯ヲ調整スペキモノナリ。

茲ニ於テ首記ノ如ク上海再編成ノ方針ヲ起案シタル次第ナリ。

第一款 金融

第一項 通貨ニ對スル措置要領（案）

（昭和十七年三月二十五日提出）

一、通貨ニ對スル措置要領

最少限度ノ我ガ方負擔ニ於テ現地派遣軍ノ所要物資ヲ調辨シ併セテ上海及中支占據區域ニ於ケル基幹的物資ノ交流及生産ヲ嚴格ナル我ガ方規制下ニ置カンガ爲、上海ヲ中心トシテ中支占據區域一帯ニ亘リ物資交流及生産部面ニ於ケル諸般ノ統制ヲ推進スルト相俟チ、通貨部面ニ於テハ舊法幣使用ノ根絶、中央儲備銀行券ノ單一流通化ヲ强行スルコトシ左記ノ如ク中支通貨ニツキ改革ヲ行フモノトス。

甲、基本措置

一、某月某日ヲ期シ命令ヲ以テ上海ヲ含ム中支占據區域内ニ於テ舊法幣ヲ使用スルコトヲ禁止ス。
違反者ハ嚴罰ニ處ス。

二、右發令ノ當日ヲ以テ前日迄ノ一切ノ舊法幣建債權債務ハ儲備券ニ對スル舊法幣ノ五割價值切下ノ下ニ儲備券建債權債務ニ切替フ行ハシム。
爾後舊法幣建ノ債權債務ハ一切之ヲ認メズ。

三、國民政府ハ儲備券建ノ舊法幣整理公債(五分利、十年据置、三十年償還)ヲ發行シ儲備券ニ對スル舊法幣ノ五割價值切下ノ下ニ之ヲ以テ舊法幣ヲ引換回収ス。

但シ銀行錢莊其他金融機關ノ手持舊法幣ニ對シテハ右公債引換ニ強制的ニ全額即時回収ヲ行ヒ一般民間ノ手持舊法幣ハ指定銀行錢莊ヨリ右公債賣出ノ方法ニヨリ之ヲ回収スルモノトス。

右公債ニ依ル舊法幣ノ回収ハ一箇月ヲ以テ打切り其後ハ如何ナル事情アルモ之ヲ行ハズ。

四、中央儲備銀行ハ金融機關タルト一般民衆タルトヲ問ハズ必要ト認ムル場合ハ之ニ對シ舊法幣整理公債ヲ抵當トスル貸付又ハ該公債ヲ抵當トスル手形ノ割引ヲ行フ。

右ト共ニ要スレバ租界内不動產及指定商品其他ヲ抵當トスル貸付ヲモ併セ行ヒ且強制買上物資ノ代金支拂其他ノ儲備券拂ヲ促進シ儲備券不足ニ依ル極端ナル金融阻塞ヲ防止スルモトス。

五、回收舊法幣ハ敵產トシテ我ガ方ニ於テ之ヲ處理ス。

乙、附帶措置

一、儲備券ヲ一定爲替レートヲ以テ日本圓ニリンクセシム。

日本銀行ト中央儲備銀行トノ間ニ相互ニ夫レ夫レ右レートニ依ル圓預金及儲備券預金ノ預合ヒヲ行ヒ我ガ方儲備券資金ノ獲得ニ便ナラシム(此ノ外我ガ方押收舊法幣ノ引換ニ依リ取得シタル舊法幣整理公債ハ甲四ニ基キ之ヲ抵當トシテ中央儲備銀行ヨリ儲備券ノ貸出ヲ受ク)。

二、成ルベク早キ時期ニ軍票ノ新規發行ヲ停止シ能フ限り儲備券ヲ使用ス。

既發軍票ノ價値維持ハ我ガ方儲備券資金ヲ以テ行ヒ從來ノ物資ニヨル軍票價値維持機構ハ漸次儲備券ノ價値維持機構ニ轉換ス。

三、上海ニ本店ヲ置ク日華合辦ノ民間商業銀行ヲ設立シ其ノ奥地支店網ヲ急速ニ整備シ右ヲシテ中央儲備銀行トタイ・アツブシテ儲備券ノ奥地普及、内地金融爲替市場ノ我ガ方指導性確立並ニ華人預金ノ大量吸收及我ガ方工商業所要資金ニ融通ノ資セシム。

中央儲備銀行ハ其ノ奥地支店ヲ漸次右銀行ニ移讓シ商業的業務ヲ營マザルコトトシ銀行ニ進ムコトトス。

四、儲備券ノ放出量増大ト共ニ漸次甲四ニ依ル貸出ヲ回収スルガ如ク措置シ其他ノ諸方法ト併セテ通貨調節ニ依ル物價安定ヲ期ス。

一、説明

大東亞戦争ノ完遂及大東亞共榮圏確立ノ爲我ガ方ガ上海ヲ利用スルニ當リテハ、上海ノ自然的立地條件ノ優越性其ノ豊富ナル經濟的遺産並ニ其ノ特異ナル行政機構等ヲ考慮ニ入レ、上海ヲシテ

(一) 軍需物資ノ調達並ニ軍自活ニ對スル役割

(一) 占據地經營ヲ通ジテノ對重慶攻勢ニ對スル役割

(三) 對日滿北支並ニ對南洋民需物資供給地トシテノ役割

(四) 大東亞共榮圏内物資集散中心地トシテノ役割

(五) 戰後ニ於ケル我ガ世界政策遂行ノ一據點トシテノ役割

等ヲ演ゼシムルコトトシ、右目的ノ爲必要ナル上海ノ再編成ヲ行フベキモノト思料シ、右ニ關シテハ概ニ提出セル「上海再編成ニ關スル基本方針(案)」ニ於テ之ガ詳細ナル説明ヲ試ミタリ。茲ニハ右方針ニ準據シ先づ主トシテ中支通貨ニ關スル改革ノ措置要領ヲ述べントス。蓋シ通貨ニ對スル措置ハ其ノ性質上他ノ萬般ノ經濟的措置ノ基礎ヲ提供スルモノニシテ、其ノ措置如何ガ延イテ他ノ諸措置ノ内容ヲ規定スルニ至ルモノナレバナリ。

(一) 中支通貨改革ノ根本的視角

上海再編成ノ一部トシテ中支通貨ノ改革ヲ行フニ當リテハ、其ノ根本的視角ハ可能ナル最少限度ノ我ガ方負擔ニ於テ現地派遺軍ノ所要物資ヲ調辨シ、併セテ上海及中支占據區域ニ於ケル基幹的物資ノ交流及生産ヲ嚴格ナル我ガ方規制下ニ置カシムガ爲、上海ヲ中心トシテ中支占據區域一帯ニ亘リ物資交流及生産兩部面ニ於ケル諸般ノ統制ヲ推進スルト相俟チ、通貨部面ニ於テ之ヲ掩護スベキ如何ナル施策ヲ行フベキヤニアラザルベカラズ。

惟フニ大東亞戦争ハ軍事的ニハ大勝利ヲ以テ進展シツツアルモ、之ヲ可能ナラシムル爲日本産業ノ負ヘル負擔ハ未會有ニ厖大ニシテ日本國民ノ拂ヘル犠牲亦決シテ生易シキモノニアラズ。例ヘ南方占據區域ニ於テ我ガ方ノ入手セル諸種ストツクノ量ハ厖大ナリトモ現地作戰完遂ノ爲直チニ之ヲ使用スル量モ同様厖大ナルベク、又占取シタル諸種資源ガ如何ニ豊富ナリトモ之ヲ我ガ方生産擴充ニ寄與セシメ得ルニハ一定ノ時日ヲ要スルモノト見ザルベカラズ。我々ハ茲ニ相當ノ長期ニ亘リ困難ナル條件下ニ上海及中支占據區域ノ經營ヲ遂行シ、其ノ間我ガ方ノ最少ノ負擔ニ於テ軍所要物資ノ現地調辨ヲ强行スルノ覺悟ヲ必要トス。前記上海ノ役割モ亦差當リテハ(一)(二)(三)特ニ(一)ニ主點ヲ置キ可能ナレバ他ノ諸項ニモ留意スルコトトシ、將來之ガ成功的遂行ヲ基礎トシテ漸次全役割ノ完遂ニ進ムベキモノナリ。

斯カル立場ヨリスレバ中支經濟ノ健全化乃至中支民生ノ安定等ノ如キハ能フベクンバ之ガ實現ヲ希フハ勿論ナレドモ萬止ムヲ得ザレバ勢ヒ後廻シニゼザルヲ得ズ。中支經濟ト言ヒ中支民生ト言フモ當面ハ大東亞戦争完遂並ニ大東亞共榮圏確立ノ爲ノ我ガ方必要ニ寄與スル所無ケレバ所詮ハ縁ナキ衆生ナリ。從ツテ我ガ方トシテハ一面中支經濟及中支民衆ノ大部分ヲ我ガ方必要ニ寄與セシムル爲ノ積極策ヲ講ズルト共ニ、他面昔日ノ甘夢ヲ忘レズ利

己私益ニ狂奔シ大東亞戰爭完遂ノ共同責任分擔ヲ拒否スルガ如キ部分ニ對シテハ假借ナク一擊ヲ加フベキモノニシテ、現實ノ緊迫ハ再編成ノ手段ヲモ苟酷ナルモノトセザルヲ得ズ。尤モ斯ク言フハ我ガ大東亞戰ノ完勝コソ結局ハ新生支那ノ解放ヲ約束スルモノナルガ故ニシテ、同時ニ支那民衆ニ對スル「可愛イ子ニハ旅サセロ」ノ親心ヨリスルモノナリ。

既ニ我ガ方ノ援助ニヨリ成立シタル國民政府ノ中央發券銀行タル中央儲備銀行ヲ如何ニ育成シ且如何ニ利用シテ行クベキカノ問題モ斯カル視角ヲ離レテハ之ヲ取上グル能ハズ。即チ、儲備券ヲ如何ニシテ中支ノ支配的通貨トシツツ中支占據區經營ノ我ガ方必要ニ寄與セシメ行クカ、コレ問題ノ骨子ニシテ、其レニ對スル諸々ノ障礙ガ舊法幣ノ流通ニ依リテ惹起セラルガ故ニ之ヲ適當ニ處理スルコトガ問題ノ他ノ反面ヲ構成スルモノナリ。而シテ中支占據區經營ノ我ガ方必要トハ第一ニハ我ガ作戰完遂ノ爲ニ我ガ方最少ノ負擔ニ於テ其ノ所要物資ヲ現地調辨シ、第二ニハ其レヲ可能ナラシムル爲ニ基幹的物資ノ交流及生產ヲ嚴格ニ規制シ、最後ニハ其等一切ノ圓滑ナル進行ノ爲ニ必要ナル限リニ於テ一般物資ノ交流ヲ促進シ行クノ三點ニ盡ルベシ。中央儲備銀行券ノ普及並ニ舊法幣ノ處置ハ右ノ施策ヲ掩護シ且拍車スルニアリ。

(二) 中支通貨ノ急速ナル統一ノ必要及可能性

右ノ爲ニハ急速ニ中支通貨ヲ統一シ且我ガ方指導下ニ置ク必要アリ。蓋シ上海及中支占據區域ハ廣汎ナル非占據區域、特ニ重慶政權ノ通貨工作ニ依リ直接コントロールセラレ居ル地域ニ圍繞セラレ、前述ノ如ク大東亞戰ニヨ

リテ轉換ヲ必要トスルニ至リタル我ガ方施策ハ斯カル中ニ於テ之ヲ實施シ行クモノナリ。大東亞戰爭ノ勃發竝ニ皇軍ノ租界進駐ト共ニ上海ハ重慶トノ連繫ヲ切斷セラレ我ガ方指導下ニ立ツニ至リタレドモ、重慶政權ハ逸早ク我ガ占據地域ヘノ法幣搬出禁止ヲ解除シ新事態ニ對處スル所アリ、斯クテ敵地區ト我ガ占據地區トハ其ノ通貨の連繫ヲ通ジテ微弱ナガラ其ノ交流ヲ持續セリ。

然ルニ我ガ方施策ノ效果アル運營ノタメニハ、能フ限リ最小限度ノ我ガ方負擔ニ於テ軍所要物資ヲ調辦スル爲ニモ基幹的物資ノ交流及生產ヲ我ガ方規制下ニ置ク爲ニモ、現地ニ於テ通貨ヲ創造スルノ必要アリ。斯カル通貨ノ創造ハ上海及中支占據區域一帶ニ亘リ我ガ方指導下ノ發券銀行ノ發行スル紙幣ノミガ流通スル場合ニノミ可能ナリ。次ニ基幹的物資ノ交流及生產ヲ嚴格ナル我ガ方規制下ニ置カンガタメ物資交流及生產部面ニ於ケル統制ヲ推進スルニ當リテハ、占據區域特ニ上海ニ於テ諸金融機關ニ付其ノ資金放出ヲ統制スルノ必要アリ。斯カル資金統制モ亦我ガ方指導下ノ中央發券銀行ニ依ル通貨統一ヲ基礎トシテ該發券銀行ト全金融機關トノ連繫ヲ密ニシタル場合ニ於テノミ可能ナリ。更ニ前記ノ目的遂行ノ爲ニハ物價ノ安定ヲ必要トスルコト言フ迄モナク、其ノ爲物價統制ト共ニ通貨供給ノ調節ヲ行ハザルベカラズ。斯カル通貨調節ノ可能ナルタメニモ我ガ方指導下ノ中央發券銀行ニヨル通貨ノ統一ヲ必要トス。最後ニ物資ノ敵地流出、或ハ尠クトモ對敵地移出超過ヲ防止スルノ必要アルハ勿論ニシテ其ノ最大ノ保障ハ我ガ方指導下ノ中央發券銀行ニヨル通貨統一ヲ斷行シ敵側ヲシテ舊法幣ニヨル物資買付ヲ不可能ナラシムルニアリ。右ノ諸事情ヲ考慮シ急速ニ中支通貨ヲ統一シ且我ガ方指導下ニ置クヲ必要トス。然ラバ中支通貨ノ急速ナル統一ノ可能性アリヤ。此ノ場合第一ニ我々ノ念頭ニ置カザルベカラザルハ、我ガ方援

助ノ下ニ成立シタル中央儲備銀行ガ既ニ滿一年以上業務ヲ運營シ、上海及中支金融界ニ抜クベカラザル地歩ヲ占メ、其ノ發行セル儲備券ハ今ヤ確乎搖ギナキ位置ニ坐セルノ一事ナリ。我々ハ中支通貨ノ我ガ方指導下ニ於ケル統一ノタメニ茲ニ全ク新タル通貨ヲ發行スルモノニアラズ、又ソノ必要ヲ認メズ。儲備銀行一年有餘ノ辛酸ヲ白眼視シ儲備券ノ取得並ニ使用ヲ故意ニ拒否シ居リタル徒輩ガ事態ノ一變ニ狼狽シ、恰モ當面セル中支通貨ノ統一ノ問題ヲ全ク新タル通貨ニヨリテ置換ヘルガ如キ措置ニ誘導セントスルハ笑止ナリ。問題ハ中央儲備銀行ノ育成強化並ニ儲備券ノ普及ノ線ニ沿ヒテ解決スペキモノナルハ論ナク、然ルガ故ニ全ク可能性アルモノト言フベシ。

他方ニ於テ上海及中支占據區域ニ於テハ尙ホ其ノ流通ヲ許容セラル舊法幣ノ處理ノ問題アリ。舊法幣ガ上海兩租界ノ特殊地位ニ援護セラレ重慶政權並ニ援蔣諸國ト結付キ敵性經濟活動ノ仲介者タル役割ヲ果シ來レル敵性通貨タルハ言フ迄モナク、我ガ方ガ其ノ流通ヲ許容シ來レルハ一面國際的協約ニ基ク租界權益ヘノ國際政治的顧慮ニ基クト共ニ、他面之ヲ利用シテノ我ガ方利益モ妙カラザリシニ據ルモノナリ。然ルニ今次戰爭ノ勃發ト共ニ、上海ノ香港其他ヲ通ズル敵地區並ニ援蔣諸國トノ關係ハ切斷セラレ敵性經濟活動ハ中斷スルト共ニ、當地ノ發券銀行タリシ中中交農四行及ビ平衡資金ノ操作ニ依リ舊法幣ヲコントロールシ居タル敵性外國銀行ノ機能停止並ニ當地ト重慶及非占領地域トノ銀行取引ニ依ル資金交流ノ杜絕ノ結果舊法幣モ亦其ノ敵性通貨タルノ機能ヲ麻痺スルニ至レリ。而シテ同時ニ其ノ從來ノ我ガ方利用性モ上海ニ關スル限りハ之ヲ喪失シタリ。上海及中支占據區域ニ於テコノ殘骸ノ舊法幣ヲ救助セントスレバ、中支經濟及中支民衆ノ大部分ヲ我ガ方必要ニ寄與セシムル爲必要ト

スル限度内ニ於テ適當ナル手段ヲ以テ行フベキハ勿論ニシテ、右ニヨリ敵性經濟活動ノ慣行未ダ其ノ記憶ヲ去ラザル上海華商ノ全面的救濟ノ如キハ固ヨリ之ヲ意圖スベカラズ。而モ現在ノ政治的環境ニ於テ、且中央儲備銀行ノ基礎確立ノ現時期ニアリテハ、斯クノ如キ處理モ亦全ク可能ナリト言フベシ。

(三) 等價兌換回収及流通許容カ切下引換回収及流通禁止カ

右ニ關シ、一ノ試案トシテ上海及中支占據區域ニ於ケル從來ノ舊法幣建債權債務ヲ一括等價ヲ以テ儲備券建ニ移行セシメ、且舊法幣ノ大部分ヲ等價ニテ兌換回収スルト共ニ、殘存舊法幣ノ流通及其ノ市中相場ニヨル交換、並ニ新規ノ舊法幣建債權債務ノ設定ハ其後モ引續キ之ヲ許容スベシト言フ案アリ。其ノ意圖スルトコロハ中支經濟及ビ中支民衆ニ動搖ヲ與ヘズ且其ノ負擔ニ於テ急速ニ新法幣ニヨル中支幣制ノ統一ヲ達成セントスルニアルモノノ如シ。

惟フニ上海及中支占據地域ニ於ケル物資、生產力及物價ト通貨(儲備券及舊法幣)トノ存在ノ關係ニ就キテハ次ノ諸事情ヲ考慮スル必要アリ。即チ、

(一) 事變以來ノ上海及占據地域ヨリ非占據地域ヘノ移出超過ノ繼續、聯銀券工作ニヨル北支ヨリノ上海向資本逃避並ニ歐洲動亂以後ノ國際浮動資金ノ上海還流等ニヨリ上海及中支占據地域ノ舊法幣流通額及退藏額ハ意外ニ多カルベキコト

(二) 右ニ伴フ上海物價ノ奔騰ハ工部局及公董局ノ日常必需品直輸入廉賃並ニ一般輸入品ノ最高公定價格制等ヲ

横杆トシテ租界開闢以來ノ强行手段ニヨリ抑壓セラレ、中支占據區域ノ我ガ方低物價政策モ結果的ニハ之ヲ援護シ居リタルコト

(三)然ルニ今次戰爭ト共ニ外國ヨリノ物資供給ハ杜絕シ、原料入手難ニヨル工場閉鎖乃至操業短縮ノ爲生產力一舉低下シ、且皇軍租界進駐ト共ニ其ノストツクノ沒收或ハ強制買上ガ行ハレタルヲ以テ、通貨ト物資及生產力トノ鞘ハ愈々擴大セルコト

之ナリ。物價ノ現狀ハ必然騰勢ヲ持シツツアリ。斯カル際舊法幣ノ等價兌換回収ハ通貨ノ供給過多從ツテ物價ノ騰貴ヲ依然トシテ存續セシムモノナルガ、通貨ノ創造ト之ニ加ハル場合ハ更ニ高騰ニ拍車ヲカクルニ至ルベシ。若シ三十億元ノ舊法幣ヲ儲備券ヲ以テ兌換回収シタル上假ニ更ニ二十億元ノ増發ヲ行フ場合モ、之ヲ例ヘバ五割價切下ヲ行ヒ十五億元ノ儲備券ニテ回収シタル上更ニ二十億元ノ増發ヲ行フ場合モ、物資ノ總量ニ對スル通貨ノ兌換分ト増發分トノ比率ハ三對二ニテ變リナシト言フガ如キハーヲ知リテニヲ知ラザルノモナリ。物價ノ騰勢ガ十割ノ可能性アリトシ舊法幣ノ五割切下儲備券兌換ガ之ヲ一應チエツクスルモノト假定スレバ、切下回収後ノ物價漸騰ハ専ラ儲備券増發ニ由ルコト自明ナリ。或ハ適當ナル通貨調節ト物價統制トヲ行ヘバ其ノ漸騰モ或ル程度マデ抑制シ得ベシ。物價ノ奔騰ヲ豫期シテ通貨統一ヲ行フガ如キハ、儲備券ノ信用ヲ動搖セシムルモノトシテ固ヨリ採り難シ。之ヲ回避セントスレバ我ガ方物資ノ提供ヲ必要トスペク、冒頭通貨統一ノ根本立場ト相反スルニ至ラン。

但シ、右ハ儲備券ノ發行稀少ニシテ舊法幣ノ流通ガ壓倒的ナル場合ナリ。然ルニ事實ハ既ニ相當量ノ儲備券發行

アリ。今ヤ惡貨ト化シ去レル舊法幣ノミ市場ニ流通シ儲備券ハ庫中ニ退藏セラレタル觀アリト雖モ、舊法幣ノ儲備券ニヨル兌換回収後ハイヅレハ現ハレ出ヅル性質ノモノナリ。舊法幣ノ切下兌換ニヨリテ起ルベキ通貨不足ノ如キハ餘リニ過大ニ豫想スベカラズ。況シヤ之ヲ匡救スル道モ他ニアルニ於テオヤ。且通貨不安ニ慣レタル支那財界特ニ上海財界ノ如キハ純粹ナル舊法幣ノミノ所持者舊法幣建債權ノミノ所有者ノ如キ金利生活者殆ンドナク概シテ金ト物ノ兩建ナルヲ以テ、舊法幣及舊法幣建債權債務ノ價値切下ニヨル中支經濟及中支民衆ノ動搖ノ如キハ到底アルベキ害ナシ。唯々儲備券及儲備券建債權ノ所有者ニ對シ從來等價ナリシ舊法幣及舊法幣建債權ノ所有者ガ嫉視シ、爲ニスルデマヲ放ツベキ餘地ハアルヲ以テ、斯クノ如キハ其ノ華人タルト外人タルト或ハ一部ノ邦人タルトヲ問ハズ不逞分子トシテ處罰スルノ用意肝要ナリ。

尙ホ上海及中支占領區域ノ舊法幣ハ上海諸金融機關ノ手持額約十六億元ヲ基礎トシ其他民間手持七億元ヲ加ヘテ二十三億元ト推定シ且上海以外ノ分ヲ含メテ總額約三十億元ニ見積ルハ必ズシモ信ヲ置ク能ハズ。上海華商間ニ於テハ既ニ早クヨリ現金取引ガ一般化シキタルトコロ今次戰爭ヲ見越シテ手許現金ヲ充實シモラトリ亞ムニ備ヘタル向多ク、銀行其他ノ金融機關亦其ノ沒收ヲ恐レ名目的貸付ヲ設ケテ現幣ノ隠匿ヲ計リタルモノアルベキコト對スル舊法幣搬出禁止ヲ解除シタレバ斯カル等價兌換ヲ行ハシニハ計畫的ニ舊法幣ヲ搬入シ來リ儲備券資金ノ蓄積ヲ計ルベキコト等ニ依リ、兌換ヲ要スル舊法幣ハ案外多額ニ上ルヤモ知レズ、寧ロ四十億乃至五十億元ト豫想

スペキ力。

最後ニ回収後ニ於ケル残存舊法幣ノ流通及ビ其ノ市中相場ニヨル交換竝ニ新規ノ舊法幣建債權債務ノ設定ヲ許容スペキカ否カノ問題アリ。舊法幣ノ流通ヲ許セバ勢ヒ新規ノ舊法幣建債權債務モ許サザルヲ得ズ。而シテ之ヲ許容セントスルハ現在舊法幣ノ奥地物資買付能力ガ儲備券ニ勝レル點ヲ考慮シ一面從來ノ我が方奥地物資買付ヲ停滞セシメズ且上海及奥地間ノ物資交流ヲ阻塞セシメザランコトヲ期スルニアリ。但シ兌換回収ヲ行フ以上ハ一應ハ回収後ノ流通禁止ヲ建前トシ、實行上ニ於テ地域別及部門別ニ其ノ緩嚴ヲ考慮スペク、且能フ限り速カニ其ノ根絶ヲ計ル爲他ノ幾多ノ金融的措置ヲ講ズベキモノナリ。

(四) 本案ノ具體的說明

本案ハ先ヅ舊法幣モ舊法幣建債權債務モ共ニ一定率ノ價值切下ヲ主張スルモノナルガ、右ニ關シテハ前記第三、ニ於テ詳述シタレバ之ヲ再說セズ。又舊法幣ノ流通禁止竝ニ新規ノ舊法幣建債權債務ヲ一應禁止スル意味ニツキテモ既ニ述べタリ。

茲ニ一定利付ノ十年据置、三十年償還ノ公債（但シ印刷間ニ合ハザレバ一時登錄ノ形ヲトリ印刷出來ト共ニ漸次引渡スモ可ナリ）ヲ以テ一括引換回収スルハ舊法幣ヲ引揚ゲテ全然儲備券ヲ引渡サザル趣旨ニハアラズ。寧ロ儲備券豫備額ノ不足ト市場資金ノダブツキ防止トヲ考慮シ、一應總引揚ゲノ形ヲトリ他方右公債抵當ノ貸付又バ割引手形等ノ形式ニヨリ必要ト認ムル場合ニ貸出ヲ行フモノニシテ、其他ノ諸方法ニヨル儲備券放出ヲモ併用シ儲

備券不足ニヨル金融阻塞ヲ防ガントスルモノナリ。舊法幣回収ニヨル儲備券引渡分ノ一部分ヲ其儘同額ノ預金ニ繕詰ニスル方法モ同一效果ヲ有スルモノナレドモ、一應流通禁止ノ處置ヲ採ルベキ舊法幣ニ對シ沒收ノ報償トシテ利付ノ公債ヲ交付シ更ニ其一部分ヲ抵當トシテ貸出ヲモ行フニ重ノ恩惠ヲ與ヘル趣旨ヲ含メ、且貸出ナルヲ以テ後來必要ニシテ可能ナル場合ニハ之ヲ回収シ通貨調節ニモ便ナラシメシング爲一括公債交付ノ形ヲ採ルヲ提議ス。尤モ少額ノ分ニ對シテハ一定金額ヲ限り兌換回収ノ便法ヲ講ズル必要アリ。

但シ右ニ依リ公債交付ノ結果、若シ公債ガ五分利トシテ全回収舊法幣四十億、五割切下ゲトシテ二十億元ノ儲備券公債ヲ發行シタリトセンカ、國民政府ノ支拂フベキ利子ハ年額一億元ニ達スベシ。右ハ現狀ヨリスレバ國府財政上ノ過大ナル負擔トナルモノナレドモ、之ニヨリテ利益ヲ受クル中央儲備銀行ニ對シテハ納付金制度ノ實施、通貨安定ニ依リテ利益ヲ受クル一般財界ニ對シテハ租稅增徵、或ハ差支ヘナキ限リニ於ケル儲備銀行ヘノ公債交付ニヨル利拂財源ノ造出等々併用スレバ些シテ影響スルトコロナカルベシ。尙ホ當面ハ公債ノ利拂ノミガ問題ニシテ、元金ノ返済ハ十年ノ据置期間後ナルガ、儲備券ノ十年後ノ狀況、中支經濟ノ十年後ノ狀態ハ今日ヨリ想像スルヲ要セズ。

通貨ノ統一ハ最初ヨリ其ノ徹底ヲ期シ、特ニ上海地區ニ於テハ其ノ全額回収ヲ目指シ、其ノ爲ニハ必要ナル强行手段ヲ準備スル必要アリ。若シモ何等ノ理由ヨリスルニセヨ相當額ノ未回収乃至非回収部分ヲ残シ且ソノ流通ノ抑制セザルニ於テハ、儲備券ノ經濟實生活ヨリノ乖離即チ軍票化ヲ惹起スル虞ヘ多分ニアリ。特ニ軍事ニ弱シト雖モ金融經濟工作ニ狡智ナル重慶政權ハ我ガ方措置ノ間隙ヲ縫フテ其ノ無力化ニ全力ヲ擧グベキハ固ヨリ想像ス

ルニ難カラズ。寧ロ通貨ノ統一ハ上海地區ノ儲備券一色化、其ノ影響ノ奥地ヘノ積極的普及、回収舊法幣ノ活用等ノ連打ニ依リ對敵攻勢ヲ展開スペキモノナリ。茲ニ於テモ亦攻擊ハ最善ノ防禦ナリ。從ツテ又、回収シタル舊法幣ハ敵產トシテ我ガ方ニ於テ之ヲ處理スペキモノトス。

儲備券ニヨル通貨ノ統一ト共ニ物價ノ儲備券建ニ移行スルハ當然ナリ。既ニ儲備券ガ支配的通貨トナリ、物價マタ儲備券建トナルニ於テハ、日支ノ物資及資金ノ交流ニ便センガタメ日本圓ト儲備券トノ間ニ一定ノ爲替レートヲ建ツベキモ亦言フヲ俟タズ。而シテ右爲替レートハ能フ限リ固定シテ財界ニ急激ナル衝動ヲ與フルコトナキヲ期スペキガ故ニ、通貨ノ放出規制竝ニ回收ニヨリ過剩購買力ヲ吸收シ以テ物價ノ騰貴ヲ抑制スルノ要アリ。他方ニ於テ右ニ伴ヒ日本銀行ト中央儲備銀行間ニ相互勘定ヲ設ケ我ガ方儲備券資金ノ獲得ヲ便ナラシムルト共ニ、専ラ右儲備券ヲ使用スルコトトシテ軍票ノ新規發行ヲ停止スルノ域ニ進マザルベカラズ。斯クテ既發軍票ノ價值ニツキ之ガ維持操作ヲ行フ必要アル場合ハ我ガ方儲備券資金ヲ之ニ充用シ、從來ノ物資ニ依ル軍票價值維持機構ハ漸次儲備券ノ價值維持機構ニ轉換セシメ行ク必要アルベシ。

我ガ方指導下ノ中央發券銀行ハ之ヲ必要ニ濫用スベカラズ。儲備券ノ增發ニハ嚴格ナル規制ヲ施クベキハ前述ノ如クナルガ、其レ故ニ又我ガ方所要資金中一般物資ノ買付並ニ生產力擴充資金ノ如キハ能フ限リ華人資金ノ大量吸收ニヨリテ調達スルノ工夫ヲ要ス。然ルニ從來ノ上海邦人銀行ハコノ點全ク無能ニシテ、邦人ヨリノ預金並邦人ヘノ貸付ニ共喰ヒノ觀アリ。出來得ベクンバ此際敵性華人銀行中ノ親日ナル人的要素及設備ヲ糾合シ、之ニ華興商業銀行等ヲ加ヘ、更ニ日本ヨリ優秀ナル邦人職員ヲ招致シ、以テ上海ニ本店ヲ置ク日支合辦ノ民間商業段亦之ヲ異ニスペキハ當然ナリ。

銀行ヲ設立セシメ、右目的ノ實現ニ當ラシムルモ一方法ナリ。而シテ、該銀行ヲシテ其ノ奥地支店網ヲ急速ニ整備セシメ、儲備券ノ奥地積極普及ト儲備券建内國爲替ノ普遍化ニ努メシメ、一般華人銀行ヲシテコレニ倣フノ風潮ヲ醸釀セシムベシ。バンド邦人銀行ヲシテ匯豐、麥加利、花旗ニ代リ華人銀行ノ親銀行タラシメ之ヲ以テ華人金融界ヲ統御スルハ勿論必要ナレドモ之ノミヲ以テシテハ必ズシモ充分ナラズ。目的既ニ英米ト異ル所アリ、手段亦之ヲ異ニスペキハ當然ナリ。

(五) 通貨ノ處理ト金融機構ノ再編成

以上述ブル所ハ主トシテ中支通貨ニ關スル改革ノ措置要領ナルガ、通貨ノ處理ナクシテハ金融機構ノ整備ノ問題モ取扱ヒ難キヲ以テ、茲ニ頭初ニ論究シタリ。然レドモ屢々見ル如ク通貨ノ論議ニ終始シテ支那金融經濟ニ於テ演ズル金融諸機關ノ役割、其ノ特殊ナル構造、之ニ對スル我ガ方施策ノ方向等ニツキテ思ヒヲ致サザレバ通貨ノ論議モ亦架空ナリ。通貨ノ安定ガ經濟發達ノ前提タルハ固ヨリ異論ナキモ、內戰ト惡政ノ交替ニ基ク慢性的通貨不安ノ中ニ生成發展シ來レルモ亦支那金融經濟ナリ。斯ルガ故ニ商業銀行ト言ヒ、儲蓄銀行ト言ヒ、信託公司ト名乗ルモ其ノ機能、作用ハ必ズシモ日本或ハ歐米ノ其レト同ジカラズ。一搬金融業務ト共ニ商業、運送業、倉庫業等ヲ併セ營ミ、一般商社ト軒輊ナキモノ多ク、歐米流ノ機能分化主義ニ對シテ綜合主義ヲ發揮シテ止マル處ヲ知ラザル觀アリ。從ツテ通貨ノ改革、舊法幣ノ儲備券ニ依ル置換ヘモ其レノミニシテコレラ金融機關ノ活動統制ニ如何ナル效果ヲ齎スペキヤハ必ズシモ分明ナラズ。コレ通貨ノ處理ト共ニ金融機構ノ再編成ヲモ必要ト思料セ

ラルル所以ニシテ、其ノ研究ハ我々ノ次ノ課題タルモノナリ。茲ニハ單ニ問題ヲ指摘スルニ止メントス。

[参考資料]

中支通貨ニ關スル措置(別案)

(昭和十七年三月二十二日提出)

目 次

- (一)基本方針
- (二)前提條件ノ吟味
 - 一、舊法幣ノ非敵性化
 - 二、舊法幣ノ不安定性
 - 三、新法幣一色化ノ利益
- (三)新法幣一色化ノ具體的提案
 - 一、方針
 - 二、要領
 - 三、説明
- (一)當提案ノ眼目
- (二)不等價交換ガ財界ヲ混亂セシムル理由
- (三)不等價交換論ニ伴フ説謬

(四)一定期間内ニ交換ヲ完了スル必要ト其ノ可能性

(五)儲備銀行ニ對スル發券準備ノ賦與

(六)回収舊法幣ノ處理

(七)色化後ニ於ケル舊法幣ノ取引

(四)一色化後ニ於ケル新法幣ノ價值維持

一、新法幣ノ性格

二、價值維持ノ具體案

(一)基本方針

一、上海市政研究會ノ提案ニカカル『上海再編成ニ關スル基本方針』ガ經濟部面ニ於テ要請スルトコロハ、之ヲ要約スレバ新條件ノ下ニ上海ヲ再編成シ能フ限リ速カニ其ノ生産ヲ起シ以テ現地軍ヲ始メトシ、日滿支南洋等大東亞共榮圈全般ニ對スル最大限度ノ經濟的寄與ヲ爲サシメントスルニアリ。

二、依ツテ通貨部面ニ於テ、右ノ要請ニ應ズベキ施策ヲ求メントスレバ、先づ以テ通貨ニ可及的安定性ヲ與フルコトヲ舉ゲザルベカラズ。蓋シ通貨ノ安定即チ物價ノ不動搖ハ凡ユル經濟的施策ノ基礎タルベキモノニシテ之ヲ他ニシテハ凡テノ經濟工作ハ其ノ根底ヲ破壊セラルベキヲ以テナリ。

次ニ掲グベキ目標ハ通貨ヲ可及的制可能ハモハタラシムルコト之ナリ。惟フニ此ノ要請ハ畢竟スルニ第一ノ通貨安定ノ目的ヲ達成スル手段ナルト考ヘラレザルニ非ザルモ、一方ニ於テ今後我ガ方ハ物資獲得ノ爲ニ通貨増發ノ必要アルベキヲ以テ、其ノ點ニ於テ自ラ別個ノ必須條件タリ。

(二)前提條件ノ吟味

一、舊法幣非敵性化

租界進駐以後ノ新事態トシテ上海地區ノ舊法幣ハ重慶ノ管理ヲ離レタルノミナラズ當地ノ金融機關ハ殆ンド完全ニ我ガ方統制下ニ入りタルヲ以テ占領地區ノ法幣ハ著シク其ノ敵性ヲ喪失シ一種ノ中性的存在ト化シタリ。依ツテ若シ舊法幣ガ我ガ方最高目標タル安定通貨附與ノ目的ニ適フモノトセバ暫ク舊法幣ヲ使用スルコト敢テ差支ヘナキモノト言フベク、進駐以前ノ理念タル舊法幣敵性論ハ根本的修正ヲ要スルコトヲ先づ以テ認識セズルベカラズ。

但シ舊法幣ノ重慶トノ繋りハ未ダ完全ニ斷絶セラレタルモノニハ非ズシテ接敵地區ニ於ケル現實ノ交流ハ今尙遮断セラレタリト言フベカラズ。故ニ若シ上海地區ガ完全ニ新法幣ヲ以テ統一セラルルトセバ一層可ナルコト言フヲ俟タズ。

二、舊法幣ノ不安性

進駐以後上海地區ノ舊法幣ハ極メテ不安ナル存在トナリ些少ナル刺戟ニ對シテモ崩落ノ危険アルモノト成リタ

ルコトハ疑ナシ。而シテ右ノ事實ハ今後皇軍ノ戰果擴大、重慶政權ノ弱體化ニ伴ヒ益々加重セラルベキコトモ亦疑ナシ。

依ツテ惟フニ今後舊法幣ニ對シ適當ナル措置ヲ施シ以テ可及的安定性ヲ附與セントスル方策ハ其ノ或ル程度可能ナル事ハ之ヲ認ムベキモ、長ク之ヲ維持シ得ベカラザルハ又論ナキトコロナルベシ。

三、新法幣一色化ノ利益

右ノ事實ヲ認識シテ之ヲ前記二要請トノ關聯ニ於テ靜思スレバ、若シ茲ニ財界ニ動搖ヲ起サシメズシテ上海並ニ占領地區ノ舊法幣ヲ新法幣ニ一色化スルコトヲ得ルトセバ、正シク之最良ノ方策タルヲ知リ得ルト同時ニ、若シ之ヲ爲シ得ズトスレバ中支經濟ハ常ニ潛在的通貨不安ニ脅カサレザルヲ得ザルモノタルコトヲ知ルベシ。依ツテ茲ニ最良ノ方策タル新法幣一色化ヲ提案セント欲スル次第ナリ。

(三)新法幣一色化ノ具體的提案

一、方針

我ガ派遣軍現地調辦ノ便益ニ資スルト同時ニ我ガ方ノ諸般ノ經濟的工作ノ基礎ヲ確立センガ爲、中支經濟及中支民生ニ動搖ヲ與ヘルコトナク而モ中支民衆ノ負擔ニ於テ急速ニ中央儲備銀行券ニ依ル中支幣制統一ヲ達成セントス。

二、要領

二、要領

(一)某月某日ヲ期シ國民政府、工部局及ビ公董局ノ命令ヲ以テ上海及ビ占據區域ニ於ケル一切ノ既存ノ舊法幣建債權債務ヲ等價ヲ以テ儲備券建ト見做ス。

爾今法幣建ノ債權債務ハ舊法幣建ノ明示ナキ限り儲備券建ト見做ス。

(二)同日以後中央儲備銀行ハ一定期間儲備券ヲ以テ銀行、錢莊、其ノ他一般民衆ノ手持舊法幣ヲ等價ニテ交換ス。金融機關手持舊法幣ノ交換ハ強制トス。

儲備銀行ヘ一ヶ月ヲ以テ右ノ等價交換ヲ打切り其ノ後ハ兩者ノ交換及ビ其ノ交換相場ヘ市場ノ自由ニ放任ス。

(三)等價交換ニ伴フ儲備券ノ發行ニ對シテハ後記A案乃至D案中ノ一案ニヨリ華人ノ負擔ニ於テ適當ナル發券ノ準備ヲ賦與ス。

(四)回収舊法幣ハ別途之ヲ處理ス(後述)。

三、説明

(一)當提案ノ眼目

右ノ處置ニ於テ其ノ眼目タルモノハ一切ノ債權債務ノ等價ニヨル新舊切換及ビ夫ニ伴フ當然ノ處置トシテノ新舊法幣ノ等價交換ナリ。凡ソ通貨ヲ代替セシメ債權債務ノ切換ヲ伴ハザルハ事ノ末節ヲ捉ヘテ根本ヲ忘レタルモノニシテ又苟モ一切ノ債權債務ヲ新通貨ニ切換ヘンガ爲ニハ等價ヲ以テセザレバ重大ナル紛糾混亂ヲ招來スベキコト火ヲ賭ルヨリモ瞭カナリ。即チ中支幣制ノ圓滑ナル新券化ハ此ノニツノ眼目ヲ擇レテハ到底期待スベカラズ。

(一) 不等價交換ガ財界ヲ混亂セシムル理由

例ヘバ四割ノ打歩付ニテ不等價交換ヲ行ヒタル場合ヲ想像スルニ新法幣ニ對シテ從來ノ物價ガ均シク四割ノ低落ヲ示シ從來百元ノ商品ガ六十元トナルモノトセバ一應論理的ニハ問題ナキ苦ナルモ事實ハ決シテ然ラズシテ百元ノ商品ハ新法幣ニ對シテ百元舊法幣ニ對シテハ百四十元トナルベシ。カルガ故ニ打歩付交換ハ要スルニ般的物價ノ突發的引上ゲラ殊更ニ命令スルニ等シク其ノ結果ハ財界ノ混亂、商取引ノ停止、破産失業ノ增加、其ノ結果タル生産ノ減退等凡ユル惡結果ヲ招來スルト共ニ換物運動ト賣惜ミトヲ誘發シテストツクヲ四散セシメ、軍其ノ他物資買付ヲ困難ナラシムルコト必定ナリ。

(二) 不等價交換論ニ伴フ誤謬

(イ) 舊法幣ノ價值ハ重慶及英米敗戦ノ結果低落スペキモノナルガ故ニ不等價交換ハ當然ノ歸結ナリト爲ス者アレ共一種ノ錯覺ナリト云ハザルベカラズ。

重慶ノイソフレ政策乃至抗戰力ノ低下ニヨリ舊法幣ノ價值ガ低落シタルコトハ事實ナルモ夫ハ今日ノ舊法幣ノ價值ニ既ニ具現シ居ル筈ナリ。而シテ今後更ニ低落スペキ必然性アルコト亦疑ナキモ我方ヨリ進ンデ不等價交換ヲ強要スルコトニヨリ求メテ此ノ低落ヲ惹起セシムル必要ハ更ニ之ナシ。

冒頭述べタルガ如ク通貨ノ安定、即チ物價ノ暴騰ヲ避クルコトガ我等ノ最高ノ課題タルコトヲ牢記セザルベカラズ。

(ロ) 舊法幣ヲ不等價ヲ以テ交換セバ其ノ範圍交換ヲ爲スモノノ負擔ガ輕減セラルルト爲シ此ノ點ヲ適當ニ重大

視スル者アレ共之亦一種ノ錯覺ナリ。當案ニ於テハ後述スルガ如ク華人ノ負擔ニ於テ準備資產ヲ據出スルモノニツキ此ノ點ハ敢テ深ク意トスルニ足ラザルモノナリ。

(ハ) 舊法幣ヲ不等價交換スルコトハ所持人ニ對スル恩惠行爲ナリト爲ス者アレ共之モ亦錯覺ナリ。儲備銀行ノ交換停止等ニヨリ既ニ不等價ノ事實ガ現レタル後ニ於テハ等價交換ハ誠ニ恩惠ナレ共茲ニ論ズベキハ斯クノ如キ不等價ノ事實ヲ起サシムベキヤ否ヤノ點ナリ。

尙此ノ關係ニ於テ特ニ注意スペキハ等價ト言ヒ、不等價ト言フハ單ニ紙幣所持人ノ利害ノミニ闘争スルモノニ非ザルコト之ナリ。既ニ指摘シタルガ如ク不等價交換ハ一般的物價騰貴ノ問題ナルヲ以テ其ノ財界ヲ混亂セシムル點ヲ暫ク措キ單ニ利害ノ點ノミヨリ之ヲ見ルモ之ニヨリテノ損失ヲ蒙ムル者ハ紙幣所有者ニ止マラズ、銀行預金者、公社債所有者、俸給生活者等々ノ總テノ金錢的債權ノ所有者ナリ。新舊法幣問題ヲ論ゼントスルモノハ先づ此ノ點ヲ深ク認識スル必要アリト云ハザルベカラズ。

(四) 一定期間内ニ交換ヲ完了スル必要ト其ノ可能性

既ニ述べタルガ如ク舊法幣ノ接敵地區ヨリノ流入ハ未ダ完全ニ遮断セラレタルモノニ非ザルヲ以テ等價交換ヲ行フトセバ、一定期間ヲ以テ打切ルベキ必要アルハ敢テ説明ヲ要セズ。現在占據地區ニ於ケル舊法幣流通高ハ三十億元ト推算セラルルトコロ儲備銀行ノ新券印刷ハ未ダ到底右ノ數量ニ達セザルヲ以テ一見等價交換ハ不可能ナルガ如ク見ユレ共左記方法ニ依レバ之ガ交換ニ困難ナカルベシ。

(イ) 金融機關庫中ニアル舊法幣ハ概算十五億元ト計算セラルルトコロ之等ニ對シテハ其ノ數量ヲ登録スルニ止

メ、現實ノ交換ハ外部ニ對シテ實際支拂ヲ必要トスル限度ニ限ルコト。

(ロ)一般ノ舊券預金ハ當然自動的ニ新券預金ニ切換ヘラルルトコロ其ノ拂出ニ就テハ一定限度以上ハ必ラズ小切手ヲ以テスル所謂匯劃制度ヲ實施スルコト。

(ハ)一般民衆所有ノ舊法幣ハ一應銀行ニ預金セシメ右ノ措置ニ準ズルコト。

(ニ)右ノ處置ヲ以テ尙新券ニ不足スル時ハ舊法幣ノ一部ヲスタンブシ暫行的ニ新券ニ代用スルコト。

此等ノ點ニ關シテハ別ニ技術的細目ノ研究アレ共此處ニハ深ク觸レザルベシ。

(五)儲備銀行ニ對スル發券準備ノ賦與

以上述ブルトコロノ方法ニヨリ一般債權債務ノ等價切換並ニ新舊法幣ノ等價交換ヲ行ヘバ最モ圓滑ニ占領地區ノ新券一色化ヲ成就シ得ベキトコロ、此處ニ問題トナルハ儲備銀行ノ新券發行ニ對スル準備ノ一點ナリ。

コノ點ニ關シテハ數箇ノ提案ヲ考慮シ得ベシ即チ左ノ如シ。

A 案

元來儲備銀行ノ回收スベキ舊法幣ハ支那全土ノ舊法幣ノ一部ニ外ナラズ。漸テ我ガ方ノ完勝ニヨリ重慶ノ降服ヲ見ル時ハ支那全土ノ舊法幣ニ對シ何等カノ處理ヲ必要トスルヤ論ナシ。依ツテ儲備銀行抱キ込ミノ舊法幣ハ其ノ儘ニ之ヲ保持シ問題ヲ其ノ時ニ譲ルモ可ナリ。

此ノニ據ルトキハ儲備銀行ニ對シ敢テ何等ノ準備資產ノ賦與ヲモ必要トセザル次第ナレ共儲備銀行ハ其ノ發行規定ニ背反スルノ疑アルニ付此ノ點南京政府ヨリ何等カノ保證ヲ爲ス必要有ルベシ。

B 案

右南京政府ノ保證ヲ稍具體化シ實質的保證物件ヲ與フルトセバ南京政府ハ儲備銀行ニ對シ放出新法幣額ニ相當スル交付公債ヲ爲スコト一案ナリ。

其ノ場合ニ於ケル問題ハ其ノ交付公債ノ利拂ヲ如何ニスルヤノ點ナルトコロ、利拂所要額ニ對シ更ニ其ノ金額ノ交付公債ヲ爲シ以テ全面平和ノ到來ヲ俟ツモ可ナリ。斯クセバ實質ニ於テハ何等ノ出費ナクシテ而モ一應發券準備賦與ノ形態ヲ整フルコトヲ得ルモノト言フベシ。

C 案

交付公債ハB案ト同様トスルモ利拂ハ之ヲ新規交付公債ニ據ルコトナク現實ニ資金ヲ交付スル案之ナリ。

其ノ財產據出ノ方法トシテハ課稅ニ依ルモノト、公債ヲ發行シ民衆ニ引受ケシムルモノトノ二手段アリ。今、假ニ三十億元ノ交付公債ニ對シ三分ノ利子ヲ附スルトセベ利拂所要額年九千萬元ニ付此ノ財源ヲ新規課稅ニ求ムルコトハ或ハ困難ナリトスルモ此ノ程度ノ公債發行ハ敢テ難事トイフベカラズ。若シ此ノ點ニ不安アラバ、

當案實施ニ當リ銀行公會、其ノ他各種ノ同業者團體ヲシテ豫メ引受ノ約束ヲ爲サシムルコト固ヨリ可能ト信ゼラル。

D 案

準備資產賦與ヲ公債ニ求メズシテ財界ノ直接負擔トスルハ一層高級ナル方策ト言フベシ。即チ新舊法幣ノ圓滑ナル入レ換ニ依リ最モ利益ヲ受クベキモノハ中支財界人ナルガ故ニ彼等ヲ諭シテ應分ノ寄與ヲ爲サシムル案

其ノ方法概ネ左ノ如シ。

(イ)各種同業團體ヲ仲介トシ、所屬團體員ヲシテ各々其ノ資產ヲ擔保トシ應分ノ利付債務證書ヲ發行署名セシム。

(ロ)軍ノ監督下ニ、南京政府ヲ中心トシ、右各種同業團體ヲ會員トシ發行準備管理委員會ヲ組織シ右債務證書ヲ管理セシメ擔保資產ノ確保竝ニ利拂金ノ取立ニ任せシム。

(ハ)儲備銀行ニ對シテハ其ノ舊法幣回収額ニ應ジ當管理資產ヲ讓渡ス。
尙右準備資產據出ニ當リ南京政府ガ交付公債ニヨリ其ノ一班ノ負擔ニ任ズルコト固ヨリ差支ヘナク、進ンデハ我ガ方ニ於テモ對支援助ノ意味ヲ以テ敵性押收資產等ヲ之ニ充當スルコトトセバ民心把握ノ上ニ於テ頗ル效果多キモノト言フベシ。

各案ノ利害得失

右一聯ノ諸案ニ於テ最モ單純容易ナルハA案ナレ共、新券ノ信用保持ノ上ニ於テ若干物足ラザルモノアリ。抑々管理通貨ノ理論ニ於テハ準備資產ノ有無ハ必ラズシモ問題ナラザル次第乍ラ中支民衆ノ心裡ニ於テハ適當ナル準備資產ヲ有スルコト可ナルハ論ナシ。尤モ舊法幣ニ對スル民衆ノ信賴ハ未ダ消滅シタル譯ニハ非ザルヲ以テ儲備銀行ガ舊券ヲ引換ニ新券ヲ放出シタル事實ハ決シテ新券ハ無準備發行ナリトノ印象ヲ與フルモノニ非ザルモノト言フベク、A案ハ一見架空ナル所說ノ如ク見ユレ共事實必ズシモ然ラザルコトヲ注意スペキナリ。

D案ハ最モ堅實ナルモノナレ共其ノ缺點トスペキハ之ガ實行ニ多大ノ政治力ヲ必要トスペキコト之ナリ。但シ一度コノ方法ニシテ成功シタリトセンカ新券ハ完全ニ中支財界自カラノ支持スル通貨トナリ今後ノ通貨工作上計リ知ルベカラザル便益アリ。夫レノミナラズコノ案ヲ實施スルコトニヨリ我ガ方ト南京政府トノ中支財界就中所謂浙江財閥トノ提携ハ最モ大規模ニ華々シク實現セラルルヲ以テ其ノ事實ハ取モ直サズ重慶政權ニ對スル一大痛棒トナルベシ。

B案及C案ハ右兩者ノ中間ニ位スルモノニ外ナラズ。

今現狀ヲ以テ右孰レノ案ヲ採擇スペキカラ勘フレバC案中交付公債ノ利拂財源ヲ公債發行ニ求メ各種團體ヲシテ其ノ引受ヲ豫約セシムル案ニヨルカ若シクハA案ニヨルコトヲ適當トスペキガ如シ。

(六)回收舊法幣ノ處理

回收舊法幣ノ處理ハ當案ノ重點ヲ離レタル問題ナルヲ以テ簡單ニ一言スレバ上記A案ニヨルトキハ全面和平ノ到來迄其ノ儘保持スペキコト勿論ナルモ、B案以下ニ於テハ貨幣理論上之ヲ廢棄スペキモノタリ。但シ接敵地區ニ於テ敵地物資買付ニ利用シ乃至ハ謀略的ニ敵地帶内ニ於テ之ヲ使用スルコト勿論差支ナシ。

(七)一色化後ニ於ケル舊法幣取引

提案中ニ於テ儲備銀行ノ舊券回收ノ打切り後、舊法幣ハ市場ノ自由ニ放任スペキ旨ヲ述ベタリ。舊法幣攻擊ノ潔辯論ヨリスレバ新券一色化ノ後ニ於テハ舊券取引ハ之ヲ禁止スペキモノニ似タレ共、寧ロ之ヲ自由放任スルヲ可ナリト信ズ。

惟フニ一色化ノ後ニ於テハ上海南京等ニハ殆ンド舊券ノ姿ヲ見ザルベク若シ之有リトスルモ其ノ相場ハ恐ラク新券ニ對シ舊券十ノ程度ニ低落スベシ。新舊兩法幣間ニ斯クノ如キ交換比率ヲ生ジタル上ハ重慶地區ニ於テ占領地區物資ヲ取得セントスル者ハ舊券建十ノ價值アル物資ヲ持込ミテ初メテ新券一ヲ取得スルヲ得ル次第ナルヲ以テ、從來重慶地區物價高ヲ原因トシテ占據地區ノ物資ガ流出ノ傾向ニアリタルコトハ逆轉スベシ。而シテ占據地トイフモ未ダ要スルニ狹少ナル地域タルヲ免レザルヲ以テ將來上海ヲ中心トスル中支經濟ノ再編成ヲ爲サントスルニ當リテハ非占據地區トノ物資交流ハ之ヲ遮断セズシテ我ガ方ニ利用スルノ着想ハ絶対ニ必要ナリ。今新券一色化ニヨリ新舊法幣間ニ格段ノ交換差フ生ズルトキハ勞セズシテ右ノ着想ヲ實現シ得ベキ時トナルヲ以テ新舊法幣ノ交換ガ接敵地區ニ於テ行ハルコトハ我ガ方ハ之ヲ歡迎スベキ筋合トナルベシ。カルガ故ニ提案ニ於テハ其ノ自由放任ヲ可トシタル次等ナリ。

(四) 一色化後ニ於ケル新法幣ノ價值維持

一、法幣ノ性格

從來新法幣ハ堅實ナル正貨準備ヲ誇リタル通貨ナレ共右ノ措置ノ結果トシテ、一轉シテ管理通貨ノ性質ヲ帶びシ。

之ガ今後ニ於ケル價值維持ハ決シテ容易ナルモノニハ非ザレ共又敢テ悲觀スペキモノニモ非ズ。何トナレバ舊法幣ニ內在スル脆弱性ハ固ヨリ新法幣ノ繼承スルトコロニ非ズ。占據地ニ於ケル發券額ハ舊法幣ト同様ノ多額タルベキモ此ノ通貨インフレハ既ニ物價ニ折り込ミ濟ニツキ敢テ夫ノミニテ將來ノ物價高ヲ豫約スルモノニハ非ズ。之ヲ要スルニ新法幣ノ將來ノ價值ハ専ラ今後ノ放出及ビ回収ノ如何並ニ中支生產ノ增强度如何ニ係問題ナリ。

二、價值維持ノ具體案

通貨價值ノ真正ノ基礎ハ生產力ニアルヲ以テ生產增强ニ關スル施策ハ總テ通貨價值維持ノ方法ト見ルベキモノナレ共茲ニハ之ヲ論セズ。又物資側ニ於ケル價格統制策モ通貨價值維持ノ重要部面ナレ共之亦茲ニハ觸レザルコトトシ、純通貨部面ノミノ價值維持方法ニツキ其ノ概要ヲ述ブベシ。

(イ) 放出ノ規制

此ノ問題ハ軍ノ現地調辨、南京政府ノ政費、日本向輸出ノ爲ニスル我ガ方物資買付ノ如何ニヨルモノナルトコロ之等ハ大東亞戰現下ノ事態ニ於テ或ル場合ニ於テハ中支經濟ノ利害ヲ超越スル要求タルベキヲ以テ中支經濟ノ爲ニ夫等ノ放出ヲ嚴重ニ規制スベシト言フハ多クノ場合本末顛倒ナリ。此ノ意味ニ於テ放出面ニツイテハ今後必要ナル放出ハ甘ンジテ之ヲ忍ブノ態度ニアルベキモノト云フベシ。

(ロ) 過剩購買力ノ吸收

右ノ次第ナルヲ以テ今後ノ施策ハ專ラ資金ノ回収即チ過剩購買力ノ吸收ノ方向ニ向ソテ注意ヲ集中セザルベカラズ。此ノ點ニ關シテ別ノ機會ニ於テ細論スペキモ進駐以後所謂上海ノ遊資ハ海外逃避ノ途ヲ断タレ、物資購買ノ機會ヲ塞ガレ、新規事業ヲ興スニ由ナク徒ニ銀行ノ庫中ニ眠レル狀態ニアルコトヲ見レバ右ノ方向

ニ於ケル施策ニハ相當多大ナル可能性アリト言フベシ。

(ハ) 銀行ヲ通ジテ爲ス資金統制

内地ニ於ケルガ如キ資金統制ノ實施スペカラザルハ勿論乍ラ支那側銀錢業者ハ總テ我ガ統制下ニ入りタルヲ以テ之等ヲ通ジ或ル程度ノ資金統制ヲ爲スコト可能ナリ。此ノ點ニツイテハ當案ノ實施ガ民衆ノ保持スル現金ヲ自ラ自動的ニ銀行預金ト化シ且夫ニ對シ新匯劃制度ガ實施セラルモノナルコトハ此ノ施策ニ對シ頗ル有利ナル基礎事實ヲ造出スルモノナリ。

(ニ) 軍票ニ對スルリンク

新法幣ハ我ガ方管理下ノ通貨タルノ點ニ於テ全ク軍票ト同性質トナリタルヲ以テ兩者ガ一定比率ヲ以テリンクスルコトハ頗ル歡迎スベキ筋合ナリ。殊ニ最近ノ事態ニ於テハ軍票經濟圈ハ中支經濟圈ノ基礎勢力トナリツツアレバ軍票ニリンクスルコトハ疑モナク新法幣信認獲得ノ良策否寧ロ其ノ根本策ト言フベキナリ。

(ホ) 日本圓ニリンクスベキヤ

既ニ軍票ニリンクシタル以上日本圓ニリンクスルコトハ其ノ必要ナキノミナラズ、誤ツテコノ途ニ深入リスルトキハ北支聯銀券ガ圓元バー問題ニ於テ苦難シタルト同轍ヲ踏ムコトトナルベキヲ以テ之ヲ避クルヲ可トス。舊法幣ガ特別圓ヲ以テ日本圓ニ聯繫シタルト同様新法幣ガ特別圓相場ヲ持ツコト勿論不可ナキモ其ノ相場ハ現在同様可變不公表ノモノタラシムルヲ要シ以テ中日間物價差ノ變動ニ即應スル用意ヲ怠ラザルコト肝要ナリ。

(ヘ) 他地域トノ爲替交流

滿洲、北支、南支及ビ南方諸圈等苟モ物資竝ニ資金交流ノ必要アル地域ニ對シテ可及的速カニ爲替決済ノ途ヲ啓クコトハ自ラ新法幣ノ價值維持方策タルベシ。其ノ方法トシテハ特別圓ノ如キモノヲ仲介トスルモ済申ノ如キ直接ノ爲替ヲ建ツルモ結果ニ於テハ同様ナリ。

(ト) 裏付物資ノ必要度

一色化ノ後ニ於テハ軍票ニ對スル裏付物資ハ軍票ガ法幣ニ對シテ低落スルコトヲ支フル意味ニ於テハ其ノ必要ナキニ至ルベシ。何トナレバ新券ハ軍票ニリンクセラレ軍票ガ新券ノ支柱タルニ至ルベキコト既ニ述ベタルガ如クナルト同時ニ今後我ガ方ハ軍ノ支出ニ軍票ヲ使用セズ新券ヲ用フルコトヲ得ベク尙場合ニヨリテハ儲備銀行抱キ込ミノ舊法幣ヲ適宜使用スルコト可能ナルニ至ルベキヲ以テナリ。

但シ軍票及新法幣ヲ一體トスル我ガ方管理下ノ中支通貨ガ其ノ全體ニ於テ低落スルコトハ果シテ上記(ロ)乃至(ヘ)ノ施策ガ克ク之ヲ防止シ得ベキヤ否ヤハ甚ダ問題ナリ。此ノ意味ニ於テ日滿北支殊ニ南方圈ヨリノ物資輸入ハ中支ニトリテ絶大ナル援助トナルベキモノナレ共船舶ヲ初メトシテ種々ノ制約アリ、今、此ノ點ニ關シ何等カノ豫測的觀測ヲ下スコトハ勿論不可能乍ラ當案ニ基ク通貨方面施策其ノ宜シキヲ得ルトセバ、中支經濟ハ相當程度ノ負擔ニ堪エ得ルモノタルコトヲ信ズルモノナリ。

第二項 金融ニ關スル措置要領（案）

（昭和十七年六月十九日提出）

一、金融ニ關スル措置要領

中支通貨ニ對スル措置ハ成功裡ニ一應完了ヲ見ントスルニ際シ其ノ線上ニ於テ更ニ我ガ方施策ヲ推進スルコトトシ、次デ

（一）差當リテハ大東亞戰爭完遂並ニ大東亞共榮圈確立ノ爲ニ支那ノ金融ヲ最大限ニ我ガ方ガ利用スルコト

（二）（一）ノ暫定措置ヲ通ジテ終局的ニハ金融ヲ通ジテノ支那經濟把握ニ歩ヲ進メ金融方面ヨリスル日支國交調整ノ長計ニ資スルコト

ヲ目的トシテ左ノ如ク措置スルモノトス。

（一）中央儲備銀行ノ育成強化ト現存日支金融機關ニ對スル統制

一、中央儲備銀行ノ育成強化

(イ) 中央儲備銀行券ノ流通ニ就キテハ差當リ上海地區竝ニ中支主要都市儲備券一色、其他ノ中支占據區域新舊折半、外席地帶舊法幣ナルベキモ、之ニ滿足スルコトナク漸次上海及中南支占據區域ノ完全ナル儲備券一色化、外席地帶ヘノ儲備券進出ノ域ニ進マシムルコト。

(ロ) 中央儲備銀行ハ當分ノ間事實上或ハ名實共ニ上海分行ヲ本行トシ南京本行ヲ分行トシ、支那金融界ノ中権タル上海金融界トノ連繫ヲ密ニシ、其ノ急速ナル保育ニ資セシムルコト。

(ハ) 中央儲備銀行ハ從前ノ中央銀行ノ如ク商業業務ヲ營ムコトヲ罷メ、專ラ中央發券銀行トシテノ業務ニ專念セシメ、以テ一般商業銀行トノ相較ヲ避ケ之ヲ領導スルノ資格ヲ養ハシムルコト。

(ニ) 中央儲備銀行ヲシテ支那側銀行、錢莊及其他金融機關ニ對スル一元的金融ノ操縱者タラシメ、資金ハ我ガ方ノ東亞共榮團建設ノ國策ノ線ニ從ツテ有效ニ利用セラルル如ク統制セシムルコト。

右ノタメ凡テノ支那側銀行、錢莊及其他金融機關ヲシテ一定率ノ預金準備ヲ中央儲備銀行ニ預入レシムルト共ニ、他方資金統制法ノ如キモノヲ考慮シ其ノ實施方法ハ支那ノ狀況ニ即應セシムルコト。

(ホ) 中央儲備銀行ヲ中心トスル手形交換所ヲ作ルコト。

二、現存日支金融機關ニ對スル統制

(イ) 華人商工業者ニ對スル金融ハ支那側銀行、錢莊及其他金融機關等ヲシテ之ニ當ラシムルヲ本則トスルモ、日華經濟合作ノ見地ヨリ支那重要生產者ニ對スル我ガ方ノ干與ヲ目的トシテ我ガ方ヨリノ金融ヲモ考慮スルコト。

(ロ) 支那側銀行、錢莊等ニシテ資力信用薄弱ナルモノハ之ヲ整理統合セシメ、華人商工业者業ニ對スル資金融通ニ際シ其ノ統制ニ便ナラシムルコト。

(ハ) 在中支那本邦系銀行ヲシテ其ノ對支活動ヲ積極化セシメ、特ニ華人預金ノ吸收ニ努力セシムルコト。

右ノタメ現在ノ銀行團ノ強化、支店長以下行員ノ長期滯在制、華人職員ノ採用、銀行統制方式ノ改善等ヲ考慮スルコト。

(ニ) 本邦系信託會社、保險會社ノ計畫的進出並ニ組織的活動ヲ計リ華人資金ノ吸收ニ當ラシムルコト。

(ホ) 右ノ措置ヲ以テ不十分ナル場合ハ他ノ事情ヲ併セ考慮シ此ノ際次ノ如キ特別ノ措置ヲ講ズルコト。

(二) 東亞興業銀行(假稱)ノ創設

一、目的

(イ) 儲備券ノ輿地積極普及ヲ計ルコト。

(ロ) 儲備券内國爲替ノ普遍化ニ努ムルコト。

(ハ) 華人預金ノ大量的吸收ヲ行フコト。

(ニ) 華僑送金ヲ我ガ方ニ吸收スルコト。

(ホ) 我ガ方所要資金特ニ商工業資金ノ融通ヲ行フコト。

二、組織

(イ) 上海共同租界中央區ニ本店ヲ置キ差當リテハ上海市内並ニ中南支一帶ニ亘リ支店網(分行、支行、辦事處、通訊處等)ヲ張ラシムルコト。

又對南洋工作トシテ南洋樞要地ニモ支店ヲ設置スルコト。

(ロ) 右ノ爲支那敵性銀行ニシテ整理ヲ要スベキモノ及華僑筋諸銀行等ノ親日的ナル人的要素並ニ物的諸設備ヲ糾合シ、之ニ華興商業銀行等ヲ吸收シタル上、更ニ本邦内地ヨリモ有力ナル職員ヲ招致スルコト。

但シ首腦部ハ主トシテ日本人ヲ以テ構成スルモ適宜支那人ヲモ最高幹部(重役、總經理、經理等)ニ登用シ特ニ窓口ハ極力支那人ヲ使用スルコト。

(ハ) 本行ハ在支事業法(假稱—後記)ニヨリ設立シタル日本法人トシ上海乃至支那ノ特殊事情ニ應ジ我國銀行法ノ規定以外ノ業務ヲ營ムコトヲ得セシムルコト。

三、事業

(イ)(一) 所掲ノ目的ニ從ヒ事業ヲ行フモノナレドモ特ニ支那及支那人ヲ主要對象トシテ左記ニ主力ヲ注グコト。

(ロ) 差當リテハ上海對奥地、次イデ對北支、對滿州、對日本、對南方諸地域間ノ物資交流ヲ再開、擴大乃至促進スルタメノ商業資金ノ大量的融通ヲ行フコト。

(ハ) 大東亞戰爭後軍管理トナリタル米、英、蘭、白等ノ敵性企業ノ我ガ方運營ノタメニ必要トスル資金、中支那振興傘下諸事業ノ現地調辨ヲ必要トスル資金、或ハ從來ノ日本人及華人企業ニシテ上海再編成ノ國策遂行上其ノ擴張乃至復活ヲ行ハシムルニ必要トスル資金ノ計畫的融通ヲ行フコト。

(ニ) 右ノタメ華人側儲備券資金ノ大量吸收ノタメ華人預金ノ大量吸收、華僑送金ノ上海吸引、或ハ在支事業法(後記)ニヨル諸會社ノ株式ノ華人ヘノ解放ニヨル資金調達等、諸般ノ措置ヲ講ズルコト。

(三) 在支事業法(假稱)ノ制定

一、目的

(イ) 支那ノ通貨事情ノ變化並ニ今後モアリ得ベキ變動ニ即應シテ我ガ現地企業ノ經營ヲ便宜ナラシメ且新通貨ノ普及信用增大ニ資セシムルコト。

(ロ) 從來本店ヲ日本ニ置キ營業所ヲ支那ニ有スル商社ヲシテ其ノ現地ニ有スル設備及資金ヲ以テ獨立會社ヲ設立スルニ便宜ナラシムルコト。

(ハ) 米、英、蘭、白等ノ敵性企業ヲ經營スルタメ、從來共現地ニ支店又ハ本店ヲ有スル日本商社ハ勿論、新ニ進出シ來ルモノモ亦現地ニ本店ヲ置ク獨立會社ヲ設立シ現地事情ニ即應スル經營ヲ行ハシムルコト。

(ニ) 在支日本法人ノ株式ヲ所有スルコトヲ支那人ニモ解放スルノ途ヲ開クコト。

(ホ) 我國會社法(銀行法、信託業法、電氣事業法等々ヲモ含ム)ノ規定以外ノ經營ヲ可能ナラシムルコト。

二、內容

(イ) 本法ハ日本ノ勅令又ハ法律ニテ公布サルルモノナルコト。

(ロ) 本法ニヨリテ設立セラル會社ハ本店ヲ支那領土内ニ置クモノナルコト。

(ハ)本法ニヨリテ設立セラレタル會社ハ我國會社法ノ規定以外ノ行爲ヲナシ得ルコトトシ、該行爲ノ範圍ハ在支本邦官憲ガ之ヲ指定スルコト。

(ニ)右ノ指定行爲ノ範圍ハ尠クトモ左ノ諸項ヲ含ムモノナルコト。

一、資本金、積立金等ハ固ヨリ其ノ貸借、事業收支ヲ儲備券建ニテ行ハシムルコト。

二、株式會社ノ場合ハ例ヘバ株式ヲ甲種及乙種ノ二種ニ分ケ、甲種ハ日本人ノミヲ所有シ且讓渡質人等ニ制限ヲ附シ、乙種ハ國籍ノ如何ニ拘ラズ之ヲ解放シ且其ノ自由賣買ヲ許スコトヲ得シムルコト。

三、銀行ノ儲蓄、信託兼營、電氣事業會社ノ他業兼營等ノ如ク全面的ニ多角經營ヲ行フヲ得セシムルコト。

四、日支合辦企業或ハ支那人企業ニシテ本法ニヨリテ設立シタキモノハ事情ニヨリ之ヲ許容シ得ルコト。

三、實施方法

(イ)本法ニヨリ東亞興業銀行(假稱)並ニ上海信託投資株式會社(假稱)ヲ設立スルコト。

東亞興業銀行ハ主トシテ前記ノ目的及組織ノ下ニ前記ノ事業ヲ行フコト。
上海信託投資會社ハ軍管理企業中直接軍管理以外ノ全敵產ノ一括信託ヲ受ケ、其ノ一部ハ次ニ掲タル各獨立會社ヲシテ其ノ經營ヲ行ハシメ他ハ既存會社ニ委託經營セシムルコト。

(ロ)米、英、蘭、白等ノ敵性企業ニシテ現在我ガ方ノ力ニテ經營スル必要アリ且將來共我ガ方ニテ把握スル必要アルモノ(例ヘバ電力、瓦斯、水道、碼頭、倉庫、或種ノ工業等)ハ日本ノ最優秀ナル技術及人的要素ヲ導入シ本法ニヨル獨立會社ヲ創立セシムルコト。

(四)上海證券取引所ノ改組再開

一、目的

(イ)我ガ方在支主要企業ノ株式ヲ華人ニモ解放シ、コレヲ通ジテ日支經濟利害ノ一致ヲ齎サシメツツ、併セテ我ガ方所要資金ノ調達ニ資セシムルコト。

(ロ)米、英、蘭、白等敵性企業ニ對スル華人側持分ヲ生カシ、其ノ凍結資產ヲ解除スルノ恩恵ヲ與フルコトニヨリ、民族資本ノ我ガ方吸引並ニ其ノ經濟活動ノ活潑化ヲ促スコト。

(ハ)換物運動ニ集中セル華人資本ノ一半ヲ證券投資ニ赴カシメ物價安定ノ一助トスルト共ニ、右ニヨル吸收資金ヲ生産增强ニ振向ケシメ、以テ儲備券經濟ノ擴充並ニ健全化ノ樁杆トスルコト。

二、組織

(イ)上海衆業公所ヲ改組シ支事業法(假稱)ニヨル日本法人株式會社上海證券取引所トシタル上之ヲ再開セシムルコト。

(ロ)日本ヨリ經驗及信用ヲ有スル株式取引員ヲ招致シ之ニ從來ノ支那側取引員ヲ加ヘ堅實ナル取引機構ヲ作ル

コト。

- (ハ) 上場株式ハ差當リ在支事業法(假稱)ニヨリ設立セラレタル日本法人ノ乙種式(三、(一)(ニ)ノ二。参照)及ビ
支那法人ノ優良株ニ限ルコト。
- (ニ) 東亞興業銀行(假稱)ト密接ナル關係ニ立タシムルコト。

(五) 法制ノ整備

- (イ) 在支事業法(假稱)ヲ制定スル外在支本邦金融機關ノ金融ヲ利便ナラシムルダメ左記ノ諸點ヲ考慮スルコト。
(ロ) 工場財團抵當貸付、其他工業金融ヲ容易ナラシムル法制ヲ整備スルコト。
- (ハ) 不動產金融ヲ容易ナラシムル法制ヲ整備スルコト。
- (ニ) 其他。

二、說明

響ニ提出シタル「通貨ニ對スル措置要領(案)」ノ姊妹篇トシテ茲ニ「金融ニ關スル措置要領(案)」ヲ起案シ當局施策ノ參考ニ供セントス。舊法幣使用ノ根絶、中央儲備銀行券ノ單一流通化ヲ目指ス中支通貨ノ改革ハ成功裏ニ一應ノ完了ヲ見ントシツツアリ。大東亞戰完勝ノ爲ノ金融戰時體勢ノ形成ハ斯クシテ其ノ第一歩ヲ踏ミ出シタリ。

然レ共右ハ固ヨリ其ノ第一歩ニ過ギズ上海及中支ニ於ケル我ガ方金融上ノ今後ノ施策ハ此ノ通貨改革ノ線上ニ於テ更ニ其ノ趣旨ヲ徹底セシムルコトニアルベキハ言ヲ俟タズ。即チ、我ガ方援助ノ下ニ成立セル中央儲備銀行ニヨル通貨統一ヲ横杆トシテ、差當リテハ大東亞戰爭完遂(特ニ英米ノ完全ナル走狗ト化シ去レル重慶政權ノ打倒)並ニ大東亞共榮圈確立(特ニ支那經濟ノ共榮圈經濟ヘノ包攝)ノ爲ニ支那ノ金融ヲ我ガ方ガ最大限ニ利用シ、右ヲ通ジテ總局的ニハ金融ヲ通ジテノ支那經濟把握ニ步ヲ進メ以テ金融方面ヨリスル日支國交調整ノ長計ニ資センコトヲ志向スルヲ要ス。之ガタメ一面中央儲備銀行券ノ流通ニ就キ上海地區並ニ中支主要都市儲備券一色、其他ノ中支占據區域新舊折半、外席地帶舊法幣程度ノ現狀ニ滿足スルコトナク漸次上海及中南支占據區域ノ完全ナル儲備券一色化、外席地帶ヘノ儲備券浸透ノ域ニ進マシムルト共ニ、他面我ガ方在支金融機關ノ對支活動ヲ積極化セシメ華人資金ノ大量吸收、我ガ方所要資金(特ニ商工業所要資金)ノ計畫的供給ニヨル物資交流ノ促進、生産ノ增强ニ步ヲ進メザルベカラズ。

而シテ前者ニ就テハ日本圓ト儲備券トノリンク、物資ニヨル儲備券ノ裏付、軍票ノ處理等々ノ問題アレドモ、茲ニハ中央儲備銀行ソノモノノ育成強化並ニコレト一般商業銀行トノ關係ノ規制ニ關シテ簡單ニ掲記スルニ止メ、主トシテ後者ニ就キテ研究ヲ試ミタリ。蓋シ華人資金ノ大量吸收ニヨル我ガ方所要資金ノ調辦ハ從來共最モ缺除シ居リタル點ナルガ、大東亞戰爭開始後ニ於テハ現地軍所要物資ノ調辦ノ爲ノミナラズ奥地物資買付ノ爲ニモ現地生産增强ノ爲ニモ或ハ接收敵產ノ我ガ方經營ノ爲ニモ巨額ノ資金ヲ必要トスルニ至リ、而モコレラ商工業資金ノ調達ハ能フ限り發券機構ノ利用ニヨル造出ヲ避ケ寧ロ民間資金ノ吸收ニ俟ツベキモノナレバナリ。加之、民族

資本ノ動員、日支經濟合作ノ推進ハ所謂日支合辦企業ノ劃一的手段ニノミ依據スルヨリモ、進ンデ金融部面ヨリスル資金吸引ヲモ併セ行ヒ、右ヲ通ジテ事實上ノ合作ヲ促進スルヲ良策トスベシ。斯カル見地ヨリスレバ現存日本系金融機關ノ最大限ノ活用ノ外、此ノ際特別ノ措置トシテ、

(一) 東亞興業銀行ノ創設

(二) 在支事業法ノ制定

(三) 上海證券取引所ノ改組再開

(四) 法制ノ整備

等ニ關シテ考慮ヲ加フベキモノト思料ス。以下各別ニ之ヲ論ズベシ。

(一) 東亞興業銀行ノ創設

華人預金ノ吸收、我ガ方所要商工業資金ノ融資ニ際シテ、先づ以テ現存日本系銀行ヲ最大限ニ活用スベキハ言フマデモナシ。右ノタメ現在ノ銀行團ヲ強化シ、或ハ銀行團ニ各少壯分子ヨリ成ル幹事會ヲ附設シテ業務狀況ノ検討並ニ企劃立案ノ機關タラシムルト共ニ、支店長以下行員ノ長期滯在制、華人職員ノ採用等ニヨル支那人ヘノ結付キ強化策ヲ講ジ、又華人側預金ノ便宜ヲ計ル爲銀行統制様式ヲ改善スル等斯種ノ方策ヲ考慮スルヲ要ス。其他本邦系信託會社及保險會社ノ計畫的進出並ニ組織的活動ヲ計リ華人資金ノ吸收ニ當ラシムルモ亦肝要ナリ。然レ共右ノ措置ヲ以テスルモ從來ヨリノ經驗ヨリスレバ必ズシモ所期ノ目的ヲ達シ得ルモノトハ言イ難シ。今、

在上海ノ本邦系支店銀行及本店銀行八行ヲ見ルニ別ニ其ノ業務ニ根本的相違ヲ見出ス能ハズ、其ノ能率增進ノ見地ヨリ假ニ機能分化ヲ行フモ主トシテ全世界ニ亘ル爲替取引ヲ正金、主トシテ朝鮮満洲トノ爲替取引ヲ鮮銀、主トシテ臺灣南洋トノ爲替取引ヲ臺銀、主トシテ同系又ハ關係事業ノ金融ヲ三井、三菱及住友、又主トシテ地場商人ノ金融ヲ漢口及上海ノ各行ニ割當テ得ルノミニテ、主トシテ支那及東亞共榮團内華人資本ノ吸收ヲ對象トシ特ニ奥地金融並ニ華僑ノ吸引等ヲ業務トシ得ルガ如キモノナシ。仍テ此ノ際コノ最後ノ缺陷ヲ補ハシガタメ新ニ東亞興業銀行(假稱)ヲ起シ、斯種目的ヲ達成セシムルモ一法ナリト思料セリ。

即チ同銀行ハ從來ノ八銀行ト異リ在支事業法(後記)ニヨリテ設立シ、日本法人タル點ニ於テ從來ノ日華合辦銀行ノ基礎薄弱ヲ免レシムルト同時ニ華人資本ノ參加ヲモ可能ナラシメ、普通銀行業務ト共ニ儲蓄、信託、業務、場合ニヨリ有力ナル銀行家ヲ招致シ、之ニ華興商業銀行等ヲ吸收スルト共ニ、特ニ支那敵性銀行ニシテ整理ヲ要スベキモノ(中央及中國農民ハ營業停止清算、中國及交通ハ改組再開、中國通商、中國實業、四明及中國國貨ハ現在ノ僅會計監督派遣等ノ如ク措置セラルルガ如クナレドモ尙ホ研究ヲ要スベシ)及華僑筋諸銀行(各地區々ニ處理セラレツツアルガ如シ)等ノ親日的ナル人的要素並ニ物的諸設備ヲ糾合シテ組織シ、例へ首腦部ハ日本人ヲ以テ構成スルモ適宜支那人ヲモ最高幹部ニ登用シ特ニ窓口ハ極力支那人ヲ使用スルコト第二ノ特徵ナリ。本店ヲ上海特ニ共同租界中央區ニ置クト共ニ、上海市内竝ニ中南支一帶ニ亘リ分行、支行、辦事處、通訊處等ノ支店網ヲ張リメグラシ、又對南洋工作上南洋権要地ニモ支店ヲ設置スルコト第三ノ特徵ナリ。斯クシテノミ華人資金ノ吸收

軍へ華僑送金ノ吸引ハ可能ナリ。

其ノ事業モ亦必ズシモ從來ノ本邦系銀行ノソレト同ジカラズ。即チ、中央儲備銀行ヲバツクシ之トタイ・アツブシテ儲備券ノ奥地積極普及、儲備券建内國爲替ノ普遍化ニ努ムルコト第一ノ任務ナリ。差當リテハ上海對奥地、次デ對共榮國各地間ノ物資交流促進ノタメ商業資金ノ大量融通ヲ行フコト第二ノ任務ナリ。米、英、蘭、白等ノ敵性企業ノ我ガ方運營ノタメニ必要トスル資金、中支那振興傘下諸事業現地ノ調査ヲ必要トスル資金、或ハ從來ノ日支企業ニシテ復活乃至擴張ヲ行ハシムルニ必要トスル資金等ノ大量的融通ヲ行ヒ以テ現地ニ於ケル生産増強ニ役立テシムルコト第三ノ任務ナリ。右ノタメ上海信託投資會社及上海證券取引所（イヅレモ後記）トハ特ニ密接ナル關係ニ立タシムベキモノトス。

之ヲ要スルニ儲備券ニヨル中南支通貨統一ヲ掩護シ推進シツツ其ノ内部ニ於テ華人資金ノ大量動員シ我ガ方所要ニ寄與セシメンガ爲ノ集約的努力ニ外ナラズ。

（二）在支事業法ノ制定

前項述ブル所ヲ金融市場ノ戰時動員トスレバ、本項說カントスル所ハ言ハバ資本市場ノ戰時動員ト言フベシ。

惟フニ英國ガ前世紀後半以來其ノ在香港及在支會社ヲ香港條例 Hongkong Ordinance ニ據リテ設立セシメ、香港政廳及駐支大使館ノ指揮ノ下ニ一面幾多ノ制限ヲ加フルト共ニ他面諸種ノ保護ヲ與ヘ、平時ハ支那經濟ノ特殊事情ニ即シテ其ノ進出ヲ容易ナラシメ非常時ニハ本國ノ必要ニ應ジテ之ヲ巧ニ利用シタル其ノ深謀ハ就キテ計ヌ

ベキモノ尠カラズ。米國亦一九一二年對支通商條例 China Trade Act ヲ制定シテ（一九二五年改正）主トシテ上海ニ本據ヲ置ク在米國商社ノ活躍ニ資スル處アリタリ（此ノ兩條令ノ内容並ニコレト在上海英米商社トノ關係等ニ付テハ目下事務局ヲシテ研究セシメツツアリ）。獨リ本邦商社ニノミ斯カル例ナシ。

固ヨリ過去ニ付テ是非スルハ本論ノ目的ニアラズ。然レ共今次戰爭ノ開始後上海ヲ再編成スルニ當リテハ、差當リ戰力培養ノ見地ヨリスルモ敵性企業ノ經營ノ爲、或ハ重要產業ノ維持擴張ノ爲必要ナル統制竝保護ヲ加フベキモノアリ、之ヲ戰後經營トノ聯關係於テ考フレバ米英勢力ノ排除東亞共榮圈ノ完成ノ爲今ヨリ其ノ基礎確立ヲ計ルベキ事業専カラズ。而モ之等ヲ遂行スルニ當リテハ一面支那ノ特殊事情ニ即應シ、他面華人資本ノ活用ニ俟ツコトヲ必要トス。茲ニ於テ在支本邦系商社ニ對シ在支事業法ヲ制定シ敍上ノ條件ヲ充タスコトヲ必要ト認メタリ。

即チ、支那經濟ノ特殊事情ニ即應シテ我ガ經濟權益ヲ確保シ戰時戰後ヲ通シテノ我ガ方必要ニ寄與セシメンガ爲ニハ、第一ニハ其ノ本據ヲ飽クマデ支那內部ニ置キ拮据經營ヲ必要トシ從來ノ商店上海ノ惡弊ヲ一掃スベシ。第二ニハ支那ノ通貨事情ノ變動ニ即シ事業經營ヲ行ハシメ從來ノ一律的ナル圓建ヲ停止スベシ。第三ニハ我國會社法ノ羈絆ヲ脫シ支那財界ト照應スル屆伸性アル多角經營ヲ行ハシムベシ。華人資本ヲ利用シ且日華利害ノ一致ヲ促進セシガ爲ニハ、第一ニハ商社ノ組織ヲ在支本邦官憲公認ノ日本法人トシテ信用ヲ確實ナラシムベシ。第二ニハ商社ノ統制我ガ方手中ニ確保スルタメ甲種株ノミ日本人所有トシ其ノ讓渡質入等ヲ制限スルト共ニ、乙種以下ノ株ハ支那人ニモ之ヲ解放シ且其ノ自由賣買ヲ許スベシ。第三ニハ日支兩國人合資ニヨリ或ハ支那人獨資ニヨリ

事業ヲ起スニ當リ日本法人トシテ商社設立ヲ行ヒタルモノハ事情ニヨリテ之ヲ許容スル途ヲ講ズベシ。而シテ上記在支事業法ニヨル商社設立ハ必ズシモ民間ノ申請ニノミヨルモノニアラズ、必要ノ場合ハ在支官憲之ヲ命ズルコトヲ得シムモノナリ。ノミナラズ、右商社ニ對シテハ適切ナル保護助成ヲ加フルコトアルベキモノナルト共ニ必要ノ事情アレバ株式公開、資金運用其他ニツキ強制命令ヲ行フヲ得シメザルベカラズ。

在支事業法ニヨル商社ノ設立ハ差當リ(一)東亞興業銀行、上海信託投資會社、上海證券取引所(イヅレモ假稱)等ノ中核的事業、(二)敵性企業中電力、瓦斯、水道、碼頭、倉庫、或種ノ工業等ノ如キ現在我ガ方ノ力ニテ經營スル必要アリ且將來共我ガ方ニテ把握スル必要アル事業、(三)從來ヨリ存在スル紡績、製粉、煙草等ノ優秀會社ニシテ國策遂行上其ノ株式公開、資金運用其他ヲ命ズルコトノ可能ナル事業等ニ指ヲ届スベシ。

(三) 上海證券取引所ノ改組再開

東亞興業銀行ノ創設、在支事業法ノ制定ヲ論ジ來レバ其ノ不可分的連鎖トシテ上海證券取引所ノ開設モ必然タリ。

從來ノ上海衆業公所 Shanghai Stock Exchange ハ英國籍ニシテ其ノ上場株ハ英米系商社株ヲ主トシ、英國ノ上海證券市場動員ノ機關トナリ居タリ。一昨年及昨年ノ金融緩漫、遊資橫溢ノ時期ニ當リ英國系在支商社ガ其ノ株式ヲ公開シ華人資金ヲ吸收スルト共ニ多額ノブレミアム利益ヲ攫取シ去レルハ尙吾人ノ記憶ニ新タナリ。而シテ同公所ニ上場セラレアリタル邦人商社株ハ上海紡一種ニ過ギズ、從來ノ上海ニ於ケル我ガ方證券市場ノ利用ハ見ルベキモノナシ。

上海衆業公所ハ今次戰爭勃發後營業停止中ナルガ、之ヲ我ガ方ノ手ニヨリ完全ニ改組シタル上再開スルハ必要ナリ。即チ、右ヲ通ジテ第一ニハ前項在支事業法ノ制定ニ於テ述べタル如ク、我ガ方在支主要企業ノ株式ヲ華人ニモ解放シ、コレヲ通ジテ日支經濟利害ノ一致ヲ齎サシメツツ併セテ我ガ方所要資金ノ調達ニ資セシムルヲ得ベシ。第二ニハ米、英、蘭、白等ノ敵性企業ノ株式ニ對スル華人側放資ハ之ヲ尊重シ其ノ一部若クハ全部ヲ生カシムル必要アルトコロ、右企業ヲ我ガ方獨立會社ノ創設ニヨリテ承繼セシムルニセヨ或ハ既存會社ニ委託經營セシムルニセヨ、結局ハ華人持分ニ對シ新株又ハ増株ノ交付ヲ以テ整理スルノ必要アルベク、且ツ取引所ニ於ケル其ノ自由賣買ヲ許容セザルヲ得ズ。第三ニハ右兩者ヲ通ジテ目今換物運動ニ偏倚セル華人資本ヲシテ其ノ一半ヲ證券投資ニ振向ケシメ、物價安定及ビ生產增强ノ一石二鳥ニ役立テシムルコトヲ得ベシ。

(四) 法制ノ整備

在支本邦系商社ノ設立及ビ經營ヲ容易ナラシムルタメ在支事業法ヲ制定スルノ要アルハ既ニ述べタリ。右ノ外在支本邦金融機關ガ我ガ方竝ニ支那側企業ニ金融スルニ當リ法制ノ不備ノ爲ニ困惑スルコト尠カラズ。例ヘバ工場財團抵當貸付、不動產金融等ニツキテハ我ガ方ノ據ルベキ法規ナシ。從來英國系銀行ガ在支英國人ノミナラズ支那人ノ融資先ニ對シテモ自國法ヲ適用シ處理シ來レルハ事實ナレドモ、我ガ方ニ於テハ其ノ點不明確ナリ。差當リ治外法權ノ梓内ニ於テ適當ナル準則ヲ制定シ、緊急必要ナル商工業資金融通ニ支障ナカラシムルコト肝要ナリ

ト思料ス。

〔参考資料〕

在支事業法案要綱

(昭和十七年九月一日事務局起案)

目 次

- (一) 在支事業法案要綱
- (二) 説 明
 - 一、本法制定ノ目的
 - 二、企業形態並ニ企業内容ノ制約
 - 三、華人ノ企業參加及華人資本ノ説引
 - 四、工業金融ノ可能性賦與
 - 五、本法實施ノ要領

(一) 在支事業法案要綱

- 一、本法ハ中華民國ニ於テ營業ヲ爲スヲ主タル目的トシテ中華民國ニ本店ヲ設クル日本株式會社又ハ株式合資會社(以下在支株式會社又ハ在支株式合資會社ト稱ス)ニ之ヲ適用スルコト
- 二、在支株式會社又ハ在支株式合資會社ノ設立ハ主務官廳ノ許可ヲ要スルコト

三、左ニ掲タル營業ヲ爲スヲ主タル目的トシテ在支株式會社又ハ在支株式合資會社ヲ設立スルコトヲ得ザルコト

(一)外國爲替ノ取引

(二)外國トノ輸出入貿易

(三)外國トノ間ノ船舶航運

但シ特ニ主務官廳ノ許可ヲ得タル場合ハ此ノ限りニアラザルコト

四、在支株式會社及在支株式合資會社ハ日本名ノ商號ト共ニ華名ノ商號ヲ併用スルコトヲ得ルコト

前項ノ規定ニ依ル華名ノ商號ニハ株式會社又ハ株式合資會社ナル文字ヲ用フルコトヲ要セザルコト

五、在支株式會社又ハ在支株式合資會社ハ中華民國國幣ヲ以テ資本ノ額ヲ定ムルコトヲ得ルコト

前項ノ規定ニ依リ資本ノ額ヲ定ムルトキハ株式ノ金額ハ國幣二百五十元ヲ下ルコトヲ得ザルコト但シ一時ニ株

金ノ全額ヲ拂込ムベキ場合ニ限リ之ヲ國幣五十元迄ニ下スコトヲ得ルコト

六、在支株式會社又ハ在支株式合資會社ノ資本金ハ二十萬圓又ハ國幣百萬元ヲ下ルコトヲ得ザルコト

七、在支株式會社又ハ在支株式合資會社ノ株式ハ左ノ條件ヲ具フルコトヲ要スルコト

(一)日本人ニ限り之ヲ所有シ得ルコト

(二)記名式ナルコト

(三)株主ハ議決權ヲ有スルコト

(四)取締役會ノ承認ナクシテ之ガ讓渡質入ヲ爲スコトヲ得ザルコト

主務官廳ハ前項(四)ノ取締役會ノ承認ヲ其ノ要許可事項ト爲スコトヲ得ルコト

八、前條第一項ノ規定ニ依ル株式ハ主務官廳ノ許可ヲ得タルトキニ限リ總株數ノ四十パーSENT迄ヲ日本人以外ニ開放スルコトヲ得ルコト

前項ノ規定ニ依ル開放株式ニ對シテハ主務官廳ノ許可ヲ得タルトキニ限リ前條第一項ノ(一)及(四)ノ規定ヲ適用スルコトヲ要セザルコト

九、在支株式會社又ハ在支株式合資會社ハ前二條ノ規定ニ依ル株式ノ外ニ左ノ條件ヲ具フル株式ヲ發行スルコトヲ得ルコト

(一)國籍ニ拘ラズ之ヲ所有シ得ルコト

(二)無記名式ナルコト

(三)株主ハ議決權ヲ有セザルコト

(四)取締役會ノ承認ナクシテ之ガ讓渡質入ヲ爲スコトヲ得ザルコト

前項ノ規定ニ依リ株式ヲ發行スル場合ハ前二條ノ規定ニ依ル株式ヲ甲種株、本條前項ノ規定ニ依ル株式ヲ乙種株ノ拂込金總額ハ全拂込済資本金ノ二分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ザルコト

一〇、在支株式會社又ハ在支株式合資會社ハ特ニ主務官廳ノ許可ヲ得タル場合ノ外七、八及九ニ規定セル以外ノ株式ヲ發行スルコトヲ得ザルコト

一一、在支株式會社又ハ在支株式合資會社ガ兩種ノ株式ヲ發行スル場合ニ於テハ利益又ハ利息ノ配當ニ付株式ノ種類ニ從ヒ格別ノ規定ヲ爲スコトヲ得ルコト

一二、在支株式會社又ハ在支株式合資會社ノ取締役ノ過半數、會社ヲ代表スベキ取締役アルトキハ其ノ取締役及監査役ハ日本人タルコトヲ要スルコト

一三、在支株式會社又ハ在支株式合資會社ノ會社ヲ代表スベキ取締役及支配人ハ住居ヲ中華民國內ノ本支店所在地ニ定ムルコトヲ要スルコト

主務官廳ハ前項ニ規定セル者ニ對シ特別ノ事情ナキ限り其ノ滯在期間ヲ指定スルコトヲ得ルコト

一四、主務官廳ハ在支株式會社又ハ在支株式合資會社ニ對シ特別積立金トシテ毎決算期ノ利益ノ一定率ノ積立ヲ命ズルコトヲ得ルコト但シ右特別積立金ハ商法第二百八十條ノ準備金ヲ含マザルコト

主務官廳ハ特別積立金ノ運用方法ニ關シ特ニ指定スルコトヲ得ルコト

一五、在支株式會社又ハ在支株式合資會社ガ中華民國ニ於テ有スル永租權ハ之ヲ物權トシ民法中所有權ニ關スル規定ヲ準用スルコト

前項ノ規定ニ依ル永租權ハ民法ノ規定ニ從ヒ他ノ權利ノ目的タルコトヲ得ルコト

一六、前條ノ規定ニ依ル權利ニ對シ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ不動產登記法ヲ準用スルコト

一七、主務官廳ハ前二條ヲ基礎トシ更ニ命令ヲ以テ在支株式會社又ハ在支株式合資會社ニ對スル工場抵當法、信託法等ノ法令ノ準用ヲ定ムルコトヲ得ルコト

一八、主務官廳ハ在支株式會社又ハ在支株式合資會社ニ對シ電氣事業法、瓦斯事業法、交通事業法、銀行法、信託業法、保險業法、無盡業法、倉庫業法等ヲ適用スルニ當リテハ現地事情ニ即應スル爲必要トスル其ノ條項ノ留保、變改ヲ爲シ又ハ適用ヲ爲サザルコトヲ得ルコト

一九、本法ハ本法施行以前ニ設立セラレタル在支株式會社又ハ在支株式合資會社ニモ之ヲ適用スルコト

(二) 説 明

一、本法制定ノ目的

在支事業法制定ノ目的ハ在中支現地企業(既存ノモノ及新設セラルベキモノヲ含ム)ヲシテ戰時中ハ其ノ能力ノ最高度ノ發揮ニ依リテ我ガ戰力培養ニ寄與セシメ、右ヲ通ジテ戰後ニ於ケル英米勢力ノ拂拭並ニ我ガ方經濟實力ノ扶植確立ニ資セシメントスルニ在リ。

既ニ支那事變ノ開始以來我在上海企業ハ從來ノ支店企業ノ形態ヨリ急速ニ現地企業ノ形態ニ轉換シ來レリ。此レ固ヨリ種々ノ理由アリト雖モ、其ノ主タル原因ハ支店企業ノ形態ヲ便利トスル從來ノ貿易海運爲替金融等ノ營業ヨリ急速ニ現地企業ノ形態ヲ便利トスル製造工業其他ノ所謂事業經營ヘト進出し來レル點ニアルベシ。即チ、昭和十七年三月末日現在ニ於ケル本店在上海邦人株式會社二百三社中、製造工業ヲ營ムモノハ百二社ノ多キヲ數へ、之ニ倉庫業、港内内河及陸上運輸業ヲ營ム十五社、不動產及土木建築請負業ヲ營ム八社ヲ加フレバ、所謂「事業會社」ハ百二十五社ニシテ其他ハ七十八社ニ過ギズ。

大東亞戰爭勃發ニ依リ米、英、蘭、白等敵國企業ガ我ガ手中ニ歸スルト共ニ此ノ形勢ハ更ニ急轉回ヲ見ントシツツアリ。即チ、軍管理下敵國企業中ノ銀行業、保險業、貿易業、航運業等ニ關スルモノハ清算ヲ命ゼラレ、資材原料等ノ關係上繼續運營ノ不可能或ハ不必要ナルモノハ閉鎖セラレ、結局原材料ノ供給可能ニシテ之ガ繼續運營ヲ必要トルモノノミガ使用セラレツツアリ。而シテ現在ハ何レモ軍管理ノ下ニ既存邦人企業ニ委託經營セラレアレドモ、之ガ能率的利用ノ爲ニハ經營者ヲシテ最高度ノ經營精神ヲ發揮セシムル形態ヘノ轉換必要ナリ。即チ、先づ新敵產ノ合理的取得ノ方法ヲ工夫スルト共ニ、之ヲ現物出資トシテ獨立ノ、或ハ既存ノ邦人經營トタル新タナル現地企業ノ設立ハ必至ナルベシ。之ガ實現セラルニ於テハ我ガ現地企業ハ茲ニ全ク面目ヲ一新セントス。

在支事業法ハ此ノ形勢ニ對處シ、(一)敵國資產ノ我ガ方ニ於ケル合理的取得ニ便ナラシメ、(二)日本ノ優秀ナル工業技術ノ現地ヘノ導入ヲ計リ、(三)我ガ方工業金融ノ可能性ヲ賦與シ、併セテ(四)華人資本ノ誘引ヲ圓滑化シ他方(五)現地ニ於ケル當局ノ企業統制ニ便宜ナラシメ、以テ現地生產增强ニ依ル戰力培養ニ資セシメントスルモノナリ。蓋シ、斯クノ如キ形勢ニ當面シテ我ガ方施策ヲ推進シ、而モ之ヲ現地經濟事情ノ特殊性ニ即應セシメンガ爲ニハ、現地企業ニ對シテ特殊ナル且確乎タル準據法ヲ準備スルハ第一ノ先決要件ナリ。

二、企業形態並ニ企業内容ノ制約

現地ニ於ケル生產增强ノ爲ニ上記ノ如キ施策ヲ推進セントスレバ、一面資材、動力、原料等ノ配給、資金ノ供與等ニ付キテ重點主義的保護助成ヲ加フル必要アルト共ニ、他面其ノ我ガ方施策ノ成果ガ確實ニ我ガ方手中ニ歸スルコトヲ要ス。上海及中支ニ於ケル企業置立ノ中ニアリテ保護助成ヲ加フベキ企業ハ嚴格ナル識別ヲ必要トシ、又内地ト異リ支那人及各國人ニ圍繞セラレテ我ガ方施策ヲ實行シ且其ノ成果ヲ確保セントスレバ慢然タル規制ヲ以テシテハ之ヲ期待シ得ルモノニアラズ。即チ、

(一)營業許可ハ全般的ニ主務官廳ノ專管トシ(要綱一)

(二)營業種目ハ爲替銀行、貿易商、海運會社等ノ其レヲ除キ製造工業、公共事業、碼頭及倉庫業、港内及内河並ニ陸上運輸業、土木建築請負業、工業及不動產金融業、又ハ之等ニ準ズルモノニ限リ(要綱三)

(三)企業形態及營業規模ハ株式會社又ハ株式合資會社ニシテ(要綱一)資本金二十萬圓又ハ國幣百萬元以上ノモノ(要綱六)ニ限リ

(四)企業ノ支配權ヲ我ガ方手中ニ確保スル爲ニ株式ノ種類ニ制限ヲ附シ(要綱七及八ノ第一項)且ツ役員ノ國籍ヲ限リ(要綱一二)

(五)役員ハ現地定住ノ爲住居及滞在期間ヲ拘束ス(要綱一三)

ルノ必要アルベシ。

三、華人ノ企業參加及華人資本ノ誘引

次ニ考慮ヲ加フベキハ華人ノ企業參加及ビ華人資本ノ誘引ノ問題ナリ。今大戰争ニ依リ我ガ軍管理トナリタル國企業ハ概ネ其ノ國籍敵國ナレドモ其ノ持分ハ必ずモシ敵國人ノミニ屬セズ。特ニ華人側ノ持分大ニシテ権輜國或ハ中立國人ノ持分モアルベシ。新敵產ヲ基礎トシテ我ガ現地企業ヲ起サントスレバ、一面我ガ方ハ接收敵產ノ

敵國人持分ノミヲ肩代リスル建前トシ他ハ事情吟味ノ上之ヲ甦生セシメヤル用意アルト共ニ、他面之ニ依リテ該企業ニ對スル我ガ方支配權ヲ喪失セザランコトヲ期スル工夫必要ナリ。特ニ後者ニ付テハ上海ハ今ヤ全ク我ガ威令下ニ歸シタリト雖モ、經濟界ニ浮游スル華人及外國人ハ必ズシモ之ヲ善意ノ者ノミト見ル能ハズ、邦人亦時局ヲ無視シテ功利ニ奔ル輩無キヲ保セズ。非常時下我ガ方特別ノ保護助成モ其ノ實果ヲ收メ得ザル處アルヲ以テ特ニ注意スルノ要アリ。

同時ニ現地企業ノ所要資金ノ現地調辨ノ必要ハ今後益々加重スペシ。然ルニ接收新敵產ノ量ハ厖大ニシテ、資材ノ添加ニ依リテ之ガ擴張ヲ行ハズ現狀維持ニ止マルトスルモ運轉資金ノ所要量ハ巨額ニ達スペシ。而シテ之ガ供給ハ華人資金ノ誘引ニ依ルヲ必要トシ且便ナリトス。現地企業ノ株式ノ華人ヘノ開放亦其ノ一方法ナリ。以上ノ理由ニ依リ。

(一)會社ハ商號ハ日本名ト華名トノ併用ヲ許容シテ華人ヘノ接近ヲ計リ(要綱四)

(二)資本金ハ通貨ハ日本圓ノミニラズ儲備券ヲモ許容シテ華人財界トノ調和ヲ期シ(要綱五)

(三)株式ノ種類ヲ甲種乙種ノ二種トシテ甲種株ノ四十パーセント迄及ビ乙種株ノ全部迄ヲ日本人以外ニ開放スル道ヲ開キ且其レニ依リ我ガ方支配權ノ喪失ヲ來サザル措置ヲ講ジ(要綱八、九、及一〇)

(四)役員ノ開放ハ取締役ノ半數迄ハ之ヲ許容シテ前項ノ趣旨ヲ一貫セシメ(要綱一一)

(五)利益ハ配當ニ對シテハ乙種株ニ對シテ中國財界ノ慣習タル官利(確定配當)及紅利(割増配當)ヲ附スルコトヲ得セシメ以テ華人資本ノ吸引ニ便ナラシム(要綱一一)

ルノ必要アルベシ。

四、工業金融ノ可能性賦與

現地企業ノ株式ノ華人ヘノ開放ニ依リテ其ノ所要資金ヲ調辨スルト共ニ我ガ方金融機關ノ活動ニ依リテ華人資金ノ割合ヲ計リ以テ工業資金ノ計畫的供與ヲ圖ルハ必須タリ。其ノ爲現存ノ我ガ方商業銀行六支店及二本店ノ外ニ主トシテ工業金融ノ爲ノ資金吸收及ビ貸出ニ當ル『興業銀行』ノ設立亦必至タルベシ。

右ハ必然的ニ企業其レ自身ノ側ニ於テモ斯種金融ヲ受ケ得ル態勢ノ整備ヲ要請ス。即チ

(一)不動産抵當ノ可能ナル爲永租權及永租地ノ定著物ニ對シ我國ノ土地及其ノ定著物ト同様ノ法的準據ヲ與ヘ(要綱一五、及一六)進ンデハ

(二)工場財團抵當其他ヘノ道ヲ開キ(要綱一七)

(三)會社特殊法ノ現地即應ノ姿勢ヲ採ラシム(要綱一八)

ルノ必要アルベシ。本項ハ在支事業法ノ根本眼目ニシテ、前段說クトコロモ其ノ爲ノ前提トシテ見ルヲ得ベキ點勘カラズ。右ト共ニ政府ノ特別ナル保護助成ヲ受ケツツ我ガ課稅權發動ノ留保ト治外法權ニヨル中國課稅ノ免除トニヨリテ國稅ノ負擔ヲ免レ居ル現地企業ニ對シテハ

(四)特別積立金ノ制度ヲ定メ其ノ運用ニ對シ主務官廳ヨリ公債買入等ヲ指定シテ之ニ國稅ニ準ズル負擔ヲ負ハシム(要綱一四)

ルコトヲ提議シタシ。

五、本法實施ノ要領

現地企業ノ再編成ハ必ズシモ本法ノ制定ヲ俟テ之ニ着手スルヲ要セズ。否、緊急化セル生産増強ノ必要ハ可及的速カニ新敵產ノ處理ヲ推進シ、之ト既存企業トヨ一體化シテ其ノ能率的運營ヲ要請スルモノナリ。其ノ際、在支事業法ノ制定ヲ豫想シ、豫メ之ニ照應スル措置ノ講ゼラルハ望マシキコトナリ（新敵產ノ處理ニ對スル方針及措置要領案ハ別ニ起案シタレバ茲ニハ煩ヲ避ケテ再説セズ）。

在支事業法ノ精神ニ依レバ其ノ制定ニ先ンジ或ハ其ノ制定ト共ニ現地企業ハ

（一）全ク新タニ設立セラルモノ（恐ラク電話、電氣、瓦斯、水道、交通等ノ公共事業會社、碼頭會社、若干ノ製造工業會社ガ之ニ屬スペシ）。

（二）既存ノ内地工業會社ノ現地支店企業ト新敵產企業トノ合體ニヨリテ新タニ成立スルモノ（恐ラク内地ノ優秀ナル技術ノ導入ヲ必要トスル若干ノ製造工業會社ガ之ニ屬スペシ）。

（三）既存ノ現地企業ト新敵產トノ合體ニヨリテ改組擴充スルモノ（恐ラク（一）及（二）以外ノ製造工業會社ガ之ニ屬スペシ）。

（四）既存ノ現地企業ニシテ其ノ儘存續スルモノ

ノ四種ヨリ構成セラルニ至ルベシ。而シテ問題ハ最後ノ（四）ナルガ、在支事業法ハ之ニモ適用シテ到底之ガ適用ニ堪ヘザルガ如キ零細又ハ腰味ナル會社ハ在支株式會社ノ圈外ニ追去ルコト必要ナリ（要綱一九）。之ニ依リテ今後共水平線下ノ零細企業或ハ爲ニスル朦朧會社ノ株式組織ニ依ル設立ヲ防止シ、當局企業統制ノ施策ニ便ナラシムベシ。

同時ニ目今ハ我ガ戰力培養ニ直接間接ノ寄與アラシメンガ爲、多種ノ業種ニ付テ日本籍現地企業ヲ設立シ我ガ方支配權ヲ確保スルノ要アレドモ之ヲ戰後經營トノ聯關係ニ於テ考察スレバ輕工業特ニ雜工業ノ分野ニ於テハ將來之ヲ華人ニ肩代リスペキモノ尠カラズ。邦人企業ガ資本上技術上華人企業家ノ着手シ得ザル分野ニ進出シ、其他ハ潔ク之ヲ華人資本ノ經營ニ委ネ主トシテ資材原料ノ取得、製品ノ販賣ニ付其ノ對外連繫ヲ必要トスル部面ヨリ之ヲ制御スルコトトシ、彼我利害錯綜ニ依ル經濟提携ノ現實ヲ創成スペシ。在支事業法ニ依ル當局企業統制ハ斯ル永キ將來ニモ着目スルノ要アリ。

第二款 物資及物價

第一項 物資交流ニ關スル措置(案)

(昭和十七年五月二十五日提出)

一、物資交流ニ關スル措置

(一)方針

上海ヲ中心トスル物資交流ノ再編成ハ、當面上海ヲシテ

- (一)軍需物資ノ調達並ニ軍自活ニ對スル役割
- (二)占據地經營ヲ通ジテノ對重慶攻勢ニ對スル役割
- (三)對日滿北支並ニ對南洋物資供給地トシテノ役割

等ノ任務達成ヲ目標トシテ之ヲ施策スルモノトス。而シテ右ニ關シ基本方針トシテ列舉すべき點三アリ。即チ

一、現在南方作戰ニ於ケル皇軍ノ勝々タル戰果ニヨリ其ノ豊富ナル資源並ニ廣大ナル商品市場ガ我ガ方ノ支配下

ニ入りタルガ、彼我間ニ物資ガ自由ニ交流スルニ到ルマデニハ今後尙相當ノ期間ヲ必要トスベシ。又從來英米ノ販賣市場タリシ南方新市場ニ對シテ我ガ方ヨリ輸出ヲ行フニハ價格並決済機構等ニ關シ調整或ハ整備ヲ要スル點尠シトセズ。從ツテ、目前ノ情勢ヨリスレバ上海ヲ中心トスル物資交流モ亦慢然ト南方貿易ノ再開ニノミ期待スルガ如キコトナク、寧ロ實際ニ可能ニシテ且必要ナル分野ニ對シ施策スペキモノトス。

一、斯クテ上海ヲシテ前記ノ諸役割ヲ遺憾ナク遂行セシメンガ爲、先づ現在停頓中ノ工業ノ早急ナル復活ヲ圖リ曲リナリニモ再生產活動ヲ再開セシムルコト最モ肝要ナリ。而シテコレガ爲ニハ、上海ト中支占據地域トヲ通ジテ可及的速カニ有機的經濟圈ヲ構成セシメ、以テ其ノ生產力ノ恢復ヲ促進スルヲ要ス。即チ、上海ノ有スル地理的竝ニ歴史的條件ニ則シ、コレト最モ密接ナル關係ヲ有スル奥地トノ物資交流ノ再開促進ヲ圖ルヲ第一トシ、右ト併セテ我ガ方ノ指導下ニ於テ大陸内地ノ物資交流ノ再編成遂行ヲ企圖スペキモノトス。

三、現在上海ノ物資交流再開促進ニツキ急ヲ要スルハ單ニ對奥地ニノミ限ラレズ對日、對滿、對北支、或ハ對南方等何レモ緊急ヲ要スルモノナルモ、大東亞戰爭進行ノ現段階ニ於テ是等多方面トノ物資交流ヲ同時ニ施策スルノ困難ナルハ固ヨリ多言ヲ要セズ。從ツテ、先づ比較的可能性ヲ多分ニ有シ且ツ再生產活動ノ再開促進ニ最有利ナル條件ヲ具備スル對奥地ノ物資交流ノ再開ニ其ノ主力ヲ傾注シ、コレヲ以テ漸次各方面ニ對スル物資交流再開促進ノ起動力タラシムベキモノトス。

右ノ基本方針ニ則リ措置スペキ要領次ノ如シ。

「以上説明(一)大東亞戰爭ニヨル上海對外貿易ノ變化參照」

(二)措置要領

上海ト他地域間ノ物資交流ニ關スル措置ハ之ヲ大別シテ(一)ストック物資處理ニ關スル措置、(二)各地別物資交流ニ關スル措置ノニ分ツヲ至當トス。以下之ヲ各別ニ論スベシ。

一、ストック物資處理ニ關スル措置

何レノ方面ニ對シ物資交流ヲ企圖スルモ、其ノ際上海ノ重要性ヲ活用セント欲スレバ、先づ上海ヨリ對交流地ニ向ケ其ノ必要トスル物資ヲ供給シ、然ル後ニ其ノ交換物資ヲ上海ニ取得スルヲ物資交流再開ノ方式トスベシ。コノ意味ニ於テ他地域ヨリ原料物資ヲ上海ニ入レ然ル後ニコレヲ以テ上海ノ工業生產活動ノ復活竝ニ上海ヨリ他地域ヘノ物資供給ヲ計畫スルガ如キハ妥當ナラズ。幸ヒ上海ニハ戰前ニ輸移入セラレタル原料物資竝製品ノストック専カラザルヲ以テ、コレヲ活用シテ物資交流再開ノ原動力トシテソノ促進ヲ圖ルモノトス。斯クテ物資交流再開ハ先づストック物資ノ處理竝其ノ活用ヨリ着手スペキモノトス。

上海地域ニ所在スルストック物資ノ處理ハコレヲ(一)軍需物資、(二)物動物資、(三)上海向民需物資、(四)他地域向交流物資ノ四ニ區分シ左ノ如ク措置スルヲ適當トスベシ。

(一)軍需物資ノ供給並其ノ生產擴充

軍需物資ノ處理ハ大東亞戰爭勃發直後ヨリ着手セラレタルトコロナルガ、右ヲ以テ滿足スルコトナク更ニ今後ハ上海ニ於テ生産可能ナル斯種物資ノ繼續的供給確保竝其ノ生產擴充ヲ計ルコト急務ナルベシ。特ニ輕工業製

品ノ分野ニ於テハ單ニ中支ニ於ケル軍自活ノミナラズ、ヨリ廣汎ナル軍需物資ノ供給ヲ企圖セザルベカラズ。

(一) 物動物資處理ノ重點

物動物資ハ(一)ノ要請ニ應ジ其ノ生産擴充ニ支障ナカラシムルト同時ニ我ガ方ノ物動計畫竝生産擴充計畫ニ即應セシメ、コレガタメ必要ナル重點ニ振向ケルモノトス。

(二) 上海向民需物資

民需物資ノ供給確保ハ上海ノ治安維持竝產業經營上不可缺ノ要件タリ。而シテ、コレガタメニハ單ニ一定數量ノ物資ヲ供給スルノミナラズ、其ノ配給竝價格統制ニ必要ナル機構ヲ整備シ、民生ノ保全ニ努ムルコト肝要ナリ。現在米、小麥粉等一部食料品ニ關シテハ稍整備セラレタル統制機構アレドモ其ノ他ノ物資ハ未ダ其ノ整備全カラズ、右機構ノ確立ハ焦眉ノ急務タリ。コレガ整備ハ左ノ要領ニヨルモノトス。

(イ) 配給調整綜合機關ヲ設置ス

(ロ) 月額配給數量竝價格等ハ右機關ノ決定ニヨル

(ハ) 下部配給機構ノ整備及統制ハ各市政機關ヲシテコレニ當ラシム

而シテ、前述ノ如ク現在實施中ノ統制品目中小賣マデ一貫シテ稍統制ノ體制ヲ整備セルハ米及小麥粉共ノ他二三ノ食糧品ニ止マレリ。民需品全般ノ統制ノ如キハ固ヨリ不可能ニ屬スレドモ、以上ノ外ニ尠クトモ食用油、砂糖、燐寸、石鹼、煙草、綿製品、藥品、臘燭等ニ對シテハ同様ノ統制ヲ必要トスベシ。其ノ際輸入杜絕ノ物資ニ就テハ現有ストツクヲ以テ今後酌クトモ一箇年間程度ノ需要ニ應ジ得ル如ク計畫スルヲ要ス。現狀ノ儘推

移センカ斯種物資ノ濫費又ハ逃避等ニヨリ他地域ニ對スル交流物資ノ裏付ニ困難ヲ生ズルニ至ルベシ。

(四) 他地域向交流物資

前記上海向民需物資ノ所要量ト睨ミ合セ、更ニ上海ニ對シ供給可能ナル他地域ノ交流物資ヲ對象トシテ、上海ヨリノ他地域向交流物資ハ夫レ夫レ其ノ必要量ヲ豫メ確保スルコトヲ要ス。右ノ爲ニハ單ニ既製品ノミナラズ其ノ原料物資ヲモ含メテ交流計畫ヲ樹立スペキモノニシテ從ツテ右原料ヲ使用シテ可能ナル限り上海ノ生産活動ノ再開ヲ促スコトモ亦考慮セザルベカラズ。

「以上説明(一)ストツク物資ノ處理參照」

二、對奧他物資交流二關スル措置

現在ノ物資搬出入統制ハ敵抗戰力ノ減殺、軍票價值維持、物資取得ノ三點ヲ特ニ重要視セルガ如キモ、軍事目的完遂ノタメニハ更ニ進ンデ占據地域ニ於ケル生産力ノ恢復竝民生ノ安定ヲ圖リツツ同時ニ我ガ方物資取得ノ一層ノ増加ヲ期スルノ要アリト思料ス。コレガタメニハ左ノ如ク占據地域内ニ於ケル生産力ノ恢復竝民生ノ保全ニ必要ナル物資ノ供給圓滑化ヲ圖ルヲ要スベシ。

(一) 現在物資移動取締規定ニヨリ搬出ヲ禁止セル第一號物資竝戰爭手段ニ利用セラル處アル第二號物資中一部品目ハ、治安ノ確保並我方軍需充足ノタメコレガ搬出禁止ノ絕對ニ必要ナルコト言フヲ俟タザルトコロナリ。然レ共、主トシテ民需用品タル第三號物資ハ前述ノ如ク現在上海ニ相當ノストツク量アルヲ以テ、コレヲ占據地域ニ於テ生産スル原料物資即チ、第四號物資取得增加ノタメ利用スルノ要アルベシ。即チ、其ノ現有ス

トツク量ト睨ミ合セ、コレガ搬出ノ圓滑化ヲ期スベキモノトス。

(二)物資ノ交流圓滑化ハ單ニ物資供給量ノ割當ヲ増加スルノミニテハ十分ナラズ。又物資ノ現状ハ對奥地交流ニ對シテ特ニ多量ヲ割當テ得ザルノ實狀ニアリ。從ツテ、單ニ多量ノ物資ヲ奥地ニ送リ以テ物資交流ヲ促進ゼントスル方策ハ望ムベカラズ、寧ロ現在實際ニ許容シ得ル物資搬出ノ範圍ニ於テ一層其ノ效果ノ發揚ヲ期スベキナリ。即チ、奥地ニ搬出シタル物資ガ奥地ニ於ケル生産ノ恢復ヲ刺戟シ、搬出ノ結果トシテ逆ニ上海ニ對スル物資ノ搬入ヲモ自然ニ誘導スルガ如キ統制機構ノ整備ヲ必要トス。コレガタメ、物資搬出入統制機構ヲ單ニ一時的ノ臨時措置トセズ半恒久的措置トシ、又眞ニ我ガ方ノ意圖ヲ體シ進ンデ我ガ方ノ統制ニ協力セントスル者ニ對シテハ華人ニモ物資搬出入ヲ解放シ以テ搬出入許可ノ特權化ヲ防グト共ニ、可能ナル限り物資配給ト收買トノ機構ヲ一元化シ、物資交流ノ圓滑化ヲ期スペキモノトス。

(三)奥地物資ノ上海搬入ノ減少ハ、前記ノ諸原因ノ外ニ買付價格ニ關聯スル困難ニ因ルトコロ勘シトセス。從來上海ノ物資ハ一般的ニ言ヘバ國外物資ガ輸入セラル關係上奥地物資ヨリモ低ク、其ノ結果奥地物資ノ買付價格ハ制限ヲ蒙レリ。然シ乍ラ、情勢ノ變化ニ應ジ上海ヲ中心ニ占據地域ヲ對象トスル物資交流ノ經濟團ヲ構成センガタメニハ、現在ノ諸關係ニ即應スル物價ヲ形成セシムルコトヲ要ス。右ノタメニハ奥地物資ノ買付價格モコレニ應ジ適正化ヲ圖ルベキモノトス。

右奥地物資ノ買付價格ノ適正化ハ、單ニ交流物資價格ト其レトノ關係ニ於テノミナラズ、買付物資相互ノ關係ニ於テモコレヲ考慮シ、以テ生産增加ニ資スペキモノトス。

一一、說明

(一)大東亞戰爭ニヨル上海對外貿易ノ變化

一、戰前ノ上海對外貿易

上海ヲ中心トスル物資交流ハ、大東亞戰爭ノ勃發ヲ契機トシ一大轉換ノ過程ニ入レリ。從來上海ハ東亞ニ於ケル物資交流ノ一大中心地タリシノミナラズ、中國市場ヲ世界市場ニ聯繫スル最も重要ナル出入口トシテノ機能ヲ果シ來レリ。然ルニ大東亞戰爭勃發以來上海ハ世界市場トノ關聯ヲ完全ニ切斷セラレ、列國ノ工業生產品ノ輸入ガ全面的ニ杜絕シ、同時ニ列國市場ヲ對象トスル工業原料品及農產品ノ輸出モ同様停止スルニ到レリ。コレガ上海及其ノヒンターランドニ對シテ重大ナル影響ヲ齎スハ固ヨリナルモ、當面ノ問題ハ、

(一)コレニヨリヲ蒙ル我ガ方ノ打擊ヲ最少限度ニ喰止メ

(二)大東亞戰爭ノ遂行並ニコレト並行的ニ進メラルベキ東亞共榮團建設ニ即應スル物資交流ノ促進ヲ圖ルニアリ。コレ等ノ對策措置ハ、先づ大東亞戰爭ノ勃發ガ上海ヲ中心トスル物資交流ニ對シテ如何ナル影響ヲ及シタルカラ正確ニ把握シ、其ノ基礎ニ立脚シテ樹立セザルベカラズ。蓋シ、上海ノ發展ガ直接間接ニ歐米列

國トノ關係ニ依存スルトコロ極メテ大ナリシガタメナリ。

上海ヲ中心トスル物資交流ハ、外國貿易ト國內貿易トニ二大別スルヲ得ベシ。但シ、其ノ意義ハ各々同一ナラズ、當面ノ問題タル大東亞戰爭ニヨル影響ハ主トシテ外國貿易ノ變化ヲ通ジテコレヲ測定スルヲ得ベシ。

對外貿易額 上海ノ對外貿易額ハ、日支事變前ノ平時、即チ昭和十一年度ヲ例ニトレバ輸入五億五千三百萬元、輸出三億六千百萬元ニ達シ、全支貿易額ニ對シ前者五八・八パーセント、後者五一・一パーセントヲ占メタリ。コレニヨリ上海貿易ノ地位ヲ大略推察スルヲ得ベシ。然ニ翌十二年日支事變ガ勃發シ對外貿易ハ其ノ影響ヲ蒙リテ一時減少シタリシガ、昭和十三年以來急速ニ恢復シ、殊ニ昭和十五年以後ハ事變前ノ數字ヲ凌駕スルニ到レリ。昭和十一年以降昭和十六年十一月迄ノ貿易額ヲ表示スレバ左ノ如シ。

上海對外貿易額換算表(註)

	海關統計(百萬元)	法幣市中相場(百萬元)	英貨換算額(百萬元)
昭和十一年	五五三・〇	五五三・三	三三・一
同一二年	五〇八・八	五〇七・八	三〇・二
同一三年	二六九・〇	三七六・四	一六・一
同一四年	九八〇・〇	一、四〇八・八	三五・五
同一五年	七四四・九	二、九七五・六	四八・七
同一六年	七四〇・七	三、四〇九・七	四五・九
(一月—十一月)			

	海關統計(百萬元)	法幣市中相場(百萬元)	英貨換算額(百萬元)
昭和十一年	三六一・四	三六一・四	二二・六
同一二年	四〇四・三	四〇四・三	二四・一
同一三年	二三二・一	二三二・一	九・五
同一四年	五九一・七	五九一・七	一四・九
同一五年	一、三六七・二	一、三六七・二	一二・四
同一六年	二、〇三二・六	一、九二九・五	一五・九
(一月—十一月)			

(備考)上海日本商工會議所「上海經濟提要」四四——四五頁及「經濟月報」

(註) 海關統計ノ貿易金額ハ、海關金單位及法幣換算額ニテ示ス。而シテ、一海關金單位八・〇〇一九三五オノンスノ金純分ヲ基準トスル想定通貨、法幣金額ハ海關金單位ヲ法幣ノ公定相場一元——一志二片半ヲ以テ換算シタルモノナリ。然シ、法幣ノ市中相場ハ漸次下落シテ公定相場ヲ遙カニ上廻リ、右法幣換算金額ハ實際ノ貿易額ト著シク相違セルタゞ法幣市中相場及磅換算ニヨリコレヲ見ルヲ至當トス。コノ方法ハ從來「金融商業報」ガ繼續的ニ實施シ來レルモノナリ。

右貿易表ニ現レタル輸出入ノ不均衡、即チ慢性的ノ輸入超過ハ、物資交流上見落スペカラザル重要問題ナリ。然シ、當面ノ問題ハ、右ノ如キ支那貿易並其ノ國民經濟ニ關スル本質的ノ問題ニ非ズシテ、寧ロ右ノ貿易額ヲ構成スル物資ノ種類及物資交流ノ相手國別ニアリ。即チ、現在全面的ニ停止セル第三國貿易ノ内容及其ノ大キサノ如

何ガ上海及其ノ關係範囲ニ及ボス影響ノ程度ヲ示ス指標タルモノナリ。

對外貿易ノ商品別 上海貿易ノ商品別構成ハ、日支事變前ノ平時及事變下ニ於テハ相當顯著ナル變化ヲ遂ゲタリ。今其ノ特徵的ナル變化ヲ指摘スルナラバ、輸入品ニ於テハ金屬及礦石、雜金屬製品、機械及工具、車輛及船舶等ノ生産財ガ減ジ、棉花、米、石炭、煙草等所謂土產品ガ反對ニ増加シ、輸出品ニ於テハ油脂、蠟、皮革類、茶等主トシテ工業原料品ガ減ジ、紡織織維類、織糸、編物類等ガ増加セリ。茲ニ事變勃發後ニ於ケル上海經濟ノ變化並上海奥地間ノ物資交流ニ關スル示唆ヲ汲ミ取り得ルガ、問題ノ主タル對象ハ大東亞戰爭勃發後如何ナル物資ノ輸出入ガ停止シタルカラ検討スルニアリ。輸出入貿易ノ物資別百分比ヲ表示スレバ左表ノ如シ。

上海輸入重要商品百分比表

	昭和二一	同一二	同一三	同一四	同一五	(一月一—二月)	同一六
米	○・一四	○・八一	三・二〇	○・八二	七・四六	一九・三六	
石炭	○・五二	○・四八	七・〇〇	四・〇六	六・五五	三・七四	
棉花	六・二五	二・九七	四・二八	二・七・〇一	二八・五二	二一・一二	
羊毛及毛織物	四・五四	六・一五	三・三〇	三・一九	三・五〇	二・一八	
金屬及礦石	一一・三四	一六・八八	九・九〇	六・〇五	六・七五	二・四一	
機械及工具	六・〇四	六・九六	六・五〇	三・四八	二・六〇	一・六八	
車輛及船舶	四・三五	四・四四	二・三八	一・六一	一・二二	一・二六	
雜金屬製品	六・五五	五・五六	三・七五	二・四四	一・五九	一・四五	

上海輸出重要商品百分比表

	昭和二一	同一二	同一三	同一四	同一五	(一月一—二月)	同一六
煙草	二・七五	三・一四	六・七〇	五・五二	五・五八	三・〇二	
化學藥品及製藥劑	五・〇一	五・六一	五・八〇	四・九〇	四・四一	三・八七	
染料及塗料	五・五一	四・七〇	五・〇四	四・〇三	二・五五	三・〇一	
蠟燭石鹼油脂ゴム樹脂	七・三一	七・二五	一・一三〇	七・九一	五・七二	六・三九	
書寫地圖紙及 ウッドパルプ	七・五四	八・九四	七・七四	四・三〇	四・二三	四・五五	
木材	二・三八	一・九四	一・七〇	一・九〇	二・一一	一・七三	
其他	二九・七六	二四・一九	二二・四一	二三・七八	一七・二二	二四・二四	
合計	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	

上海再録成案

九〇

化學藥品及化學合成品	○・六二	○・四七	一・三三	一・八八	二・五六	二・五四
其他	一一・九一	一七・六四	一〇・五三	一三・六二	二五・六四	三〇・九八
合計	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

(備考) W. Barnett, Economic Shanghai, P.P. 153-154

但シ、一九四一年ハ海關統計一九四一年十一月ニヨリ算出

上海貿易ガ最モ繁榮ヲ示シタル昭和十五年度ヲ例ニトリ、特ニ重要ナル商品ヲ取出スナラバ、輸入ニ於テハ棉花二八・五二パーセント、米七・四六パーセント、金屬及礦石六・七五パーセント、石炭六・五五パーセント、以上四種合計額ガ約五〇パーセントヲ占メ、輸出ニ於テハ紡織纖維類二二・八九パーセント、動物及同產品一三・八四パーセント、織糸・編物等一二・八九パーセント、織物八・一九パーセント以上四種合計額ハ前者ト同様約五〇パーセントヲ占メタリ。以上輸出入重要商品ノ比較對照ニヨリ、上海ニ於ケル重要產業ハ纖維工業ガ首位ヲ占メ、其ノ原料品ハ主要部分ヲ國外ヨリ輸入シ、更ニ製品ノ販賣市場ヲ主トシテ國外ニ求メテ再輸出シツツアル關係ヲ容易ニ看取スルヲ得ベシ(註)。換言スレバ、上海ノ重要產業ハ原料品ノ供給竝製品ノ販賣市場共ニ國外ニ依存シ、國內ヨリ供給スルモノハ單ニ勞働力ノミナリ。而モ勞働力ノ再生産ニ最モ必要ナル食糧品ノ主要部分ガ同ジク國外ニ依存セル關係ニアリ。茲ニ奥地トノ物資交流ヲ切斷セラレタル所謂上海ノ孤島的繁榮ノ基礎的關係ヲ見出スヲ得ベシ。

(註) 海關統計ニ於テハ對香港貿易ヲ凡ア國外暨ヒトセルガ、其ノ中ノ一部分ハ香港ヲ仲介トシテ國內ニ再輸入セラルルモノアリ、從ツテ、國外輸出ノ數字ハ前記ノモノヨリモ稍低下スルモノト思考セラル。

對外貿易ノ相手國別 以上見タルガ如キ對外貿易ガ果シテ如何ナル國國ヲ對象トシテ行ハレ來リシカ、コノ問題ノ提出ハ、現在對外貿易ガ殆ンド全面的ニ停止セル狀態ニ鑑ミ無意義ナルカノ如ク見ラルルガ、大東亞戰爭ニヨリ蒙ル打擊ノ程度並ニ戰爭遂行ノ過程ニ於テモ再開ノ可能性ヲ有スル對手國ノ貿易實績等、物資交流措置ニ關スル有力ナル資料ヲ提供スルモノナリ。戰前ニ於ケル貿易額ニツキ主要相手國ノ百分比ヲ示セバ左ノ如シ。

上海對外貿易主要相手國別百分比表

	昭和一 （一月一 —一月）	同 二 （一月一 —一月）	同 三 （一月一 —一月）	同 四 （一月一 —一月）	同 五 （一月一 —一月）	同 六 （一月一 —一月）
英 國 及 其 關 境	二三・六一	二三・二三	二一・八七	三三・〇四	三〇・四一	二九・〇一
英 本 國	二二・二五	一三・四八	一〇・八二	六・七二	五・五三	三・三一
英 領 印 度	三・〇五	一・八〇	一四・五四	一五・五一	一六・四五	九・〇四
香 港	〇・七五	〇・七五	二・〇八	一・三八	一・六一	二・〇〇
其 他 英 關 境	六・五六	六・一九	四・四三	九・四三	六・八三	一四・六七
米 國 及 其 關 境	二四・九一	二三・四一	二三・二二	二〇・三四	三一・五五	二三・五三
米 本 國	二四・三一	二三・一九	二三・一九	一九・九五	三一・一三	二一・三三
比 律 濱	〇・五七	〇・九一	〇・九一	〇・四八	〇・四二	一・二〇
荷 蘭 及 其 關 境	四・九四	五・六一	七・四二	四・六二	六・二三	一〇・五四
和 蘭 本 國	〇・五三	〇・五七	〇・五八	〇・三一	〇・三〇	〇・〇一

上海再編成案

九二

開 港 印 度	四·四〇	五·〇四	六·八三	四·三一	一〇·五三
佛 國 及 其 屬 領	二·二四	二·五七	七·四四	二·九九	七·九四
佛 本 國	一·五七	一·二八	一·五四	一·二七	〇·五〇
佛 印 印	〇·六七	一一七	五·八二	一·七八	一〇·六五
獨 逸	一·九·三四	一·六·二八	二·二六〇	七·八六	三·一二
日本 及 其 屬 領	一·四·三三	一·五八〇	一·七·一五	一·七·九四	九·九八
日 本 本 國	一·三·二五	一·四·七六	一·三·七七	一·三·八四	七·一二
關 東 租 借 地	〇·八九	〇·七七	二·九〇	二·五二	一·一七
其 他 屬 領	〇·一九	〇·三七	一·八七	一·五六	一·二九
其 他 各 國	一一六三	一·四·一	二·〇·三一	二·三·二一	一·四〇三
■ 出					
米 本 國	三三·〇一	昭和二一	同 二二	同 二三	同 一四
米 本 國	三三·〇一	二四·三〇	四三·五五	三九·一二	四一·五〇
英 本 國	一〇·三四	一一·七九	一二·〇一	一一·一二	一一·二五
英 領 印 度	二·六五	一·四四	七·二二	五·一〇	四·六一
香 港	五·〇二	六·七二	一七·六四	一五·六三	五·二三
其 他 英 屬 領	五·〇四	四·三五	六·六七	一五·二六	一九·六三
米 國 及 其 屬 領	三四·七一	三七·五三	七·二七	八·一	八·八四
米 本 國	三五·八六	一八·六八	三三·二六〇	三五·三三	二六·七八
米 本 國	一·四五	四三·五九	二九·七三	三一·七一	二三·一三
和 蘭 及 其 屬 領	二·九四	二·六九	二·五三	二·三一	三·六五
和 蘭 本 國	二·三三	三·五四	三·八九	三·六四	七·六六
開 港 印 度	一·〇一	一·六六	〇·八一	〇·〇八	一
佛 國 及 其 屬 領	一·〇·七一	一·二三	二·六五	四·六二	四·七三
佛 本 國	六·二八	一·二三	二·九八	二·三一	七·六六
佛 印 印	〇·二·五	九·五四	九·一四	〇·七五	一
獨 逸	六·一〇	六·四七	一·一·一〇	四·六二	一
日本 及 其 屬 領	一·六·二八	九·〇四	五·三八	二·五四	一
日本 本 國	一一·九四	一·〇·九六	一·〇·八三	三·七七	一
關 東 租 借 地	二·三六	七·九〇	八·八二	一·〇·一〇	一六·五九
其 他 屬 領	一·九四	一·八四	六·五九	一·〇·一〇	六·五三
其 他 各 國	五·七七	一·二三	一·八九	四·〇五	八·二六
		〇·三四	一·八九	三·二七	一
		五·六九	二·三〇	三·二七	一
		三·九三	一·二五	二·七八	一·八〇
		四·一三	四·八〇	四·八四	一
				五·七二	

(備考) 海關統計、昭和十六年ハ海關統計昭和十六年十一月ニヨリ算出

右表ニヨリ、第二次歐洲大戰ガ上海對外貿易ニ對シ深刻ナル影響ヲ及セル以前、即チ、昭和十五年度ノ對外貿易相手國別ヲ例ニトレバ、輸入ニ於テハ 英國及其屬領三〇·四二六一セント、米國及其屬領三一·五五バー セント、以上二國ガ約六〇バー セント強ヲ占メ、其他ノ和蘭及其屬領、佛國及其屬領、日本及其屬領ノ三國ハイヅ

レモ一〇パーセント内外、輸出ニ於テハ英國及其屬領四一・五〇パーセント、米國及其屬領三五・三三パーセント、以上二國ガ占ムル割合ハ實ニ總輸出額ノ約七六パーセント、其ノ他ノ和蘭及其屬領及佛國及其屬領ノ地位ハ輸入ニ比シテ遙カニ低ク五パーセント以下、日本及其屬領ハ約一〇パーセントナリ。以上ニヨリ上海ノ對外貿易ガ如何ニ英米ニ強ク依存シ、且又日本トノ貿易關係ガ意外ニ稀薄ナリシ事實ヲ知リ得ベシ。更ニ對手國ノ本國及屬領別ニ檢討ヲ試ムルニ、輸入ニ於ケル棉花(英印)、米(佛印)、石炭(英印)、礦油類(蘭印)等ノ如キ特產物資ハコレヲ屬領ニ仰ギツツアリ、假リニコレ等ヲ除外スルナラバ、對外貿易ノ主要部分ハ多クハ各國共ニ本國ガ占メ、屬領ハ其ノ地位低シ。殊ニ東亞共榮圈内ニ位置スル各國屬領トノ物資交流ハ右ニ學ゲタル特殊物資以外ハ其ノ貿易額極メテ少額ナリ。尤モ第二次歐洲大戰ノ擴大以後歐洲諸國トノ貿易額ガ急激ニ減ジ、反對ニ屬領トノ貿易額ガ増大シタリシガ、カカル轉換ハ上海ノ對外貿易ガ我ガ方ノ企圖セル東亞共榮圈構成ノ方向ニ發展セシコトヲ示スモノニ非ズシテ、寧ロ上海ニ於ケル英米其ノ他列國資本ガ其ノ活動ヲ存續スルタメニ新タナル領域ヲ開拓シタル結果ナルコトヲ見落スベカラズ。

二、開戦後ノ上海對外貿易

大東亞戰爭勃發後ニ於ケル上海對外貿易ノ變化ハ、以上ニ於ケル分析ニヨリ其ノ大勢ヲ推察スルニ難カラズ。大東亞戰爭勃發以來上海對外貿易ノ範圍ハ日本及南方ノ一小部分ニ限定セラレ、本年第一四半期ノ貿易額ハ戰前ニ比シ、輸入約一〇パーセント、輸出約三〇パーセントニ激減セリ。斯ノ如キ貿易額ノ激減ハ、固ヨリ開戦ニ伴フ一時的ノ萎縮ナルコト瞭カニシテ、南方作戦ニ於ケル皇軍ノ嚇々タル戰果ニヨリ貿易再開ノ機會遠カラズ。然シ乍ラ、當面ノ問題ハ單ニ從來ノ貿易額ヲ恢復維持スルニ非ズシテ、質的ノ轉換、即チ、戰爭ノ遂行竝コレニ伴フ東亞共榮圈建設ニ即應スル物資交流ノ再編成ニアリ。從ツテ、現在ノ對外貿易竝近キ將來ニ再開セラルベキ貿易圈内ノ物資交流ハ右ノ如キ視角ヨリコレヲ指導セザルベカラズ。斯ル意味ニ於テ、現在竝近キ將來ニ再開セラルベキ貿易圈内ノ諸條件ガ斯ル要請ニ對シテ果シテ如何ナル程度コレニ應ヘ得ルヤ、基本物資ヲ中心ニ檢討ヲ試ムレバ以下ノ如シ。

輸入物資中工業原料品並生活必需物資トシテ特ニ重要ナルモノヲ舉グレバ、棉花、羊毛、石炭、染料、金屬及米等ナリ。

棉花 昭和十五年度ニ輸入セラレタル棉花二十三萬トン中、主要供給源別ニ輸入額ヲ列舉スレバ、英領印度十萬三千トン、米國七萬五千トン、ブラジル三萬五千トン、エヂブト六千トン、英領東アフリカ四千トン、其他四千トンナリ。主要供給源ハ現在イヅレモ上海ノ貿易圈外ニアリ、從ツテ、開戦以後ニ於ケル輸入ハ全面的ニ杜絶セリ。本年第一四半期ノ輸入額ハ僅ニ七百トンニ過ギズ、近キ將來ニ大量ノ輸入ハ困難ナルベシ。

羊毛 昭和十五年度ニ於ケル各種羊毛輸入額ハ約二百八十萬疋、其ノ中濠洲約百十萬疋、英本國約八十三萬疋、米國七十三萬疋、其他約十四萬疋ナリ。開戦後ニ於ケル輸入ハ棉花ト同様殆ンド全面的ニ杜絶シ、輸入皆無ノ狀態ニシテ、近キ將來ニ於テモ輸入ノ見込困難ナリ。

石炭 昭和十五年度ノ輸入額約二百萬トン中、主要供給源ハ佛印六十四萬トン、英領インド六十二萬トン、日本六十萬トン、其他約十萬トンナリ。本年第一四半期ノ輸入額ハ僅カニ十二萬トンニ過ギズ。然シ乍ラ供給源ガイ

ヴレモ上海ノ貿易圈内ニアリ、更ニ以上ノ物資ト異リ國外依存度低キタメ、供給恢復ノ見込困難ナラズ。

染料 昭和十五年度ニ於ケルアニリン染料及其他人造染料輸入總額三百十四萬元(海關金單位以下同)中其ノ供給源別ハ獨逸百九十八萬元、米國五十九萬元、瑞西二十萬元、其他三十七萬元ナリ。開戰後ノ輸入ハ供給源ガイヅレモ上海ノ貿易圈外ニアル關係上完全ニ杜絕狀態ニアリ。

金属及礦砂 昭和十五年度ニ於ケル金屬及礦砂輸入總額一千八百五十八萬元中、其ノ供給源別ハ、米國ガ壓倒的地位ヲ占メ一千四百八十萬元、英本國百三十四萬元、其他二百四十五萬元ナリ。本年第一四半期ノ輸入額ハ僅カニ十二萬元ニ過ぎズ、殆ンド杜絶狀態ナリ。

米 昭和十五年度ノ輸入額三十九萬二千トン、主要供給源ハ佛領印度二十六萬九千トン、タイ國九萬八千トン、ビルマ二萬一千トン、其他四千トンナリ。本年第一四半期ノ輸入額ハ僅カニ四千トンナリ。然シ乍ラ供給源ガイヅレモ上海ノ貿易圈内ニアリ、近キ將來ニ輸入恢復困難ナラザルベシ。

輸出品中、在要ナル地位ヲ有スルモノヲ舉グレバ、紡織纖維、織絲、編物等、織物、動物及同產品、皮革類等ナリ。其ノ動向ヲ見ルニ以下ノ如シ。

紡織纖維 昭和十五年度ニ於ケル輸出總額三億一千三百三萬元中、輸出國別ハ米國二億九百三十六萬元、英本國三千六百十九萬元、フランス二千六百二萬元、英領印度九百六十四萬元、其他三千八百八十二萬元ナリ。本年第一四半期ノ輸出額ハ四千八百九萬元、相手國ハ日本及關東租借地ノミニシテ、其ノ他ハ杜絶狀態ナリ。

織絲・編物等 昭和十五年度ノ輸出總額一億七千二百四十二萬元中、輸出國別ハ米國五千三百六十萬元、香港二期ノ輸出額ハ僅カニ二十六萬元、相手國ハフランス・タイ國ナリ。

織物(綿及絹) 昭和十五年度輸出總額一億一千二百二萬元、輸出國別ハ香港三千九百四十九萬元、英領印度ハ二千七百二十六萬元、タイ國九百七十六萬元、シンガポール七百六十二萬元、比律賓七百十九萬元、蘭領印度三千五十八萬元、滙洲三百二十七萬元、其ノ他一千三百八十六萬元ナリ。相手國別狀況ハ大體ニ於テ前項織絲・編物等ト同様ナリ。本年第一四半期ノ輸出額ハ四十九萬元、タイ國、フランス及日本等ナリ。

動物及同產品(豚毛・玉子等) 昭和十五年度輸出總額ハ一億九千百九十三萬元、輸出國別英國九千十五萬元、米國六千七百八十四萬元、香港八百二十萬元、日本七百七十五萬元、蘭領印度五百十六萬元、比律賓四百六十六萬元、其他八百六十七萬元ナリ。本年第一四半期ノ輸出額ハ三百九十四萬元、其ノ殆ンド全額ガ日本向ナリ。

皮革類 昭和十五年度輸出總額ハ四千七十二萬元、輸出國別ハ米國三千四百五十七萬元、關東州三百五十三萬元、其他二百六十二萬元ナリ。本年第一四半期輸出總額ハ五百六十五萬元、其ノ大部分ガ關東州向ナリ。

以上ノ検討ニヨリ、大東亞戰爭勃發以後ニ於ケル上海對外貿易ノ概要ヲ知リ得ベシ。輸入ニ於テハ石炭ヲ除キ主要工業原料品、即チ、棉花、羊毛、染料、金屬等ガ全面的ニ杜絶シ、コレ等ノ物資ハ近キ將來ニ於テモ當分輸入増加ノ見込困難ナリ。輸出ニ於テハ近キ將來ニ織維工業製品ノ販賣市場ヲ東亞共榮圈内ニ求ムルハ敢テ困難ナラザ

ルモ、原料ノ供給竝價格調整等ノ諸點ニ於テ相當ノ困難ガ豫想セラル。動物及同產品、皮革類ノ輸出恢復ハ市場ノ關係ニヨリ困難ナリ。米竝石炭ハ幸ヒ近キ將來輸入恢復ノ見込確實ナルモ、以上ノ諸點ガ或ル程度解決セラレザル限り見返リ物資輸出ノ點ニ於テ相當ノ困難ヲ伴フモノト思料セラル。

三、物資交流再開促進ノ基本方向

大東亞戰爭勃發以來殆ンド全面的ニ停止狀態ニアル上海ノ物資交流再開ノ方途如何。勿論コノ問題ハ、單ニ上海自體ノミノ視角ニ於テコレヲ決定すべき問題ニ非ズシテ、寧ロ我ガ方ガ上海ヲ如何ニ活用スルカ、其ノ態度方針ニ基キテ決定セラルベキナリ。コノ點ニ關シ「上海再編成ニ對スル基本方針案」ハ、當面上海ヲシテ演ゼシムベキ役割トシテ次ノ三點ヲ指摘セリ。

(一)軍需物資ノ調達竝ニ軍自活ニ對スル役割

(二)占據地經營ヲ通ジテノ對重慶攻勢ニ關スル役割

(三)對日滿北支竝ニ對南洋物資供給地トシテノ役割

而シテ、更ニ其ノ一層效果的運營ノタメニ「軍需物資ノ現地調辦竝ニ軍自活モ亦既往ノ蓄積ノ徵用ノミヲ以テ足レリトセズ、寧ロ今ニ於テ其ノ長期ニ亘ル繼續的供給ヲ企圖シ其ノ源泉ハ培養ヲ志向セザルベカラザル」コトヲ強調セリ。然シ乍ラ、現在ノ如ク物資交流ガ全面的ニ停止セル上海ハ、既往ニ流入シタル物資ノ單ナル貯積場タリ。換言スレバ上海ハ文字通リノ孤島的存在ニ過ギズ、コレヲ長期ニ亘リ物資供給ノ源泉タラシムルタメニハ再生產活動ノ再開、即チ、原料物資ノ供給確保並生產設備ノ活動ヲ促進スルニアリ。

現在ノ情勢下ニ於テ再生產活動ノ再開促進ヲ圖ルタメニハ上海ト其ノヒンターランドトノ經濟的關係ヲ密接ナラシムルヲ第一要件トス。而シテ、奥地ハ原料資源供給ノ可能性(詳細ハ後述)ヲ有スルノミナラズ、又上海ニ於テ生産セラルル工業製品ノ販賣市場トシテ、曾テハ上海ノ繁榮ヲ培養シタル地域タリ。斯クテ上海ト奥地トノ物資交流促進ハ其ノ地理的歷史的條件ヲ基礎トシテソノ復活ヲ企圖シ、併セテ我ガ方ノ指導下ニ於テ大陸内地ノ物資交流ノ再編成ヲ遂行スルモノナリ。日支事變以來比較的輕視セラレタルカノ觀アル軍事經濟相並ビテノ大陸經營ノ促進ハ茲ニ於テ其ノ意義ヲ全ウスルモノト云フベシ。

現在物資交流再開促進ノ急要スルハ單ニ奥地ノミニ限ラズ、對日、對滿、對北支、或ハ對南方等イヅレモ緊急ヲ要スルハ同様ナルモ、大東亞戰爭ノ現段階ニ於テコレ等多方面ノ物資交流ヲ同時ニ施策スルノ困難ハ固ヨリ多言ヲ要セザルトコロナリ。從ツテ、比較的可能性ヲ多分ニ有シ且ツ再生產活動ノ促進ニ最モ有利ナ條件ヲ具備スル對奥地ノ物資交流ニ其ノ主力ヲ傾注シ、以テ各方面ニ對スル物資交流促進ノ起動力ヲ茲ニ見出スハ策ヲ得タルモノト言フヲ得ベシ。

尙何レノ方面ニ對シ物資交流ヲ企圖スルモ、上海ノ重要性ヲ強調センニハ、先づ上海ヨリ對交流地ノ必要トスル物資ヲ送リ、然ル後ニ其ノ交換物資ヲ上海ニ供給スルヲ物資交流再開ノ方式トス。コノ意味ニ於テ、地域ヨリ原材料物資ヲ上海ニ入レ然ル後ニコレヲ以テ工業生產活動ノ復活並他地域ヘノ物資供給ヲ計畫スルハ妥當ナラズ。幸ヒ上海ニハ戰前ニ輸入セラレタル原料物資並製品ノストック勘カラズ、コレヲ以テ物資交流再開ノ原動力トセラベカラズ。物資交流再開促進ハ先づストック物資ノ處理並其ノ活用ヲ以テ第一條件トス。

(二)ストツク物資ノ處理

一、上海ノ物資ストツク量

現在上海ノ物資ストツク量ハ果シテ如何ナル程度ニアルカ。勿論日本内地ニ於ケルガ如キ正確ナル統計資料ヲ有セズ、又搬出入統制ノ困難ナル上海ニ於テストツク量ヲ正確ニ知ルコトハ困難ナルガ、在荷登録其ノ他ノ統計ニヨリコレヲ推測スルノ外ナシ。在荷登録ノ數字ハ多クノ場合實際ノ量ヨリモ過少ナルヲ例トス。コノ點ヲ考慮ニ入レテ次ノ統計ヲ見ルナラバ若干ノ據リ處ヲ得ルベシ。

共同租界内工場ノ原料ストツク表(日本人經營工場商社及ビ軍管理工場ヲ除ク)

金屬

壓延鋼

一、九九六・二一四四キロトン

○・七五九〃

五一〇・八九七〃

三五九・一八九〃

七・六五七〃

八・七五〇〃

〇・〇四五々

マンガン鑄

クロム鑄

〇・〇六八キロトン

タンクス鑄

〇・〇一三一〃

ニッケル鑄

〇・〇一一々

ニッケル

〇・一七四〃

非鐵金屬及鑄石

一七四・七五一〃

五六・四〇二〃

三六・〇六八〃

六・四九九〃

三・八四九〃

九六六・二三九〃

〇・〇七九〃

二・二六八〃

二三四・二三六〃

三〇・四八〇〃

〇・八二七々

ボーキサイド

第二款 物資及物價

螢石

五三・七一〇キロトン

クオライト

一五・二六七〃

ビツチ

〇・〇四五〃

黒鉛

二・七五三〃

研磨用材料

三五・八八九〃

石英

一九四・七〇五〃

珪土

九〇・六二六〃

石材

四三九・七三九〃

粘土

三・五五六〃

其他ノ鑄物材

一・六一〇〃

纖維類

棉花

八一・八六九・五二・ビクル

人絹紡絲又織糸

七三・七五〇・〇〇〇ボンド

製紙用バルブ

一四七・〇四五・七六五〃

西洋紙(A)

一二三〇・〇〇〇英トン

板紙(B)

三・二一七六・五〇〇連

西洋紙(B)

三二三六〇・〇〇〇ボンド

板紙(A)

一・七四八・〇〇〇〃

日本紙(A)

八二・〇〇〇〃

日本紙(B)

四・四四四・四七四〃

大麻

八〇・〇〇〇連

黃麻袋

四四・五三四キロトン

繩

三・七三〇・〇〇〇個

木口

三・九八六・八八五ビクル

木材、原料ゴム、革類

四七・七七〇英トン

輸入木材(速柵木)

一九・七五〇米トン

原料ゴム

二七・四二六キロトン

各種化學藥品ノ鹽劑

八八五・七三一〃

食鹽

五三・四八六〃

曹達灰

五八七・三九二〃

苛性曹達

九〇四・七五七キロトン

鹽酸

七七・二〇一 //

晒粉

八四・四二三 //

稀硝酸

三・六六七 //

硫酸

二六五・三九四 //

硼砂

二八・四九五 //

金屬ソヂウム

〇・〇五三 //

臭化物

〇・四〇一 //

ベンゾール

一・二二四 //

石炭酸

四・六〇七 //

力ーバイト

〇・〇〇一 //

醋酸

一七・五六九 //

アセトン

三・二二七三 //

メチール

〇・一九〇 //

フオルマリン

〇・四八八 //

アルコール(純)

一・六七一・四〇ニリットル
二六、八一七・〇五六 //

稀アルコール

九〇九、六三六・一九五ボンド

合成染料

七・七五七キロトン

コールタール蒸溜液

三・四六四キロトン

コバルト酸

〇・〇一三 //

其他染料及塗料

九一・九七四 //

泥漿具、石灰、漆喰等

一二・六九四 //

其他化學製品

九六・七一四 //

亞麻仁油

〇・四四九 //

硬化油

七〇・二九九 //

カーナウバ職

四六九・二九〇 //

其他ノ脂肪類及獸脂

八六・二三五 //

種油

二二八・七六四 //

七・七四九 //

精 油

五、七七四・一二八ボンド

樟 脂

○・一六二キロトン

樟 脂油

○・〇三二 " "

薄荷油及薄荷脑

八・一四五 "

酒 石英

○・〇九一 "

ゼラチン

○・〇一四 "

アラビアゴム

○・二七一 "

トラガカントゴム

○・五〇八 "

シエラツク

○・〇九一 "

松 脂

○・〇九一 "

其他ノゴム及樹脂

七七・〇六二 "

肥 料

七二・五四一 "

硝酸曾達

二二・八二二 "

醫藥材料

六五・一六二キログラム

キニーネ

○・四五〇 "

鹽化エメチン

三・一七五キログラム

カフェイン

九・〇七二 "

アスピリン

五六・七〇〇 "

アンチビン

〇・一一三 "

沃 土

一七・五六九キログラム

葡萄糖

一・三一五 "

乳 糖

一・二八一 "

イース

〇・四二五 "

オリーブ油

二五三・五九四 "

椰子油

一〇七

(備考) 昭和十七年一月三十一日現在

右ハ租界内、外・華人工場ノストツク原料ノ一班ヲ示スモノニ過ギズ、尙上海綿業ノ中権ヲナス日本人關係工場ノ所有スル原料ストツク及商業者ノ所有スル原綿及同製品ハイヅレモ巨額ニ達シ、其ノ總價額ハ上海一ヶ年間ノ需要外米ノ代金ヲ満シ多分ノ剩餘アリト見込マル。又東亞大戰爭勃發前ニ於ケル上海ノ物價暴騰竝ニ戰爭勃發後ニ於ケル輸入杜絶ヲ見越シテ各種物資ノ思惑ガ盛ニ行ハレ、ソレ等物資ノ大部分ガ開戦後ニ實施セラレタル移動禁止ニヨリ上海ニ貯積セラレ居ルハ當然豫想セラルルトコロナリ。勿論右ノ中一部分ノ軍需物資ハ軍當局ニ於テ處理セラレタルガ、其ノ他ノ民需用物資ノ相當額ヲ交流物資ノ裏付ニ充テ得ルコトハ當然豫想セラルルトコ

ロナリ。

尙工業動力用ノ必需物資石炭ハ、戰前ヨリノ遺憾ナキ準備ニヨリ、上海ノストツク額ハ四十萬噸ヲ遙カニ超過スルノ現況ニアリ。從ツテ、原料物資ノ補給サヘ可能ナラバ上海工業ノ復活ハ敢テ困難ナラズト思料セラル。

二、ストツク物資處理ニ關スル措置

大東亞戰爭勃發後上海ノストツク物資處理ニ關シ、我ガ方ニ於テ實施シタル措置及ビ其ノ後ノ經緯ヲ見ルニ、開戰ト同時ニ敵性物資ノ差押ヲ斷行シ、續テ重要物資ノ散逸ヲ防止スル目的ヲ以テ十二月十七日上海地區内ニ所在スル指定重要物資（金屬・ゴム製品・自動車・藥品・染料・顏料・油脂・脂類）ノ在荷登錄ヲ命ジタリ。而シテコレガ處理ニ關シテハ、陸海軍報道部長談ヲ以テ、「申告セラレタル物資中一部ノモノハ軍ニ於テ國際法ニ準據シ適當ナル方法ニヨリ處理セラレベク、而シテ他ノモノニ關シテハ、之ヲ上海方面一般市民ノ民生ノ爲適當ナル機關ヲシテ公平且有效ニ一般人民ノ需要ニ充テシム」旨發表セラレタリ。其ノ後本年一月二十日附ヲ以テ聲明ヲ發シ、特ニ指定シタル重要物資（十二月十七日附聲明ニヨル申告物資以外ノ物資ヲ含ム）ニ對シ一時自家用品以外ノ賣賣其他所有權ノ移轉質權及ビ抵當權ノ設定等一切ノ權利ノ移動變更若ハ設定、並ニ其ノ所在ノ移動ヲ禁止シ、所要ノ物資處理ガ實施セラレタリ。斯クテ、軍當局ノ物資處理ハ順調ニ進ミ、二月十二日ノ上海方面大日本帝國陸海軍共同聲明（綿糸布・紙類・毛製品等一部民需物資ノ封印解除）及三月二十七日ノ上海方面大日本帝國陸海軍布告（重要物資ノ上海地區内ニ於ケル使用、製造及販賣ニ關シ興亞院華中連絡部ノ一元的統制）ニヨリ一應軍需物資ノ處理ヲ終リ、統制經濟ノ運營ヲ目的トスル物資統制ノ段階ニ入レリ。

然シ乍ラ、ストツク物資ノ處理ハコレニヨリ完了シタルニ非ズ。既ニ瞭ニセラレタルガ如キ方針ニ則リ物資交流ノ再開促進ヲ企圖センガタメニハ、以下ノ要領ニヨリ措置スルコトヲ要ス。

上海地域ニ所在スルストツク物資ノ處理ハ、コレヲ一、軍需物資、二、物動物資、三、上海向民需物資、四、他地域同交流物資ノ四ニ區分シ措置スモノトス。

一、軍需物資ノ供給確保並其ノ生産擴充

軍需物資ノ處理ハ、大東亞戰爭勃發直後着手セラレタルガ、更ニ今後ニ於テハ上海ニ於テ生産可能ナル物資ノ繼續的供給確保並其ノ生産擴充ハ當面ノ急務ナリ。コレハ單ニ中支ニ於ケル軍自活ノミナラズ、輕工業製品ノ分野ニ於テハヨリ廣汎ナル軍需物資ノ供給ヲ企圖セザルベカラズ。

二、物動物資處理ノ重點

物動物資ハ一ノ要請ニ應ジ其ノ生産擴充ニ支障ナカラシメ、同時ニ我ガ方ノ物資計畫並生産擴充計畫ニ即應シコレガタメ必要ナル重點ニ振向ケルモノトス。

三、上海向民需物資

民需物資ノ供給確保ハ治安維持並上海經營上缺クベカラザル要件タリ。而シテ、コレガタメニハ單ニ一定數量ノ物資ヲ供給スルノミナラズ、其ノ配給並價格統制ニ必要ナル機構ヲ整備シ、民生ノ保持ニ努ムルコト緊要ナリ。コノ點ニ關シ、是ニ軍當局ハ昨年十二月十七日附抑留物資處理ニ關スル軍報道部長談ヲ以テ「ソノ他ノ物資（軍需以外ノ物資ヲ指ス）ニ至リテハ之ヲ現所有者ニ返還シ若クハ上海方面一般市民ノ幸福ノ爲之ヲ最モ有

效且ツ長期ニ亘ツテ使用シ得ル如キ計畫ニ基キ市政府、工部局、佛公董局等ノ管理下ニ置キ上海方面一般市民ノ幸福ノ爲適當配給セラルル事トナルベク」ト、其ノ基本方針ヲ闡明セラレタリ。然シ乍ラ、米、小麦粉等一部食糧品ニ關シテハ右方針ノ實現ヲ見タルモ、其ノ他ノ物資ハ未ダ配給並價格統制機構ノ整備全カラズ、右機構ノ確立ハ焦眉ノ急務ナリ。コレガ整備ハ左ノ要領ニヨルモノトス。

(一) 配給調整綜合機關ノ設置

(二) 月額配給數量並價格等ハ右機關ノ決定ニヨル

(三) 下部配給機構ノ整備及統制ハ各行政機關ヲシテコレニ當ラシム

而シテ、現在實施中ノ統制品目中小賣マデ一貫シテ稍統制ノ體制ヲ整備セルハ米及小麥粉其他二三ノ食糧品ニ止マレリ。民需品全般ノ統制ハ固ヨリ不可能ニ屬スルガ、以上ノ外ニ食用油、砂糖、燐寸、石鹼、煙草、綿製品、藥品、蠟燭等ニ對シテモ同様ノ統制ヲ必要トシ、輸入杜絕ノ物資ハストツクヲ以テ今後尠クトモ一箇年間程度ノ需要ニ應ジ得ル如ク計畫セザルベカラズ。現狀ノ儘推移スルナラバ、他地域ニ對スル交流物資ノ裏付ニ困難ヲ生ズベシ。

四、他地域向交流物資

上海向民需物資ノ所要量ト睨ミ合セ、更ニ上海ニ供給可能ナル他地域ノ交流物資ヲ對象トシテソレゾレ必要量ヲ豫メ確保スルコトヲ要ス。勿論コレハ單ニ既製品ノミナラズ其ノ原料物資ヲ含メテ交流計畫ヲ樹立シ、可能ナル限り生産活動ノ再開ヲ促スコト最モ肝要ナリ。

(三) 對奥地物資交流ノ促進

一、日支事變下ニ於ケル對奥地物資交流ノ變化

日支事變後上海ヲ中心トスル國內物資ノ交流ハ極度ニ不振狀態ニアリ。今、試ミニ、海關統計ニヨリ上海ニ移出入セラル土貨ノ累年狀況ヲ見ルニ、日支事變下ニ於ケル變化ガ窺ハル。

上海轉口土貨總價額表（單位千元）

	移 入	移 出	全支海關總額ニ對スル割合
昭和 一	四三五、九六一	四四一、〇八七	三五・四%
二	四三六、五三六	四一二、九三八	三七・〇%
同 三	二三七、六八六	二九九、〇一〇	三七・四%
同 四	二〇四、四〇〇	二八・四	四五六%
同 五	三七七、〇一八	九一〇、九一四	六五・七%
同 六	二九一、〇一九	一、〇二四、四七七	六一・三%

（備考）海關統計ニヨル

右ノ總價額ハ、轉口貨物中課稅ノ對象タル土貨ノミニシテ、物資交流狀態全體ヲ表示スルモノニ非ズ。然シ乍ラ、輸入貨物ヲ含メタル總物資ノ交流狀態ガ右ト全ク異ル情勢ニアルトハ到底考ヘラレズ、一應其ノ動向ヲ示スモノト見ルヲ得ベシ。右ノ表ヲ移出入別ニ區分シテ考慮スレバ、移入額ハ減ジ、移出額ニ於テハ右期間ニ約二倍

ニ増加セリ。但シ、コノ期間中ニハ物價ガ約五倍ニ騰貴セルタメ、實質的ニハ移出モ移入ト同様減少ナリ。而シテ、斯カル轉口貿易不振ノ直接的原因ハ、改メテ指摘スル迄モナク、日支事變勃發後長江沿岸一帯ガ作戰ノタメ封鎖セラレタルタメナリ。

上海對奥地間ノ物資交流狀態全體ヲ正確ニ示ス綜合統計ヲ缺クタメ、コレヲ適確ニ把握スルコトハ極メテ困難ナル問題ナリ。然シ乍ラ、差當リノ問題ハ其ノ總金額ニ非ズ、奥地ヨリ上海ニ移入セラル工業用原料並生活必需物資並其ノ反對ニ上海ヨリ奥地向ノ工業製品ノ移出狀況ガ如何ニ變化シタルカラ瞭ラカニスルコトナリ。斯カル視角ヨリ各々主要物資ヲ選ミ出し、海關統計ニヨリ累年ノ移出入狀況ヲ表示スレバ左ノ如シ。

日支事變下ニ於ケル上海轉口貿易中重要物資ノ變化

輸入

石炭 (單位千トン)	棉花 (單位トン)	葉煙草 (單位トン)	米 (單位トン)	小麦 (單位トン)
昭和 一一 一二 一二 一三 同 一四 一五 同 一六	二、九一八 二、一八八 一、三九八 一、二三四 一、三七四	八一、六九三 七二、一六九 七五、七六三 一一、二八〇 三、八六六	四四、六二六 二七、三五八 一一、二三四 九、五六〇 六、一六六	二二一、四二九 二八九、一三六 一四、八九七 八三 三 一 二四九

輸出

綿 (單位トン)	布 (單位トン)	漆 (單位千打)	煙草 (單位トン)	粉 (單位トン)	
昭和 一一 一二 一二 同 一三 一四 同 一五 同 一六	九五、九二八 七八、四四八 六四、〇一四 七〇、九二七 五三、五二六 二六、六七〇	四六、六二一 三九、四四九 二八、九六九 三四、二二八 三〇、九九九 一、五一〇 一、五九四 一、五三一	四、〇〇五 三、二四七 一、一一九 二、二〇四 一、四五六 一、六五、二二七 一六〇、八二一	二四、二六〇 二〇、〇四四 九、六八四 八、八〇〇 一七七、一六七 一六五、二二七 一六〇、八二一	三五二、五八六 二四九、五七五 一七二、四三七 二七七、一六七 一六五、二二七 一六〇、八二一

(備考) 海關統計ニヨル

*原表ニヘ本數ヲ以テ示スモ比較ノ便宜上五十萬本ヲ一ントシテ換算シ表出セリ。

右ノ表ハ、各々ノ物資ガ上海港ニ移出入シタルコトヲ示スニ過ギズ、右ノ物資ガ果シテ何處ヨリ來リ、又何處へ交流シタルカハ一切瞭ラカナラズ。但シ、ソレガ一應明ラカニサレタトシテモ、長江ノ封鎖以來上海ヨリ南支向ニ移出サレタル物資ガ從來トハ別ノルートニヨリ奥地ニ送リ出サレタルモノモ尠カラズアリト見ラレ、其ノ關係ハ極メテ錯綜セリ。唯確實ナルハ、從來右交流物資ノ主要部分ガ上海對奥地間ヲ交流シ、又コレニヨリ中支一帶ノ經濟的發展ニ極メテ重要ナル役割ヲ果シタルコトト、日支事變以來上海ヲ中心トスル右物資ノ交流ガ減少セルコトノ二點ナリ。

斯クノ如キ對奥地物資交流ノ減少ハ、勿論事變ニヨル經濟ノ破壊並ソレニ伴フ混亂等ガ主要原因ナルコトハ勿論ナリ。然シ乍ラ、總括的ニ事變ヨル經濟ノ破壊ト云フモ、問題ノ包括スル具體的內容ハ單ニ前掲表ノ範圍ニ於テ

コレヲ見ルモ單純ナラズ。即チ、物資交流ノ狀況ハ、中支ニ於ケル割期的ノ作戰タル一九三八年(昭和十三年)ノ翌年以後急激ニ減ジタリ。換言スレバ、直接戰鬪ニヨル影響ヨリモ寧ロ攻略作戰後ニ於ケル措置ニヨリソレガ一層減少シタルコトヲ示スモノナリ。

二、我方ノ物資搬出入統制

對奥地物資交流ニ對スル我ガ方ノ統制ハ、昭和十二年十一月南京陥落ニヨル中支作戰ノ第一段階終了後商取引ノ再開復活ト同時ニ實施セラレタリ。即チ、翌十三年軍特務機關及宣撫班並總領事館ノ保護統制下ニ於テ上海占據地間ノ商取引ガ再開セラレ、右各機關ガソレゾレ搬出入許可證ノ發給ニ當レリ。其ノ後翌十三年九月軍票工作ノ強化並作戰ノ擴大(同年十二月武漢攻略)ニ伴フ經濟工作ノ要請ニヨリ統制ガ本格化シ、次デ同年六月ソレガ最大限度ニ充實セラレテ略現在ト同様ノ統制移動制限令ノ實施ニヨリ愈々統制ガ本格化シ、次デ同年六月ソレガ最大限度ニ充實セラレテ略現在ト同様ノ統制狀態ニ達シタリ。現行ノ統制規定ハ十六年九月二十六日附支那派遣軍總司令部、支那方面艦隊司令部ノ揚子江下流軍占據地域物資移動取締暫行規定ニヨリ、右十五年六月以降實施ノ規定ヲ一部改正シタルモノナリ。

統制規定 現在實施中ノ物資搬出入取締要項ハ左ノ如シ(昭和十六年十月一日實施)。

一、物資ノ敵地ニ對スル流出ハ一切之ヲ禁止ス。

二、左ノ物資(同規第一表第一號物資)ノ移動ハ一切之ヲ禁止ス。

但シ、軍用品及支那派遣軍總司令官又ハ支那方面艦隊司令長官ニ於テ認可セルモノヲ除ク。

第一號物資(一)兵器彈藥類(但シ國民政府軍事委員會ノ許可セルモノヲ除ク)、(二)火薬及同原材(但シ國民

政府硝礦局ノ許可セルモノヲ除ク)、(三)阿片及麻藥(但シ國民政府戒煙局ノ許可セルモノヲ除ク)

三、左ノ物資(前同第四號物資)ハ軍需上必要アル場合ニ於テハ其ノ移動ヲ禁止スルコトアルベシ。

第四號物資(一)金屬(素材料、非鐵金屬及同製品、圓銀共)、(二)鑄石類及石炭、(三)米、麥、小麥粉、豆類(四)麻類及同同製品、(五)棉花、(落綿及屑綿共)、(六)羊毛、(七)皮革及毛皮、(八)牛、豚、羊、(九)葉煙草

四、左ノ物資(前同第二、第三及第四號物資)ヲ上海地區ヨリ軍占據地域内ヘ搬出セムトスルモノハ陸軍警備地域ニ在リテハ支那派遣軍總司令部第七號上海出張所長、海軍警備地域ニ在テハ第一經理部長ノ許可ヲ受クルモノトシ、其ノ許可證ヲ有セザルモノハ右ノ搬入又ハ搬出ヲ禁止ス。

第二號物資(一)各種自動車及同部分品、(二)ガソリン及石油類、(三)各種機械類、(四)通信器材(部分品ヲ含ム)及電池、(五)藥品(醫療及工業用)及染料、(六)ゴム(古ゴム共)及同製品、(七)セメント、(八)鹽、(九)食用油、(十)砂糖。

第三號物資(一)綿絲布及同製品、(二)毛絲毛織物及同製品、(三)入絹絲布及同製品、(四)蠟燭(原料共)、(五)燐寸、(六)石輪、(七)紙類、(八)煙草。

第四號物資前掲(略)

五、左ノ物資(前同第四號及第五號物資)ヲ軍占據地域ヨリ上海地域へ搬入又ハ江陰下流揚子江及黃浦江江岸ヨリ軍占據地外へ積出(江海關ノ輸移出ヲ許可セルモノヲ除ク)セムトスルモノハ陸軍警備地域ヨリノ分ハ支那

派遣軍總司令部第七號上海出張所長、海軍警備地域ヨリノ分ハ第一海軍經理部長ノ許可ヲ受クルモノトシ、其ノ許可證ヲ有セザルモノハ右ノ搬入又ハ積出ヲ禁止ス（小量ノ自家用物資ハ許可ヲ要セズ）。

第四號物資前掲（略）

第五號物資（一）桐油、（二）麻毛、（三）豚腸、（四）薄荷、（五）生糸生生糸屑、（六）繭（屑繭共）、（七）茶、（八）卵及同製品。

六、左ノ物資（前同第二號及第三號物資）ヲ江陰下流揚子江及黃浦江岸ヨリ軍占據地外へ積出（江海關ノ輸移出ヲ許可シタルモノヲ除ク）セムトスル場合ニ在リテハ前項ニ準シ許可證ヲ有セザルモノハ其ノ積出ヲ禁止ス（小量ノ自家用物資ハ許可ヲ要セズ）。

第二號物資及第三號物資前掲（略）

尙右規定ハ國民政府トノ緊密ナル連絡ノ下ニ實施セラレ、清鄉地區物資統制及運銷管理暫行辦法（昭和十六年七月十五日清鄉委員會駐蘇辦事處）及非占領地域ヘノ移出禁止ニ關スル告示（民國三十年九月二十四日財政部關務署）等ニヨリ一層ソノ完璧ヲ期スルコトトナレリ。

統制機構 統制物資ノ搬出入ハ、各商品別ニ業者ガコレヲ擔當シ、ソレゾレ指定業者ノ組織ガ許可申請數量ノ割當竝其ノ統制ニ當リ、而シテ物動物資ニ關シテハ特ニ興亞院華中連絡部ノ證明ヲ必要トス。換言スレバ奥地ヘノ搬出物資ノ供給ハ我方ノ物資搬出計畫ニ基キソレゾレ一定量ノ物資ヲ占據地ノ各地域ニ對シテ供給シ、又奥地ヨリノ搬入物資ハ、概不工業原料物資ニアリテハコレヲ需要スル有力業者或ハ國策會社ガ、又米ソノ他ノ一般需

要物資ニアリテハ有力業者ノ組合ガ地域別ニソレゾレ一定計畫數量ヲ擔當ス。以上ノ機構ニヨリ、移動制限物資ノ搬出入ハ凡テソレゾレ特定ノ組織竝ニ其ノ割當ニヨリ實施セラレ、一般業者ガ搬出入ヲナスコトニ對シ制限ヲ加ヘ居レリ。

統制ノ影響 我ガ方物資搬出入統制ガ對奥地物資交流ニ對シテ如何ナル影響ヲ齎シタルカ。結論的ニ云ヘバ、先ニ見タルガ如キ物資交流ノ減少ヲ招來シタルガ、其ノ影響具體化ノ過程ハ必ズシモ單純ナラズ、コノ分析ハ、先ヅ我ガ方ガ企圖セル物資搬出入統制ノ目的ヲ明確ニセザルベカラズ。物資搬出入統制ハ其ノ直接的目的ニヨリ左ノ如ク分類スルヲ得ベシ。

（一）敵抗戰力ノ減殺

イ、直接間接戰闘ノ手段トナルベキ物資ノ供給遮断

ロ、非占據地域ノ經濟封鎖

（二）軍票價値維持

（三）軍需物資ノ確保

（四）原料物資並必需物資ノ確保

右ノ中（一）ノロト、（三）及（四）トハ相互ニ密接ナル關聯ヲ有シ、非占據地域ニ對シ經濟封鎖ヲ加ヘルコトハ同時ニ非占據地域ニ於テ生產セララル物資ヲ我ガ方ノ手中ニ收ムル障害トモナルベシ。經濟封鎖ヲ受ケタル非占據地域ニ於テハ、從來占據地ヲ通過シテ入荷シタル物資ノ價格ガ法外ニ暴騰シ、國外トノ物資交流ヲ基礎トシテ發

達シタル經濟ノ再生産ガ困難トナリ、其ノ結果生産力ノ低下ヲ招來スルニ到ルハ當然ナリ。但シ、問題ガ右ノ範圍ニ止マル限リ我ガ方ニハ直接何等ノ影響ヲモ齎ラサザル筈ナルモ、物資ノ動キハ其ノ價格ニ從ヒ、水ノ低キニ流ルル如ク、物價騰貴ノ著シキ非占據地域ニ向ツテ流レ、占據地域ニ於テ生産スル物資ヲモ吸收スルハ極メテ當然ノ歸結ナリ。物資搬出入統制ヲ必要トスル理由ノ一半ヲ茲ニ見出シ得ルガ、假リニ物資搬出入統制ガ極メテ理想的ニ實施セラレタリトルモ、ソレガ搬出入制限ノ效果ヲ目指ス限り、非占據地域竝占據地域内ニ於テモ從來他地域ヘ賣出スターメニ發達シタル物資ノ生産低下ハ如何トモナシ難キトコロナリ。

其ノ一例トシテ、棉花ノ生産並出廻ニ關シテ右ノ事情ノ検討ヲ試ムベシ。周知ノ如ク、棉花ハ中國農業ニ於ケル主要農產品ニシテ中支ニ於ケル其ノ生産額ハ日支事變前約五百萬擔ニ達シタリ。然ルニ、日支事變勃發以來生産額並出廻數量共ニ激減セリ。中支棉產統計左ノ如シ。

中支棉花生產比較表（單位千擔）

昭和七年乃至同一一年五ヶ年平均	同 一二年	同 一三年	同 一四年	同 一五年	同 一六年	同 三、八七九
五、三二三						
四、二一四						
三、四七三						
三、三五一						
三、〇〇〇						

出廻り狀況ノ減少ハ一層甚シキモノノ如シ。抑々中國ニ於ケル棉產ハ對日輸出ヲ目標トシテ發達シ、上海ハ主要輸出市場タリシガ、事變勃發後上海ヘノ出廻リガ特ニ激減セリ。棉花ノ搬入（上海）ハ前記ノ如キ統制ニヨリ我ガ方ノ業者ガ其ノ殆ンド全部ヲ受入れツツアルガ、近年ニ於ケル取得狀況ハ、業者ノ調査ニヨレバ僅ニ百萬擔至百二十萬擔前後ニ過ギズ而シテ其ノ他密移入四十萬擔、奥地紡績用三十萬擔、座操用八十萬擔ト推算セラル。

以上ヲ要約スレバ、上海市場ニ對スル棉花出廻リノ減少ハ、生産ノ低下ト、更ニコレニ加フル密移入其他搬出入統制ニヨリ生ジタル諸關係ガ搬入ヲ妨ゲツツアリ。コノコトハ米穀穀等ニ於テモ同様ノ事實ヲ指摘シ得ルベシ。

三、對奥地物資交流促進二關ルス措置

我ガ方ノ物資搬出入統制ガ對奥地物資交流ヲ阻害シツツアル事情並其ノ影響スルトコロ以上ノ如シ。然シ乍ラ、物資搬出入統制ヲ必要トスル軍事的理由ハ尙依然トシテ嚴存スルモ亦事實ナリ。但シ、最近ノ情勢ニ應ジ若干考慮ヲ必要トスル點ハ、現行ノ物資搬出入統制ガ大東亞戰爭前ノ上海ヲ對象トシテ實施セラレタル事實ナリ。即チ當時ノ上海ハ、租界ニ於ケル英米ノ權益ヲ通ジテ世界經濟ニ連リ、同時ニ其ノ裏面ニ重慶政權ノ觸手ガ存在セリ。然ルニ、大東亞戰爭ニヨリ英米ノ勢力ハ完全ニ一掃セラレ、同時ニ重慶政權モ亦コノ地域ニ於テ策動スルノ餘地ナカラシムルニ到レリ。斯ル意味ニ於テ、物資搬出入統制ヲ現實ノ事態ニ即應スル如ク再編成ナスハ、其ノ目的ヲ一層效果的ニ貫徹セシムルタメニモ亦必要ナリ。

現在ノ物資搬出入統制ハ、敵抗戰力ノ減殺、軍票價值維持、物資取得ノ三點ヲ特ニ重要視セルモ、軍事目的ノ完遂ノタメニハ更ニ占據地域ニ於ケル生産力ノ恢復並民生ノ安定ヲ圖リ、同時ニ物資取得ノ増加ヲ期セザルベカラ

ズ。コレガタメニハ占據地域内ニ於ケル生産力ノ恢復並民生ノ保持ニ必要ナル物資供給ノ圓滑化ヲ圖ルコトヲ要ス。

一、現在物資移動取締規定ニヨリ搬出ヲ禁止セル第一號物資並戰爭手段ニ利用セラルル危險アル第二號物資中一部品目ハ、治安ノ確保並我ガ方ノ軍需充足ノタメコレガ搬出禁止ハ絶對ニ必要ナルコトハ言ヲ俟タザルトコロナリ。然シ乍ラ、主トシテ民需用品タル第三號物資ハ、前述ノ如ク現在上海ニ相當ノストツク量アリ。更ニ占據地域ニ於テ生産スル原料物資、即チ、第四號物資取得增加ノタメ、コレガ搬出ヲ圓滑ナラシムルノ要アリ。斯ル着意ノ下ニ現有ストツク量ト睨ミ合セ、搬出ノ圓滑化ヲ期スルモノトス。

二、物資交流ノ圓滑化ハ、單ニ物資供給量ノ割當ヲ増加スルノミニテハ十分ナラズ、又物資ノ現狀ハ對奥地交流ニ對シテ特ニ多量ヲ割當得ザルノ實狀ニアリ。從ツテ、特ニ多量ノ物資ヲ奥地ニ送り以テ物資交流ヲ促進ゼントル方策ハ望ムベカラズ、寧ロ現在實際ニ送リ得ル物資搬出ノ範圍ニ於テモ一層其ノ效果ノ發揚ヲ期スペキナリ。即チ、奥地ニ搬出シタル物資ガ再生産ノ恢復ヲ刺戟シ、搬出ト同時ニ上海ニ對スル物資ノ搬入ヲ自然ニ誘導スル統制機構ノ整備ヲ必要トス。コレガタメ、物資搬出入統制機構ヲ單ニ一時的ノ臨時措置トセズ、又物資搬出入ニ當ル者ハ、眞ニ我ガ方ノ意圖ヲ體シ進ンデ我ガ方ノ統制ニ協力セントスル者ニ對シテハ華人ニモコレヲ解放シ、搬出入許可ノ特權化ヲ防ギ以テ物資交流ノ圓滑化ヲ期スルモノトス。

三、奥地物資ノ上海搬入ノ減少ハ、前記ノ諸原因ノ外ニ、買付價格ニ關聯スル困難尠カラザリキ。從來上海ノ物資ハ國外物資ガ輸入セラルル關係上奥地ヨリモ低ク、其ノ結果買付價格ノ制限ヲ蒙レリ。然シ乍ラ、現實ノ情勢ニ應ジ上海ヲ中心ニ占據地域ヲ一體トル物資交流ノ經濟圈ヲ構成スルタメニハ、現在ノ諸關係ニ即應スル物價ヲ形成セシムルコトヲ要ス。コノタメニハ、買付物資ノ價格モコレニ應ジ適正化ヲ圖ルモノトス。

買付價格ノ適正化ハ、單ニ交流物資價格トノ關係ノミナヲズ、奥地物資相互ノ關係ニ於テモコレガ適正化ヲ圖リ、生産增加ニ資スルモノトス。尙物資移動統制ニ關聯シ、上海地區内ニ於ケル物資移動許可ニ關シテモ、工業復興ノタメコレガ一層敏速ナル取扱ヒガ一般ニ要望セラル。

[参考資料]

一、揚子江下流軍占據地域物資移動取締暫行規定

目次

- 第一、總則
- 第二、物資移動ノ禁止及制限
- 第三、物資搬出入許可手續
- 第四、取締及罰則

附則

- 附表第一
- 附表第二
- 附表第三

附錄

第一 總則

第一條 本規定ハ揚子江下流日本軍占據地域(以下單ニ軍占據地域ト稱ス)ニ於ケル物資移動取締ニ關シ規定スル

モノトス

第一條 敵地トノ物資交流ハ原則トシテ之ヲ遮断スルモノトス

第三條 特定物資ノ上海地域ニ對スル搬出入並江陰下流揚子江及黃浦江江岸ヨリ軍占據地區外ヘノ積出ハ之ヲ統制スルモノトス

本規定ニ於ケル上海地域ノ範圍ハ上海周邊ニ設クル統制線内トス

第四條 軍占據地域内部ニ於ケル物資ノ移動制限ハ特ニ規定スル場合ノ外之ヲ行ハサルモノトス

所定ノ陸海軍許可機關ノ外支那派遣軍總司令官又ハ支那方面艦隊司令長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ物資搬出入許可證又ハ之ニ類似ノ文書ヲ發給スル事ヲ得ス

第二 物資移動ノ禁止及制限

第五條 物資ノ敵地ニ對スル流出ハ一切コレヲ禁止ス

第六條 附表第一ニ掲タル第一號物資ノ移動ハ一切コレヲ禁止ス

但シ軍用品及支那派遣軍總司令官又ハ支那方面艦隊司令長官ニ於テ許可セルモノヲ除ク

第七條 附表第一ニ掲タル第四號物資ニ就テモ軍需調達上必要アル場合ニ於テハ其ノ移動ヲ制限スルコトアルベシ

第八條 附表第一ニ掲タル第一、第三及第四號物資ヲ上海地域ヨリ軍占據地域内ヘ搬出セムトスルモノハ陸軍警

第二款 物資及物價

備地域ニ在リテハ支那派遣軍總司令部第七號上海出張所長、海軍警備地域ニ在リテハ第一海軍經理部長ノ許可ヲ受クルモノトシ其ノ許可證ヲ有セサルモノハ右ノ搬出ヲ禁止ス

第九條 附表第一ニ掲タル第四號及第五號物資ヲ軍占據地域ヨリ上海地區へ搬入又ハ江陰下流揚子江及黃浦江江岸ヨリ軍占據地域外へ積出（江海關ノ輸移出ヲ許可セルモノヲ除ク）セムトスルモノハ陸軍警備地域ヨリノ分ハ支那派遣軍總司令部第七號上海出張所長海軍警備地域ヨリノ分ハ第一海軍經理部長ノ許可ヲ受クルモノトシ其ノ許可證ヲ有セサルモノハ右ノ搬入又ハ積出ヲ禁止ス

附表第一ニ掲タル第二號及及第三號物資ヲ江陰下流揚子江及黃浦江江岸ヨリ軍占據地域外へ積出（江海關ノ輸移出ヲ許可セルモノヲ除ク）セムトスル場合ニ在リテモ前項ニ準シ許可證ヲ有セサルモノハ其ノ積出ヲ禁止ス

第十條 小量ノ自家用物資ニ就テハ前二條ノ許可ヲ要セサルモノトス

其ノ標準附錄ノ如シ

第三 物資搬出入許可手續

第十一條 第八條ニ依リ搬出又ハ第九條ニ依リ搬入（積出共）ノ許可ヲ受ケムトスルモノハ前者ニ在リテハ附表第二後者ニ在リテハ附表第三ノ模式ニ依リ夫々所要事項ヲ記載シ署名捺印セル搬出（入）許可願書正副三通ヲ提出スルモノトス

第十二條 搬出入許可ノ申請ハ當該物資ノ所有者又ハ賣買契約當事者ニ於テ自ラコレヲ爲シ他ニ委任シ又ハ代行

セシムルコトヲ得ス

等十三條 搬出（入）許可證ノ交付ヲ受ケタル者ハ該許可證交付機關ノ示ス所ノ條件（許可證所載）ニ服從スルモノトス

第十四條 搬出（入）許可證ハ之ヲ他ニ賣渡シ又ハ讓渡ヲ爲スコト得ス

第四 取締及罰則

第十五條 搬出入取締特ニ上海地域ニ於テハ憲兵主トシテ之ニ當リ領事館警察、支那側軍隊ハ所要ニ應シ前項取締機關ヲ援助スルモノトス

陸海軍警備隊陸軍特務機關又ハ上海海軍武官府、支那側軍隊ハ所要ニ應シ前項取締機關ヲ援助スルモノトス
陸海軍警備隊ハ作戰警備ノタメ必要アル場合及現地ニ取締機關ナキ場合ハ自ラ取締ヲ行フモノトス

第十六條 本規定ニ違反シ又ハ違反セムトスルモノハ軍律ニ照シ處斷セラルモノトス

附 則

一、本規定ハ昭和十六年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

二、本規定ノ實施ハ揚子江航行ノ取締並ニ外人ノ通行居住等ニ關スル取締ニ關スル規定ノ適用ヲ妨グルコトナシ

附表第一

移動禁止又ハ制限物資

第一號物資

1 兵器彈藥類

(但シ國民政府軍事委員會ノ許可セルモノヲ除ク)

2 火薬及同原材料

(但シ國民政府戒煙局ノ許可セルモノヲ除ク)

3 阿片及麻藥

(但シ國民政府戒煙局ノ許可セルモノヲ除ク)

第二號物資

1 各種自動車及同部分品

2 「ガソリン」及石油類

3 各種機械類

4 通信器材(部分品ヲ含ム)及電池

5 藥品(醫療及工業用)及染料

6 護謨(古護謨共)及同製品

7 「セメント」

8 鹽

9 食用油

10 砂糖

第三號物資

1 紡絲布及同製品

2 毛絲毛織物及同製品

3 人絹絲布及同製品

4 蠟燭(原料共)

5 帆寸

6 石鹼

7 紙類

8 煙草

第二款 物資及物價

第四號物資

1 金屬(素材料、非鐵金屬及同製品、圓銀共)

2 鐵石類及石炭

3 米、麥、小麥粉、豆類

4 麻類及同製品

5 棉花(落綿及屑綿共)

6 羊毛

7 皮革及毛皮

8 牛、豚、羊

9 葉煙草

第五號物資

1 桐油

2 豚毛

3 豚腸

4 薄荷

5 生糸及生糸屑

6 蘭(屑蘭共)

7 茶

8 卵及同製品

(註) 一、第五號資中生糸、蘭、茶、卵及同製品ニ就テハ國民政府ニ於テモ運輸許可制アリ

二、第二號物資中「セメント」、蘭、第三號物資中綿絲布及同製品、燐寸、煙草ニ就テハ(免稅品ヲ除ク)統稅又ハ關稅ノ納入済證書若クハ統稅局ノ消印アル收入印紙帖布濟又ハ鹽務局ノ運搬許可證ヲ要スルモノトス

附表第二

○出許第 號

物資搬出許可證

搬出入 (本籍地)

(現住所)

(商代表者氏名印)

原產地又八製造工場	出
品種銘柄	物資
	數量
	包裝 樞數
	價額
	單價

附表第三

一、仕向地(荷受人)

二、搬出ノ目的

三 運搬徑路及運搬方法

四 摘出鑒定期間

附
卷之三

一、物資積出及仕向地到着ノ都度現地軍官憲ニ届出テ本許可證末尾ニ搬出入數量ノ検印ヲ受クヘシ一部搬出入ノ時亦同シ

二、本許可證ノ寫真又ハ複寫若クハ本許可ニ基ク権利ノ譲渡ヲ禁止ス

三、搬出完了又ハ本證有效期限満了シタル時ハ遲滞ナク届先ノ受領證ヲ添付シ本許可證ヲ返納スヘシ

				月	積
				日	出
				數	地
				量	檢
				• 檢	查
				官	印
				印	
				月	送
				日	屆
				數	地
				量	檢
				檢	查
				官	印
				印	

(備考) (一) 本様式ヲ以テ許可願書トシテ申請セシムルモノトス

△△○印ノ箇所ニハ陸軍ニアリテハ總、海軍ニアリテハ一經ノ文字ヲ插入ス

◎入許第

積攢
出入人
（本籍地）
現住話所

(商)
代表者氏名印

搬出入物	資		
原產地又ハ製造工場	品種銘柄	數量	包裝箱數
		數量	價額

一、買付地(在品場所、荷送人)

二、届先(荷受人)

三、搬入ノ目的

四、運搬徑路及運搬方法

五、搬入豫定期間

附帶條件

一、物資積出及仕向地到着ノ都度現地軍官憲ニ届出テ本許可證末尾ニ搬出(入)又ハ積出送届數量ノ検印ヲ受ク
ヘシ一部搬出(入)又ハ積出ノ時亦同シ

二、本許可證ノ寫真又ハ複寫若タハ本許可證ニ基ク權利ノ譲渡ヲ禁止ス

三、搬入若クハ送届完了又ハ本許可證有效期限満了シタル時ハ遲滯ナク届先ノ受領證ヲ添付シ本許可證ヲ返納スヘシ

有効期限

檢査官印				送届地印			
月	日	數量	檢査官印	月	日	數量	檢査官印

(備考) (一)本様式ヲ以テ許可願書トシテ申請セシムルモノトス

(二)○印ノ箇所ニハ陸軍ニアリテハ總、海軍ニアリテハ一經ノ文字ヲ插入スルモノトス

(三)搬入又ハ積出ノ各場合ニ應ジ不要ノ文字ハ朱線一條ヲ以テ之ヲ抹消スルモノトス但シ本様式ニ準據シ
搬入又ハ積出各專用ノ許可證ノ作成ヲ妨ケス

△附錄

搬出入制限物資中自家用ト認ムヘキ標準

第一款 物資及物價

上海再編成案

一三四

一、搬出(上海地區ヨリ)

品種	數量	備考
綿 布	三ヤール	支那服一着分
綿 糸	二オンス	
人絹糸布	三ヤール	支那服一着分
毛織物	三ヤール	同
毛 糸	二オンス	
煙 草	百本(但葉巻 ハ二五本)	
燐 寸	小箱五	
砂 糖	一斤	砂糖ニ還元シ得ル菓子モ同量
鹽	一斤	
蠟 燭	一箱	六本
石 灰	半打	六個(洗濯石鹼モ同シ)
食 用 油	一瓶	約五合

二、搬入(上海地區ヘ)

米	二匁
小麦、小麥粉	五匁
豆類	五升
卵	二十個
茶	一斤

(備考) 一、豚毛、豚脂、桐油、棉花、生糸、生絲屑、蘭ハ自家用トシテ認メス

二、本附錄以外ノ物資ノ自家用標準ニ就テハ適宜認定スル所ニ依ル

二、工部局ノ物資統制

本資料ハ總領事館經濟部ノ依頼ニ依リ昭和十七年五月事務局ニ於テ作成セルモノナリ、其ノ後統制方法並價格等變更セシモノ多シ

目次

(一)工部局ノ物資統制ノ特徴ト其ノ方法

(二)物資別統制状況

第三章 物資及物價